職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置	置認可年月	日校	長名			所在地			
専門学校東京クー		昭和	和58年7月 ⁻		 ₹ 憲子		151-0051 東京都渋谷区千駄ケ				
ン・アカデミ							03-3401-9701				
設置者名			立認可年月		表者名		196-0001	所在地			
学校法人21世紀ア 	カデメイア	昭和 	042年1月1	2日 田坂	広志		東京都千代田区神日 03-5283-6288	田駿河台2-11			
分野		認定課程名	1	認定学科	名		引士認定年度	高度専門士認知	定年度	職業実践	専門課程認定年度
文化•教養	文化	之教養専門記	養専門課程 ゲーム総合学科 ゲームライター専攻			令和] 2(2020)年度	_		令和	1 2(2020)年度
				, _,,,	4.7						
学科の目的	ゲームに関	関連する職業	美に必要な!	専門技術ならびに創造:	力、表現力を	身につけた優	皇全な職能人の育成を	目的とする。			
学科の特徴(取得											
学科の特徴(取得 可能な資格、中退	ゲーム総合のパフォー	会学科ではク	デームの世界	界でプロを目指すため <mark>に</mark> の経験値アップを身に	に、専攻ごとに つける	に個々のスキ	ルを磨くと共に授業全	体の90%以上の実習技	受業でスキノ	レアップや制作	作・鍛錬を行い、最高
率 等) ————————————————————————————————————	0)/\/	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	近り るため	の柱映画アククを分に	ンバる。 						
修業年限	昼夜	全課程の側 	修了に必要 単位 単位	な総授業時数又は総一数数	講	義	演習	実習	身	ミ験	実技
		※単位時間、		1,800 単位時間	210)単位時間	0 単位時間	1,710 単位時間	()単位時間	0 単位時間
年	昼間	かに記入	- Et 7 (18	単位		単位	単位	単位		単位	単位
生徒総定員	生徒実	E員(A)	留学生	数(生徒実員の内数)(B)	留学生割	合(B/A)	中退率				
		1									
360 人	0 ■卒業者	人 数 (C)	:	1 人)% 人	O %				
	■就職希	望者数 (D)		2		\frac{\frac}\fint}}}}{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac}{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac}}}}}}{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac}{\frac{\frac{\frac{\frac}}}}}{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac}}}}}}{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac}}}}}}}{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac}}}}}}}{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac}}}}}}}{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac}}}}{\frac{\frac{\frac{\frac					
	■就職者	数(E) 職者数(F)	:	2 2		<u>人</u> 人					
	■就職率	(E/D)	— <u>+</u> ,b, ,,,,, , -,,	100		%					
				割合 (F/E) 100		%					
	■卒業者Ⅰ	こ占める就職	哉者の割合	(E/C)		%					
 就職等の状況	■進学者			0		人					
17019W 41 V2 1/47/6	■その他										
	・留学生帰	昂、自営業	業手伝い								
	(令和	6	年度卒業者	に関する令和7年5月	1月時点の情報	妈)					
	, , ,	職先、業界			T 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	rk)					
	(令和6年度	卒業生)	-								
				DFIS(株)カプコン(株)教品 ne(株)(株)CELLORBナビ					ナクシード	株サミーデジ	ジタルセキュリティ(株)
		・フヘメフィ 評価機関等			<u> </u>	メ (すれ)(すれ) IVII 5 5	mme(M)プロンフリー無	<i></i>			
第三者による		、例えば以下					7114				
学校評価											
1 1/211 122		評価団体:			受審年月:			評価結果を掲載した			
		評価団体:			受審年月:			評価結果を掲載した ホームページURL			
当該学科の ホームページ		評価団体: ww.cooljapa	an.ac.jp/		受審年月:						
当該学科の			an.ac.jp/		受審年月:						
当該学科の ホームページ	https://w	ww.cooljapa 泣時間による	5算定)		受審年月:						
当該学科の ホームページ	https://w	ww.cooljapa 立時間による 総授業時数	(算定)							0 単位時間	
当該学科の ホームページ	https://w	ww.cooljapa 対時間による 総授業時数	う算定) で うち企業等	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	習・実技の授訓				240	0 単位時間	
当該学科の ホームページ	https://w	ww.cooljapa 対時間による 総授業時数	う算定) で うち企業等 うち企業等	と連携した演習の授業	習・実技の授訓				240	0 単位時間	
当該学科の ホームページ	https://w	ww.cooljapa 対時間による 総授業時数	う算定) で うち企業等	と連携した演習の授業 業時数	習・実技の授う 業時数	業時数			1, 800	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
当該学科の ホームページ	https://w	ww.cooljapa 対時間による 総授業時数	う算定) で うち企業等 うち企業等	と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した	習・実技の授う 業時数 ≃必修の実験・	業時数・実習・実技			240 (1, 800 240	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
当該学科の ホームページ URL	https://w	ww.cooljapa 対時間による 総授業時数	うち企業等 うち企業等 うち企業等	と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験 こ必修の演習の	業時数 ・実習・実技 D授業時数			240 (1, 800 240	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
当該学科の ホームページ	https://w	ww.cooljapa 対時間による 総授業時数	うち企業等 うち企業等 うち企業等	と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験 こ必修の演習の	業時数 ・実習・実技 D授業時数			240 (1, 800 240	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	https://w	ww.cooljapa 対時間による 総授業時数	の算定) で うち企業等 うち企業等 うち必修授	と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験 こ必修の演習の	業時数 ・実習・実技 D授業時数			240 (1, 800 240	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	https://w	ww.cooljapa 対時間による 総授業時数	の算定) で うち企業等 うち企業等 うち必修授	と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験 こ必修の演習の	業時数 ・実習・実技 D授業時数			240 (1, 800 240 (0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	https://w	ww.cooljapa 滋時間による 総授業時数 数による算 総単位数	(うち企業等 うち企業等 うち必修授 (うち企業	と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の授業 等時数 - 必修の実験 - 必修の演習の - ンシップの技	業時数 ・実習・実技 の授業時数 受業時数)			240 (1, 800 240 (0 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	https://w	ww.cooljapa	算定) (うち企業等 うち企業等 うち必修授 (うち企業 (うち企業等	と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター	習・実技の授う 業時数 = 必修の実験・ = 必修の演習の = ンシップの打	業時数 ・実習・実技 の授業時数 受業時数)			240 (1, 800 240 (0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	https://w	ww.cooljapa 対け間による 総授業時数 がはよる 総単位数	算定) (うち企業等 うち企業等 うち必修授 (うち企業 (うち企業等	と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の単位	習・実技の授う 業時数 = 必修の実験・ = 必修の演習の = ンシップの打	業時数 ・実習・実技 の授業時数 受業時数)			240 (1, 800 240 (0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	https://w	ww.cooljapa 対け間による 総授業時数 がはよる 総単位数	算定) (うち企業等 うち企業等 うち必修 (うち企業等 うち企業等 うち企業等	と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の単位	習・実技の授う 業時数 ニ必修の実験・ ニ必修の演習の ニンシップの打 選・実技の単位 立数	業時数 ・実習・実技 の授業時数 受業時数)	の授業時数		240 (1, 800 240 (0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	https://w	ww.cooljapa 対け間による 総授業時数 がはよる 総単位数	算定) (うち企業等 うち企業等 うち必修 (うち企業等 うち企業等 うち企業等	と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の単位	図・実技の授う 業時数 ニ必修の実験・ ニ必修の演習の ニンシップの対	業時数 ・実習・実技 の授業時数) 立数 ・実習・実技	の授業時数		240 (1, 800 240 (0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	https://w	ww.cooljapa 対け間による 総授業時数 がはよる 総単位数	算定) (7) うち企業等 うち必修 (う うち必 (う うち 企業等 うち か うち か うち か うち か うち か う ち か う ち か う ち う ち	と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実置 と連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した	図・実技の授業 業時数 ニ必修の実験・ニンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対	業時数 ・実習・実技 の授業時数) 立数 ・実質・数	の授業時数		240 (1, 800 240 (0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	https://w	ww.cooljapa 対け間による 総授業時数 がはよる 総単位数	算定) (7) うち企業等 うち必修 (う うち必 (う うち 企業等 うち か うち か うち か うち か うち か う ち か う ち か う ち う ち	と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実置と連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	図・実技の授業 業時数 ニ必修の実験・ニンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対 ロンシップの対	業時数 ・実習・実技 の授業時数) 立数 ・実質・数	の授業時数		240 (1, 800 240 (0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	https://w	ww.cooljapa 対け間による 総授業時 る 数による の の の の の の の の の の の の の	(すた) (すた) (すた) (すた) (すた) (すた) (すた) (すた)	と連携した演習の授業 学業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した	習・実技の授う 業時数 ニ必修の演習の ニンシップの対 立 立 数 ニン修の実験の 立 立 と必修の演習の こ で で で の で の で の で の で の で の で の で の	業時数・実技の授業時数) 受業時数) 立数・実位数 単位数)	の授業時数		240 (1, 800 240 (0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	https://w	ww.cooljapa 対 が問による 総授業時 る 数 によ数 によ数 によ数 によ数 によ数	算定方方方方方方方方方の表本本本本本表本本表表本本表表表<	と連携した演習の授業 学時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター を連携した実験・実置 と連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した で数 うち企業等と連携したインター	習・実技の授 選・実技の授 を必修のの で で で で で の で の で の の の の の の の の の の の の の	業時数・実行 では ままま で まままま で まままま で まままま で ままままま で ままままま で まままま で まままま で ままままま で ままままま で ままままま で まままままま	の授業時数	ホームページURL	240	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位 単位位 単位位 単位 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	https://w	ww.cooljapa 対 が問による 総授業時 る 数 によ数 によ数 によ数 によ数 によ数	算方方方方方方方方方の表表 <t< td=""><td>と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した</td><td>習・実技の授 選・実技の授 を必修のの で で で で で の で の で の の の の の の の の の の の の の</td><td>業時数・実行 では ままま で まままま で まままま で まままま で ままままま で ままままま で まままま で まままま で ままままま で ままままま で ままままま で まままままま</td><td>の授業時数</td><td>ホームページURL</td><td>240</td><td>0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位</td><td></td></t<>	と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の授 選・実技の授 を必修のの で で で で で の で の で の の の の の の の の の の の の の	業時数・実行 では ままま で まままま で まままま で まままま で ままままま で ままままま で まままま で まままま で ままままま で ままままま で ままままま で まままままま	の授業時数	ホームページURL	240	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	https://w	ww.cooljapa 対 が が が が が が が が が が が が が	算方方方方方方方方方の表表 <t< td=""><td>と連携した演習の授業 学時数 うち企業等と連携した 等と連携したインター を連携した演習の単位 を連携した演習の単位 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した を連携したインター にであままます。 は、これであまます。 は、これではよってもあままます。 は、これではよってもあまます。 は、これではよってもあまます。 は、これではよってもあまます。 は、これではよってもあまます。 は、これではよってもあまます。 は、これではよってもあまます。 は、これではよってもあまます。 は、これではよってもあまます。 は、これではよってもあまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではままする。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではままます。 は、これではまます。 は、これではままます。 は、これではまます。 は、これではままます。 は、これではままままます。 は、これではままままます。 は、これではまままままままままままままままままままままままままままままままままままま</td><td>習・実技の授 選・実技の授 を必修のの で で で で で の で の で の の の の の の の の の の の の の</td><td>業時数・実授の受業を対している。</td><td>の授業時数</td><td>ホームページURL </td><td>240</td><td>0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位位 0 単単単位 単単位 4 人</td><td></td></t<>	と連携した演習の授業 学時数 うち企業等と連携した 等と連携したインター を連携した演習の単位 を連携した演習の単位 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した を連携したインター にであままます。 は、これであまます。 は、これではよってもあままます。 は、これではよってもあまます。 は、これではよってもあまます。 は、これではよってもあまます。 は、これではよってもあまます。 は、これではよってもあまます。 は、これではよってもあまます。 は、これではよってもあまます。 は、これではよってもあまます。 は、これではよってもあまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではままする。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではまます。 は、これではままます。 は、これではまます。 は、これではままます。 は、これではまます。 は、これではままます。 は、これではままままます。 は、これではままままます。 は、これではまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	習・実技の授 選・実技の授 を必修のの で で で で で の で の で の の の の の の の の の の の の の	業時数・実授の受業を対している。	の授業時数	ホームページURL 	240	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位位 0 単単単位 単単位 4 人	
当該学科の ホームジ URL 企業等のい と連携がれい に記入)	https://w	ww.cooljapa 対 が が が が が が が が が が が が が	算方方方方方方方方方方方の表表 <t< td=""><td>と連携した演習の授業 美時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した実験・実施を連携した演習の単位 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した でませんであった。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで</td><td>習・実技の授 選・実技の授 を必修のの で で で で で の で の で の の の の の の の の の の の の の</td><td>業時数・実授業時数・支数・支数・支数・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり<!--</td--><td>の授業時数の受業時数の単位数を設置基準第41条第1項</td><td>ホームページURL 第1号)</td><td>240</td><td>0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位時間 0 単単位位位位位位 4 人 6 人</td><td></td></td></t<>	と連携した演習の授業 美時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した実験・実施を連携した演習の単位 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した でませんであった。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	習・実技の授 選・実技の授 を必修のの で で で で で の で の で の の の の の の の の の の の の の	業時数・実授業時数・支数・支数・支数・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり<!--</td--><td>の授業時数の受業時数の単位数を設置基準第41条第1項</td><td>ホームページURL 第1号)</td><td>240</td><td>0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位時間 0 単単位位位位位位 4 人 6 人</td><td></td>	の授業時数の受業時数の単位数を設置基準第41条第1項	ホームページURL 第1号)	240	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位時間 0 単単位位位位位位 4 人 6 人	
当該学科の ホーム URL ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	https://w	ww.cooljapa 対 が が が が が が が が が が が が が	算方方方方方方方方方の表表 <t< td=""><td>と連携した演習の授業 美時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した実験・実施を連携した演習の単位 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した でませんであった。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで</td><td>習・実技の授 選・実技の授 を必修のの で で で で で の で の で の の の の の の の の の の の の の</td><td>業時数・実授業時数・支数・支数・支数・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり<!--</td--><td>の授業時数</td><td>ホームページURL 第1号)</td><td>240</td><td>0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位位 0 単単単位 単単位 4 人</td><td></td></td></t<>	と連携した演習の授業 美時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した実験・実施を連携した演習の単位 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した でませんであった。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	習・実技の授 選・実技の授 を必修のの で で で で で の で の で の の の の の の の の の の の の の	業時数・実授業時数・支数・支数・支数・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり・すり<!--</td--><td>の授業時数</td><td>ホームページURL 第1号)</td><td>240</td><td>0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位位 0 単単単位 単単位 4 人</td><td></td>	の授業時数	ホームページURL 第1号)	240	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位位 0 単単単位 単単位 4 人	
当該学科の ホームジ URL 企業等のい と連携がれい に記入)	https://w	ww.cooljapa 対 が が が が が が が が が が が が が	算方方方方方方方方方方方の表表 <t< td=""><td>と連携した演習の授業 美時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した実験の単位 うち企業等とと連携した を連携した演習の単位 うち企業等とと連携した うち企業等とと連携した でまました。 ではまれて、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 では、これではました。 では、これではました。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ</td><td>習・実技の授 選・実技の授 を必修のの で で で で で の で の で の の の の の の の の の の の の の</td><td>業時数・実授業・の受業・要がある。 ・変数・実験の受験を対象をできます。 ・変数・実験のである。 ・変数・実験のである。 ・変数・実験のである。 ・変数・実験のである。 ・変数・実験のである。 ・変数・またいのである。 ・変数・できまする。 ・変数をできまする。 ・変をできまする。 ・変をできまする。 ・変をできまする。 ・変をできまする。 ・変をできまする。 ・変をできまする。 ・変をできまする。 ・変をできまする。 ・変をできまする。 ・変をできをできをできをできをできをできをできをできをできをできをできをできをできを</td><td>の授業時数の受業時数の単位数を設置基準第41条第1項</td><td>ホームページURL 第1号) (第2号) (第3号)</td><td>240</td><td>0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位時間 0 単単位位位位位位 4 人 6 人</td><td></td></t<>	と連携した演習の授業 美時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した実験の単位 うち企業等とと連携した を連携した演習の単位 うち企業等とと連携した うち企業等とと連携した でまました。 ではまれて、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 では、これではました。 では、これではました。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	習・実技の授 選・実技の授 を必修のの で で で で で の で の で の の の の の の の の の の の の の	業時数・実授業・の受業・要がある。 ・変数・実験の受験を対象をできます。 ・変数・実験のである。 ・変数・実験のである。 ・変数・実験のである。 ・変数・実験のである。 ・変数・実験のである。 ・変数・またいのである。 ・変数・できまする。 ・変数をできまする。 ・変をできまする。 ・変をできまする。 ・変をできまする。 ・変をできまする。 ・変をできまする。 ・変をできまする。 ・変をできまする。 ・変をできまする。 ・変をできまする。 ・変をできをできをできをできをできをできをできをできをできをできをできをできをできを	の授業時数の受業時数の単位数を設置基準第41条第1項	ホームページURL 第1号) (第2号) (第3号)	240	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位時間 0 単単位位位位位位 4 人 6 人	
当該学科の ホームURL 当該学科の は関係を は関係を は関係を は関係を は関係を は関係を は関係を は関係を	https://w	ww.cooljapa 対 が が が が が が が が が が が が が	(すうう)(すううう)(する)(すっちちちちちらう)(する)(なん)(な	と連携した演習の授業 美時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した実験の単位 うち企業等とと連携した を連携した演習の単位 うち企業等とと連携した うち企業等とと連携した でまました。 ではまれて、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 では、これではました。 では、これではました。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	習・実技の授 選・実技の授 を必修のの で で で で で の で の で の の の の の の の の の の の の の	 * 実時 ・ 投業 ・ 支援 <	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	ホームページURL 第1号) 第3号) (第3号)	240	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位 位位位 4 人 4 人 6 人 6 人	
当該学科の ホームページ URL ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	https://w	ww.cooljapa 対 が が が が が が が が が が が が が	(すうう)(すううう)(する)(すっちちちちちらう)(する)(なん)(な	と連携した演習の授業 美時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した実験の単位 うち企業等とと連携した を連携した演習の単位 うち企業等とと連携した うち企業等とと連携した でまました。 ではまれて、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 では、これではました。 では、これではました。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	習・実技の授 選・実技の授 を必修のの で で で で で の で の で の の の の の の の の の の の の の	 * 実時 ・ 投業 ・ 支援 <	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	ホームページURL 第1号) 第3号) (第3号)	240	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位位位位位位位位位 4 人人人 6 人人 0 人人	
当該学科の ホームページ URL ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	https://w	ww.cooljapa 対 総 が	(すうう)(すうう)(すっちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちらうの教と者をかける。(なん)(なん	と連携した演習の授業 美時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した実験の単位 うち企業等とと連携した を連携した演習の単位 うち企業等とと連携した うち企業等とと連携した でまました。 ではまれて、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 では、これではました。 では、これではました。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	習・実技の授 選・実技の授 を必修のの で で で で で の で の で の の の の の の の の の の の の の	 * 実時 ・ 投業 ・ 支援 <	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	ホームページURL 第1号) 第3号) (第3号)	240	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位位位位位位位位 4 人人人人 6 人人人 0 人人	
当該学科の ホームURL 当該学科の は関係を は関係を は関係を は関係を は関係を は関係を は関係を は関係を	https://w	ww.cooljapa 数総 には では では では では では では では では では で	算方方方方方方方方方方方方の表上大でで <t< td=""><td>と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した。 うち企業等と連携した。 等と連携した演習の単位 を連携した演習の単位 うち企業等と連携した。 うち企業等と連携した。 な業等と連携した。 では事じたがあります。 はないでありまする。 はないでありまする。 はないでありまする。 はないでありまする。 はないでありまする。 はないであります。 はないでありまないでもないでありまないでありまないでもないでありまないでもないでもないでもないでもないでもないでもないで</td><td>習・実技の授う 実</td><td>業時・ 方受・ 方受・ 方受・ 支援・ 数・ すり・ すり<l< td=""><td>の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項</td><td>東第1号) (第1号) (第2号) (第3号) (第4号) (第5号)</td><td>240</td><td>0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位位位位位位位位位 4 人人人人人 6 人人人 0 人人 0 人人</td><td></td></l<></td></t<>	と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した。 うち企業等と連携した。 等と連携した演習の単位 を連携した演習の単位 うち企業等と連携した。 うち企業等と連携した。 な業等と連携した。 では事じたがあります。 はないでありまする。 はないでありまする。 はないでありまする。 はないでありまする。 はないでありまする。 はないであります。 はないでありまないでもないでありまないでありまないでもないでありまないでもないでもないでもないでもないでもないでもないで	習・実技の授う 実	業時・ 方受・ 方受・ 方受・ 支援・ 数・ すり・ すり<l< td=""><td>の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項</td><td>東第1号) (第1号) (第2号) (第3号) (第4号) (第5号)</td><td>240</td><td>0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位位位位位位位位位 4 人人人人人 6 人人人 0 人人 0 人人</td><td></td></l<>	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	東第1号) (第1号) (第2号) (第3号) (第4号) (第5号)	240	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位位位位位位位位位 4 人人人人人 6 人人人 0 人人 0 人人	
当該学科の ホーリRL 当該学科の は関係の は関係の との は関係を との は関係を は関係で は関係で は関係で は関係で は関係で は関係で は関係で は関係で	https://w	ww.cooljapa 数総 に開業 には ののの以 ののの以 ののの以 を当業と 士 等 士 の 学す年な の 学 の 他 のの学の 他	第 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等	と連携した演習の授業 美時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した実験の単位 うち企業等とと連携した を連携した演習の単位 うち企業等とと連携した うち企業等とと連携した でまました。 ではまれて、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 は、これではました。 では、これではました。 では、これではました。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	習・実技の授う 実	業時・ 方受・ 方受・ 方受・ 支援・ 数・ すり・ すり<l< td=""><td>の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項</td><td>東第1号) (第1号) (第2号) (第3号) (第4号) (第5号)</td><td>240</td><td>0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位位位位位位位位 4 人人人人 6 人人人 0 人人</td><td></td></l<>	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	東第1号) (第1号) (第2号) (第3号) (第4号) (第5号)	240	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位位位位位位位位位 4 人人人人 6 人人人 0 人人	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課 程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

教育課程編成員会は、卒業生の就職先である、ゲーム・アニメーション等エンターテインメント業界において必要とされる、実践的かつ 専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成(授業科目の開設 や授業内容・方法の改善・工夫等を含む)に活かすことを目的として基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程の編成にあたっては、教育過程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意見を十分に活かし、 実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努めるものとし、その過程においては、以下に基づくものと する。

①学科教員による改善案の作成。②教育課程編成委員会にて専門的知見に基づく意見交換。③委員会での意見を踏まえ、学科長・ 教務関連委員を中心に修正案を作成し学校長の承認を得る。④最終決定した教育課程を各委員へ報告する。 (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
木下 亮輔	株式会社TechPlus代表取締役社長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
鈴木 克久	株式会社アンビション人事部/(社)コンピュータエンターティンメント協会	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
高見 政良	日本美術解剖学会員	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	2
大津 健太郎	株式会社オクルトノボル クリエイティブディレク ター	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
工藤 憲子	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 学校長		_
野中 智之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 副校長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
本木 能之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー ゲーム総合学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
真家 祐也	専門学校東京クールジャパン・アカデミー アニメ総合学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	-
西岡 創	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 声優学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
川上 美樹	専門学校東京クールジャパン・アカデミー グローバルキャリアデザインセンター長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
井上 正樹	専門学校東京クールジャパン・アカデミー ゲーム総合学科教諭	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
池田 貴之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 事務長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
前手 俊和	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 事務	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載するこ

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月12日 14:00~16:00 第2回 令和7年3月15日 14:00~15:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

①Google Play等を使用した実配信を想定したゲーム制作

現状、主に学内イベントや東京ゲームショウなどで制作したゲームをアップしているが、より制作の精度や対外性を強化する為に、「Google Play」などを用いたゲームの配信なども考えている旨報告する。委員会からの回答としては、方策としては有効だが、アップ後のメンテナンスやスケジュール感なども必要であるため、実動の前に前情報や下準備をしっかりとすることが大事とのこと。そのため、カリキュラムへの直ぐの導入ではなく、学内でのゲームジャムや有志の学生を元にまずは実験的に行うことで現在検討中。②複数専攻でのUnity授業の導入

元々はプログラム系のゲーム開発として「Unity」が導入されていたが、現在の業界の動向を見ると、プランナーやデザインの分野でも Unityが使われ出しており、学科としても他専攻での実施を検討している旨報告。実施について異論は無く、さっそくカリキュラムへの落 し込みを実施。講師の手数の問題もあり、まだ全専攻に一斉配置とはいかないが、先んじてプランナー、3DCG、サウンドの学生に対し て適用をし、Unityの特性を活かした授業を行う運びとなる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ゲーム業界で活躍できる人財を育成するため、多くのゲーム開発の経験を有する企業や有識者の目線で以て、スキルの学習はもちろんゲーム制作に必要な能力や資質を磨き、ゲームクリエイターとしての姿勢を確立させることを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

各専攻を混在させたチームをいくつか形成したオリジナルゲームの制作を行う。企業所属のクリエイターが中心となり、実際の制作の流れを想定した制作フローのチェックやアドバイスを行い、ゲームの完成までを導く。中間チェックの実施をし、最終的に各チームごとに発表(プレゼンテーション)を行い、ゲーム作品、各分担ごとの成果物、制作に取り組む姿勢などを以て評価を受ける。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
ゲーム制作	1.【校内】企業等から の講師が全ての授業 を主担当	各専攻を混在させたチームをいくつか 形成したオリジナルゲームの制作を 行う。株式会社エッジワークスからの クリエイターが中心となり、制作の流 れの監修や進捗確認、アドバイスを 行う。中間チェックの実施をし、最終 的に各チームごとに発表(プレゼン テーション)を行い、各分担ごとの成 果物、制作に取り組む姿勢などを以っ て評価を受ける。	株式会社エッジワークス
		00000	

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、学生に対する指導力の修得・向上のための研修に参加するものとす る。この研修は年に一度、原則として6月に実施する。

前項に加え、各学科の教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、専門分野における専門能力を修得することを目 的に別途研修を受講する。この研修は、業界団体等他の機関により実施されるものとし、校内、当該団体あるいはその他研修に適切 な場所で実施する。教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、勤務年数、業界経験年数の如何にかかわらず、特 段の事由のない限り、これらの研修に参加しなければならない。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

「生成AIで進化する"はたらく"のカタチ~AI活用の最適解とリ

研修名: 連携企業等:リコージャパン株式会社 コーの取り組み~」

対象:ゲーム総合学科教職員 期間: 2024年7月8日16:00~

内容 ゲーム・アニメーション制作や周辺業務におけるAIの活用の余地を検討することを目的とした。

②指導力の修得・向上のための研修等

「なりたい自分」を考える理想設計ワークショップ 連携企業等: 株式会社B.Cmembers 研修名:

期間: 2025年3月11日17:00~ 対象: 本校全職員

クリエイティブシンキング、ロジカルシンキング、システムシンキングの思考法をベースしたワークショップを通じ、目 内容 指す企業や業界へ学生の目標設定の立て方や、就職後のキャリア設計方法などの手段を学び、進路指導力の向

上を図った。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

クリエイティブ業界最前線2025 連携企業等:株式会社 ワコム 研修名:

対象:ゲーム総合学科教職員 期間: 2025年6月11日17:00~

ゲーム・アニメ・CGなどのクリエイティブ市場の最新概況と制作環境・技術トレンドを知る 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

「 教育相談の理論と実践 」 連携企業等: 公益財団法人才能開発教育研究財団 研修名:

2025年8月初旬 期間: 対象: 本校全職員

学生理解や教育相談に役立つ基本的なカウンセリング理論や技法について、学校現場の現状と課題についての事 内容

例を共に学び、その考え方を伝える力を習得する。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己評価結果を客観的に検証する仕組みとして『学校関係者評価委員会』を設置する。

その目的としては、①自己評価結果の客観性・透明性をたかめること。

②委員の本校に対する理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることとする。

その活動としては、学校が策定した重点目標、計画の実施についての自己評価結果、評価結果に基づく今後の取り組み方針などについて、教育活動・学校運営に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言を行うものであり、

それを受けて、学校及び 教職員は、学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めなければならない。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(<u>2)「専修字校における字校評価カイドライン」の</u> ガイドラインの評価項目	項目との対応
(1)教育理念・目標	理念・目的・育成人材像、職業教育の特色、将来構想、保護者等に周知、業界のニーズとの適合性
(2)学校運営	運営方針、事業計画、運営組織・意志決定機能の明確化、人事規定、教務・ 財務等の組織整備、コンプライアンス体制、情報公開、業務の効率化
(3)教育活動	教育課程の編成・実施方針、教育レベルや学習時間の確保、カリキュラム、 キャリア教育・実践的授業、企業・業界団体等との連携、実践的な職業教育、授業評価・評価体制、適正な教員確保とマネジメント、研修や教員育成
(4)学修成果	就職率、資格取得率、退学率の低減、卒業生・在校生の活躍状況の把握と 教育活動の改善への活用
(5)学生支援	進路・就職支援体制、学生相談体制、経済的な支援体制、健康管理、学生の生活環境支援、保護者との連携、卒業生支援、教育環境が整備、高校との連携、キャリア教育・職業教育の取り組み
(6)教育環境	施設・設備の整備、インターンシップ・研修等の教育体制、防災に対する体制整備
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動、教育効果の公表、学納金は妥当性
(8)財務	学校の財務基盤、予算・収支計画、会計監査、財務情報公開の体制整備
(9)法令等の遵守	法令遵守と適正な運営、個人情報保護、自己評価の実施と改善、自己評価 結果を公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献、学生ボランティア活動を奨励・支援、公開講座・教育訓練
(11)国際交流	留学生の受け入れ・派遣・在籍管理、留学生の学修・生活指導体制の整備、 学修成果の評価

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

本校は従来より立地・外観・雰囲気等の面より、外部からは学校としてのイメージが薄いようであった。前回の委員会において地域代表委員からの意見で地域の商店街や組合でも学校なのか企業なのか、何の勉強をしているのか理解されていないようだとの指摘を受けて、改めて認識を強くした。今回の報告を伴う情報公開を機に、より学校の教育活動や学生の作品発表・活動状況についてのホームページでの配信を修正し、また企業との提携や高校との連携など学校として施設面も含めてのオープン化し、東京クールジャパンの認知の拡大に取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所属	任期	種別
藤沢 理子	株式会社エッジワークス 取締役	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	企業等委 員
松本 翔吾	有限会社ゼクシズ	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	卒業生
	千駄ケ谷大通り商店街振興組合 千駄ケ谷グリーンモール理事長	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	近隣地域 住民
	全国私立通信制高等学校協会元事務局長 学校法人科学技術学園高等学校理事長·校長	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	学校運営に 関する専門 家

- ※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
- (例)企業等委員、PTA、卒業生等
- (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.cooljapan.ac.jp/evaluation/R6tcj_school_official_evaluation_report.pdf

公表時期: 2025年10月1日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校案内書やホームページにて学校理念・育成すべき学生の人材像等教育目標の共有を前提に、学校施設の見学や学校行事への随時見学・参加を通じで学校の取り組みに理解を深めていただき、その方向性や整合性の判断し、連携や協力関係を続ける等積極的な情報交換・理解促進に努める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	<u> </u>
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・学校の概況・教育理念・法人名・所在地・代表者・沿革・教育目標
(2)各学科等の教育	・目標募集学科・専攻(コース)・定員・就職業界デビューへのSTEP・教育の流れ
(3)教職員	・組織図・本務者、兼務者、職員人数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・就職活動へのフォローアップ・企業、業界との連携
(5)様々な教育活動・教育環境	・AO2,5システム・教育サポート・業界EXPO
(6)学生の生活支援	・学生寮・学割制度・教室、備品貸し出し・図書室利用・部活動
(7)学生納付金·修学支援	•学費一覧•奨学金制度
(8)学校の財務	・財務諸表・貸借対照表・収支計算書・財産目録・事業報告書・監査報告書
(9)学校評価	・自己評価報告書・学校関係者評価報告書
(10)国際連携の状況	
(11)その他	
·	<u> </u>

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.cooljapan.ac.jp/information/

公表時期: 2025年10月1日

授業科目等の概要

				専門課程 ゲー	-ム総合学科ゲームライター専攻)											
		分 選択必修		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演習	実験・実習・実技		<u>所</u> 校		兼	企業等との連携
1	0			ゲーム制作 I	企画・シナリオ制作とチームの取りまとめ	1 通	120	8			0	0			0	0
2	0			ゲームシナリ オI	シナリオやコピーにおける基礎文章力の向 上	1 通	120	8			0	0			0	
3	0			市場分析	ゲームの考察と情報収集のノウハウ	1 通	120	8			0	0			0	
4	0			ライター基礎	取材機材や取材方法などの基礎	1 通	120	8			0	0			0	
5	0			ゲームデザイ ンI	ゲーム企画に関する基礎知識の習得	1 通	120	8			0	0			0	
6	0			ゲ ー ム レ ビュー	雑誌や記事制作の基礎	1 通	120	8			0	0			0	
7	0			ゲーム仕様 I	ゲーム制作で必要な仕様を理解し、仕様書 について学ぶ	1 前	60	4			0	0			0	
8	0			ポートフォリ オ制作 I	就職活動用の作品制作と制作補助	1 後	30	2			0	0			0	
9	0			ホームルーム	学生作品のチェックや個別面談、インフォ メーションなど	1 通	60	4			0	0		0		
10	0			就職セミナー	ゲーム会社やOB・OGによる企業研究	1 後	30	2	0			0		0		
11			0	ゲームジャム	クラス縦断したチームを結成し、限られた 時間の中で協力し合いゲームを完成させる イベント	1 通	60	4	0			0			0	
12	0			ゲーム制作Ⅱ	企画・シナリオ制作とチームのとりまとめ	2 通	120	8			0	0			0	0
13	0			ゲームシナリ オ II	シナリオやコピーにおける文章力向上のた めの演習	2 通	120	8			0	0			0	
14	0			ライター実践	取材機材やインタビューの実践と学習	2 通	120	8			0	0			0	
15	0			ゲーム ライ ティング	雑誌や記事制作、取材などを通じた実践	2 通	120	8			0	0			0	
16	0			ゲームデザイ ンⅡ	ゲームの企画を読み解き、概要を分析する	2 通	120	8			0	0			0	
17	0			ゲーム仕様Ⅱ	ゲーム仕様の理解とレビュー作成への応用	2 通	60	4			0	0			0	
18	0			ポートフォリ オ制作	就職活動用の作品制作と制作補助	2 前	60	4			0	0		0		
19	0			修了制作	2年間の集大成として専攻毎の作品制作	2 後	60	4			0	0			0	
20	0			ホームルーム	学生作品のチェックや個別面談、インフォ メーションなど	2 通	60	4	0			0		0		
21	0			就職セミナー	企業説明会や就職用セミナーの実施	2 通	60	4	0			0		0		
22			0	ゲームジャム	クラス縦断したチームを結成し、限られた 時間の中で協力し合いゲームを完成させる イベント	2 通	60	4			0	0			0	
23																
24																
			合	計	21	1	科目				1920	単位	立(単位	時間	引)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	Ē
卒業要件: 基本科目・選択科目等を併せて108単位以上の習得及び修了制作の審査 に合格すること。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 入学・進級時のオリエンテーションにて配布・案内に沿って履修する	1 学期の授業期間	15 週

L (留意事項)
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

² 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月	日 仪	長名			所在地			
専門学校東京クールン・アカデミー		昭和58年7月	1日 工藤	憲子	(住所) 東京	-0051 京都渋谷区千駄4	∽谷1−8−17			
設置者名							所在地			
学校法人21世紀アカ		昭和42年1月1		. 広志	•	-0001 京都千代田区神E				
					(電話) 03-	5283-6288		左	啦米中吐	5.明细和到点左连
分野		<u>定課程名</u>	認定学科 ゲーム総合:			<u>認定年度</u>	高度専門士認定	上午及		<u> </u>
文化•教養	又16年	收養専門課程 ──────	ゲームプランナ	一専攻	ጉብ ረ	2020)年度 ————————————————————————————————————	_		⊤₩	2(2020)年度
学科の目的	ゲームに関え	重する職業に必要な真	専門技術ならびに創造	力、表現力を身	につけた健全な	な職能人の育成を	目的とする。			
			界でプロを目指すため! の経験値アップを身に [・]		固々のスキルを	を	体の90%以上の実習授	業でスキル	アップや制作	≅・鍛錬を行い、最高
修業年限	昼夜		な総授業時数又は総 立数	講義		演習	実習	実	験	実技
2 年		《単位時間、単位いずれ いに記入	1,800 単位時間		単位時間 単位	O 単位時間 単位	1,710 単位時間 単位		単位時間単位	0 単位時間
生徒総定員	生徒実	員(A) 留学生	数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合	à(B/A)	中退率			•	
360 人	24 /		14 人	1 %	%	8 %				
	■卒業者数		10		<u></u>		•			
	■就職希望 ■就職者数		10 9		人 人					
	■地元就職	战者数 (F)	6		人					
	■就職率() ■就職者()	E/D) :占める地元就職者 <i>の</i>	90)割合(F/E)	(%					
			100	(%					
	■卒業者に 	占める就職者の割合	· (E/C)	(%					
	■進学者数 ■その他	Ţ.	0		<u> </u>					
	- ●留学生帰[国、自営業手伝い								
	(令和	6 年度卒業者	に関する令和7年5月	1日時点の情報)					
	■主な就職	先、業界等			,					
	(令和6年度卒									
	(株)eSP(株)エ						−(株)サウンド・シティサ ^{ケラ}	クシード株	サミーデジ	タルセキュリティ(株)
	/±/>>、 □ □ > ·	77 <i>7</i> 2. /:- / /:		T-1.12	/ T111111111111111111111111111111111111		· / ^			
		クスタジオZigZaGan 『価機関等から第三		オコンヒュータ	/(株)(株)Mission I		···			
	■民間の評	フスタシオZigZaGan 『価機関等から第三 例えば以下について任	者評価:	オコンヒューダ	メ(株)(株)Mission I	無	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
	■民間の評 ※有の場合、	「価機関等から第三 例えば以下について任	者評価:		*(株)(株)Mission I		評価結果を掲載した			
第三者による	■民間の評 ※有の場合、	価機関等から第三	者評価:	オコンヒュータ 受審年月:	·(株)(株)Mission I					
第三者による 学校評価 当該学科の	■民間の割 ※有の場合、 割	「価機関等から第三例えば以下について任 「独団体:	者評価:		*(株)(株)Mission I		評価結果を掲載した			
第三者による 学校評価 当該学科の	■民間の割 ※有の場合、 割	「価機関等から第三 例えば以下について任	者評価:		*(株)(株)Mission I		評価結果を掲載した			
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、	不価機関等から第三例えば以下について任 通団体: w.cooljapan.ac.jp/	者評価:		*(株)(株)Mission I		評価結果を掲載した			
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、 https://ww	不価機関等から第三例えば以下について任 が価団体: w.cooljapan.ac.jp/ 寺間による算定)	者評価:		· (株)(株) Mission I		評価結果を掲載した	1 920	単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、 https://ww	不価機関等から第三例えば以下について任 が価団体: w.cooljapan.ac,jp/ 時間による算定) 総授業時数	者評価: 意記載	受審年月:			評価結果を掲載した		単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、 https://ww	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.cooljapan.ac,jp/ 時間による算定) ※授業時数 うち企業等	者評価: 意記載 等と連携した実験・実習	受審年月: 宮・実技の授業			評価結果を掲載した	240	単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、 https://ww	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.cooljapan.ac,jp/ 寺間による算定) 総授業時数	者評価: 意記載 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授業	受審年月: 宮・実技の授業			評価結果を掲載した	240	単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、 https://ww	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.cooljapan.ac,jp/ 時間による算定) ※授業時数 うち企業等	者評価: 意記載 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授業 受業時数	受審年月: 習・実技の授業	時数	無 ————————————————————————————————————	評価結果を掲載した	240	単位時間単位時間単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、 https://ww	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.cooljapan.ac,jp/ 寺間による算定) 総授業時数	者評価: 意記載 等と連携した実験・実習 を連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した	受審年月: 習・実技の授業	時数 実習・実技の授	無 ————————————————————————————————————	評価結果を掲載した	240 0 1,800 240	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、 https://ww	「価機関等から第三例えば以下について任 述価団体: w.cooljapan.ac.jp/ 寺間による算定) ※授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修技	者評価: 意記載 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月: 図・実技の授業 詳時数 こ必修の実験・3 こ必修の演習の	時数 実習・実技の授 授業時数	無 ————————————————————————————————————	評価結果を掲載した	240 0 1,800 240	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の評 ※有の場合、 https://ww	「価機関等から第三例えば以下について任 述価団体: w.cooljapan.ac.jp/ 寺間による算定) ※授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修技	者評価: 意記載 等と連携した実験・実習 を連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した	受審年月: 図・実技の授業 詳時数 こ必修の実験・3 こ必修の演習の	時数 実習・実技の授 授業時数	無 ————————————————————————————————————	評価結果を掲載した	240 0 1,800 240	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状況	■民間の評 ※有の場合、 https://ww	「価機関等から第三例えば以下について任 「通団体: w.cooljapan.ac.jp/ 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修持	者評価: 意記載 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月: 図・実技の授業 詳時数 こ必修の実験・3 こ必修の演習の	時数 実習・実技の授 授業時数	無 ————————————————————————————————————	評価結果を掲載した	240 0 1,800 240	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位 (B:単位	「価機関等から第三例えば以下について任 近面団体: w.cooljapan.ac.jp/ 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修打 (うち企業	者評価: 意記載 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月: 図・実技の授業 詳時数 こ必修の実験・3 こ必修の演習の	時数 実習・実技の授 授業時数	無 ————————————————————————————————————	評価結果を掲載した	240 0 1,800 240 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状況 く と連携した 実施状況	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位 (B:単位	「価機関等から第三例えば以下について任 本価団体: w.cooljapan.ac.jp/ 寺間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修打 なによる算定) なによる算定)	者評価: 意記載 等と連携した実験・実習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月: 習・実技の授業 業時数 - 必修の実験・3 - 必修の演習の持 - ンシップの授	時数 実習・実技の授 授業時数 業時数)	無 ————————————————————————————————————	評価結果を掲載した	240 0 1,800 240 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状況 くと連携した 実施状況	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位 (B:単位	「価機関等から第三例えば以下について任 がのでは以下について任 がいでは、 がいでは、 がいでは、 がいでのは、 がいでのは、 がいでのは、 がいでのは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	者評価: 意記載 等と連携した実験・実習の授業 等と連携した演習の授業 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した きと連携したインター	受審年月: 習・実技の授業 詳時数 こ必修の実験・3 こ必修の演習の持 ニンシップの授	時数 実習・実技の授 授業時数 業時数)	無 ————————————————————————————————————	評価結果を掲載した	240 0 1,800 240 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状況 くと連携した 実施状況	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位 (B:単位	「価機関等から第三例えば以下について任 がのでは以下について任 がいでは、 がいでは、 がいでは、 がいでのは、 がいでのは、 がいでのは、 がいでのは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	者評価: 意記載 等と連携した実験・実習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月: 習・実技の授業 詳時数 こ必修の実験・3 こ必修の演習の持 ニンシップの授	時数 実習・実技の授 授業時数 業時数)	無 ————————————————————————————————————	評価結果を掲載した	240 0 1,800 240 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状況 人と連携した 実施状況	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位 (B:単位	「価機関等から第三例えば以下について任 が ()	者評価: 意記載 を連携した実験・実習の授業 を連携した演習の授業 うち企業等と連携した うち企業等と連携した きと連携したインター を連携した実験・実習 を連携した演習の単位	受審年月: 図・実技の授業に 素時数 こ必修の実験・3 こ必修の演習の持 ニンシップの授	時数 実習・実技の授 授業時数 業時数)	無 ————————————————————————————————————	評価結果を掲載した	240 0 1,800 240 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状況 人と連携した 実施状況	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位 (B:単位	「価機関等から第三例えば以下について任 がのでは以下について任 がのでは、 がのでは、 がいでは、 がいでのは、 がいでのは、 がいでのは、 がいでのは、 がいでのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でいる。	者評価: 意記載 を連携した実験・実習の授業 を連携した演習の授業 うち企業等と連携した うち企業等と連携した きと連携したインター を連携した実験・実習 を連携した演習の単位	受審年月: 留・実技の授業 に必修の実験・会会 に必修の演習の持つ で必修の演習の持つ で必修の演習の で必修の演習の で必修の演習の で必修の演習の で必修の演習の で必修の でが でが でが でが でが でが でが でが でが で	時数 実習・実技の授 授業時数 業時数) 数	無	評価結果を掲載した	240 0 1,800 240 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状況 くと連携した 実施状況	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位 (B:単位	「価機関等から第三例えば以下について任 がのでは以下について任 がのでは、 がのでは、 がいでは、 がいでのは、 がいでのは、 がいでのは、 がいでのは、 がいでのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でいる。	者評価: 意記載 を連携した実験・実習の授業 と連携した演習の授業 うち企業等と連携した うち企業等と連携した き等と連携したインター を連携した実験・実習の単位 を連携した演習の単位	受審年月: ・ 実技の授業 ・ 必修の実験・ 会会 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	時数 実習・実技の授 授業時数 業時数) 数	無	評価結果を掲載した	240 0 1,800 240 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状況 くと連携した 実施状況	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位 (B:単位	「価機関等から第三例えば以下について任 がのでは、 w.cooljapan.ac.jp/ 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修打 なによる算定) なによる算定) なによる算定) なによる算定) なによる算定) なによる算定) なによる算定) なによる算定) なによる算定) なによる算定)	者評価: 意記載 を連携した実験・実験・実験を連携した演習の授業等と連携した演習の授業等と連携した演習の受験をできる。 うち企業等と連携したまります。 を連携した実験・実際を連携した演習の単位をできる。	受審年月: ・実技の授業 ・必修の演習の持 ・・必修の演習の ・・必修の演習の ・・必修の演習の ・・必修の演習の	時数 実習・実技の授 授業時数 業時数) 数 実技の単	無	評価結果を掲載した	240 0 1,800 240 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位 位 時間 間間 間間 間 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位	
第三者による 学校評価 当該学科の ホー URL と連携した と実施状の	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位 (B:単位	「価機関等から第三例えば以下について任 がのでは、 w.cooljapan.ac.jp/ 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修打 なによる算定) なによる算定) なによる算定) なによる算定) なによる算定) なによる算定) なによる算定) なによる算定) なによる算定) なによる算定)	者評価: 意記載 を連携した演習の授業 を連携した演習の授業 を変素等と連携した うち企業等と連携した を連携した演習の単位 を連携した演習の単位 ができるでである。 を連携した演習の単位 ができるでである。 を連携した。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	受審年月: ・実技の授業 ・必修の演習の持 ・・必修の演習の ・・必修の演習の ・・必修の演習の ・・必修の演習の	時数 実習・実技の授 授業時数 業時数) 数 実技の単	無	評価結果を掲載した	240 0 1,800 240 0 0	単位時間 単位時間 単位 位位	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームVRL と連携した 実際の よいずれか	■民間の計 ※有の場合、計 https://ww (A:単位 (B:単位	「価機関等から第三例えば以下について任 がいたのは がいたのは がいたのは がいたのは がいたのは がいたのは では では では では では では では では では で	者評価: 意記載 を連携した実験・実験・実験・変業等と連携した演習の授業等と連携した演習の受験を連携した。 うち企業等と連携した。 を連携した演習の単位を連携した。 を連携した演習の単位である。 を連携した演習の単位である。 を連携した。 をできた。 をでをできた。 をでき	受審年月: ・実技の授業 ・数 ・必修の演習の授 ・必修の演習の授 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	時数 実習・実技の授 授業時数 業時数) 数 実技の単	無	評価結果を掲載した	240 0 1,800 240 0 0	単位時間 単位時間 単位 位位	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状況 くと連携した 実施状況	■民間の場合、 A https://ww (A:単位 (B:単位 (A)	「価機関等から第三側えば以下について任理」では、	者評価: 意記載 を連携した演習の授業 を連携した演習の授業 を変素等と連携した うち企業等と連携した を連携した演習の単位 を連携した演習の単位 ができるでである。 を連携した演習の単位 ができるでである。 を連携した。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	受審年月: ・実技の授業 ・数 ・必修のののプロの授業 ・会 ・必修のののプロの授業 ・会	時数 実 実技の授 業 時数 業 時数 数 事 で 実技の単 位数)	無	評価結果を掲載したホームページURL	240 0 1,800 240 0	単位時間 単位時間 単位 位位	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状況 くと連携した 実施状況	■ 民間の 所 R に A に A に A に A に A に A に A に A	「価機関等からいて任 「価機関等について任 「他関係は以下について任 「他関係は以下について任 「他ではないではないではないできます。 「は、はないでは、はないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	者記載 ・	受審年月: ・実技の授業 ・数 ・必修のののプロの授業 ・会 ・必修のののプロの授業 ・会	時数 実 授 業 サ 数 実 技 の 野 妻 数 事 を 数 で 事 修 学 校 設	無 受業時数 <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u>	評価結果を掲載した ホームページURL	240 0 1,800 240 0 0	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
第三者による 学校評価 当成ののジャー・リストののジャー・リストののジャー・リストのののジャー・リストののジャー・リストののジャー・リストののジャー・リストののジャー・リストののジャー・リストのでは、また、カー・リストのでは、また。カー・リストのでは、また、カー・リストのでは、また。カー・リストのでは、カー・リストのでは、また。カー・リストのでは、カー	■ 民間の 所 R に A に A に A に A に A に A に A に A	不価機関等について任 を関うについて任 を関うについて任 がいこののははないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、ないでは、	者記載 きと連携した 実験 習の 携した 実験 習の と 連携 した 実験 習の きと連携 した 実験 習ん 変素等 した た 演習 の 単携 した 実験 習ん 変素等 した た 演習 の 単携 した 実験 習の 単態 した た 演習 企業 等した た で まままます。 ままままままます。 まままままままままままままままままままま	受審年月: ・実技の授業 ・数 ・必修のののプロの授業 ・会 ・必修のののプロの授業 ・会	時数 実 授 業 ・ 実数 ・ 実数 ・ 実数 ・ 実位数) ・ 専修学校設	登業時数	評価結果を掲載した ホームページURL (第1号)	240 0 1,800 240 0 0	単単単単単単単 人時時時時時時時時時時時時時時時時時時時時時時時時時時時時時時	
第三者に価 学校評価 当一 URL 学ペー URL とのB記入 とのB記入 し状れ し状れ ・ででである。 では、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、こ	■ 民間の 所 R Https://ww (A:単位 (B:単位 (A A:単位 (A A:単位 (A A:単位 (A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	「価機以下について任 一機以下について任 一機以下について任 一機以下について任 一様以下について任 一様以下について 一様以下について 一様以下について 一様以下について 一様以下について 一様以下について 一様の 一はより 一様の 一でないで 一でないで 一でないで 一でないで ででするで でするで ですで です	者記載 きと連携した 実際 できる	受審年月: ・実技の授業 ・数 ・必修のののプロの授業 ・会 ・必修のののプロの授業 ・会	時数 実 授 業 ・ 実 数 ・ 実 数 ・ 実 数 ・ 実 数 ・ 事 体 ・ 専 修 ・ 学 校 設 ・ で 学 校 設	無 受業時数 這基準第41条第1項 置基準第41条第1項	評価結果を掲載した ホームページURL	240 0 1,800 240 0 0	単単単単単単単 人 人 人 一位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
第三者による 学校評価 当該 学ペー リスト URL 業等等ののジー とののとののととののは連携施ずいというの属性(専任	■ 民間の 所 R Https://ww (A:単位 (B:単位 (A A:単位 (A A:単位 (A A:単位 (A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	「価機関等について任 「個機関下について任 「他関下について任 「他関下について任 「他関下について任 「他関下について任 「中間業 「ののよるなどのでするのででです。 「のの数と者 「の数と者 「の数と者 「の数と者 「の数と者 「の数と者 「のの数と者 「の数とる 「のなる 「のな 「のなる 「のな 「のな 「のな 「のな 「のな 「のな 「のな 「のな	者記載 きと連携した 実際 できる	受審年月: ・実技の授業 ・数 ・必修のののプロの授業 ・会 ・必修のののプロの授業 ・会	時数 実 単位 実 費 費 の 野 で 時 数 で 事 の 事 の 事 修 学 校 校 校 校 校 校 校 校 設 設 で か か か か か か か か か か か か か か か か か	無受業時数 宣基準第41条第1項 置基準第41条第1項 置基準第41条第1項	評価結果を掲載した ホームページURL 第1号) 第3号) 第3号)	240 0 1,800 240 0 0	単単単単単単単 人 人人 人時時時時時時時時時時時時時時時時時時時時時時時時時	
第三者に伝 学校 当本 URL	■Kanona Annual Annua	「価機以下について任 を関下について任 を関下について任 を関下について任 を関下について任 を関下についではよる のはよる のはよる のはよる のはよる のはよる のはよる のは、 ののは、 のののは、 ののののは、 のののののののののののの	者記載 きと連携した 実際 できる	受審年月: ・実技の授業 ・数 ・必修のののプロの授業 ・会 ・必修のののプロの授業 ・会	時数 実 単位 実 費 費 の 野 で 時 数 で 事 の 事 の 事 修 学 校 校 校 校 校 校 校 校 設 設 で か か か か か か か か か か か か か か か か か	無 受業時数 這基準第41条第1項 置基準第41条第1項	評価結果を掲載した ホームページURL 第1号) 第3号) 第3号)	240 0 1,800 240 0 0 0	単単単単単単単 人 人人人人的 人位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
第三者に伝 学校 当本 URL	■Kanona Annual Annua	「価機関等について任 「個機関下について任 「他関下について任 「他関下について任 「他関下について任 「他関下について任 「中間業 「ののよるなどのでするのででです。 「のの数と者 「の数と者 「の数と者 「の数と者 「の数と者 「の数と者 「のの数と者 「の数とる 「のなる 「のな 「のなる 「のな 「のな 「のな 「のな 「のな 「のな 「のな 「のな	者記載 きと連携した 実際 できる	受審年月: ・実技の授業 ・数 ・必修のののプロの授業 ・会 ・必修のののプロの授業 ・会	時数 実 単位 実 費 費 の 野 で 時 数 で 事 の 事 の 事 修 学 校 校 校 校 校 校 校 校 設 設 で か か か か か か か か か か か か か か か か か	無受業時数 宣基準第41条第1項 置基準第41条第1項 置基準第41条第1項	評価結果を掲載した ホームページURL 第1号) 第3号) 第3号)	240 0 1,800 240 0 0	単単単単単単単 人 人人人人的 人位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
第三者に伝 学校 当本 URL	■Kanona Annual Annua	「価機以下について任 を関下について任 を関下について任 を関下について任 を関下について任 を関下についではよる のはよる のはよる のはよる のはよる のはよる のはよる のは、 ののは、 のののは、 ののののは、 のののののののののののの	者記載 きと連携した 実際 できる	受審年月: ・実技の授業 ・数 ・必修のののプロの授業 ・会 ・必修のののプロの授業 ・会	時数 実 単位 実 費 費 の 野 で 時 数 で 事 の 事 の 事 修 学 校 校 校 校 校 校 校 校 設 設 で か か か か か か か か か か か か か か か か か	無受業時数 宣基準第41条第1項 置基準第41条第1項 置基準第41条第1項	評価結果を掲載した ホームページURL 第1号) 第3号) 第3号)	240 0 1,800 240 0 0	単単単単単単単 人 人人人人的 人位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
第三者に 学校 当該ムの 当市 URL ・ との B に ・ に に ・ に に で で で に で で で に で で に で で に で で に で で に で で に で で に で に で で に で で に で で に で で に で で に で に で で に で	■ R C C C C C C C C C C C C C C C C C C	「価機関等について任 一機関下について任 一機関下について任 一機関下について任 一体関下について 中間業 一ののはより では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	者記載 きと連携 した きと連携 かっちと 連携 した たで とと きと きと きと きと きと きょう うちと 連携 した た 変 とと きょう うちと 連携 した た 演習 連携 した た 変 とと きょう うちと 連携 した たで あまずる ままずる ままずる ままずる ままずる ままずる ままずる ままずる	受審年月: ・ 実技のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	時 実 授 業 数 実 単 位 ((((で で で で で で で で で で で で で で で	無 登業時数 置基準第41条第1項 置基準第41条第1項 置基準第41条第1項 置基準第41条第1項	評価結果を掲載した ホームページURL 第1号) 第3号) 第3号) 第3号) 第5号)	240 0 1,800 240 0 0 0	単単単単単単単 人 人人人人的 人位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

教育課程編成員会は、卒業生の就職先である、ゲーム・アニメーション等エンターテインメント業界において必要とされる、実践的かつ 専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成(授業科目の開設 や授業内容・方法の改善・工夫等を含む)に活かすことを目的として基本方針とする。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- 教育課程の編成にあたっては、教育過程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意見を十分に活かし、 実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努めるものとし、その過程においては、以下に基づくものと する。
- ①学科教員による改善案の作成。②教育課程編成委員会にて専門的知見に基づく意見交換。③委員会での意見を踏まえ、学科長・教務関連委員を中心に修正案を作成し学校長の承認を得る。④最終決定した教育課程を各委員へ報告する。
- (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
木下 亮輔	株式会社TechPlus代表取締役社長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
鈴木 克久	株式会社アンビション人事部/(社)コンピュータエンターティンメント協会	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
高見 政良	日本美術解剖学会員	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	2
大津 健太郎	株式会社オクルトノボル クリエイティブディレク ター	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
工藤 憲子	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 学校長		_
野中 智之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 副校長		_
本木 能之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー ゲーム総合学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
真家 祐也	専門学校東京クールジャパン・アカデミー アニメ総合学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
西岡 創	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 声優学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
川上 美樹	専門学校東京クールジャパン・アカデミー グローバルキャリアデザインセンター長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
井上 正樹	専門学校東京クールジャパン・アカデミー ゲーム総合学科教諭	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
池田 貴之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 事務長		
前手 俊和	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 事務	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月12日 14:00~16:00 第2回 令和7年3月15日 14:00~15:30

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ①Google Play等を使用した実配信を想定したゲーム制作

現状、主に学内イベントや東京ゲームショウなどで制作したゲームをアップしているが、より制作の精度や対外性を強化する為に、「Google Play」などを用いたゲームの配信なども考えている旨報告する。委員会からの回答としては、方策としては有効だが、アップ後のメンテナンスやスケジュール感なども必要であるため、実動の前に前情報や下準備をしっかりとすることが大事とのこと。そのため、カリキュラムへの直ぐの導入ではなく、学内でのゲームジャムや有志の学生を元にまずは実験的に行うことで現在検討中。

②複数専攻でのUnity授業の導入

元々はプログラム系のゲーム開発として「Unity」が導入されていたが、現在の業界の動向を見ると、プランナーやデザインの分野でも Unityが使われ出しており、学科としても他専攻での実施を検討している旨報告。実施について異論は無く、さっそくカリキュラムへの落 し込みを実施。講師の手数の問題もあり、まだ全専攻に一斉配置とはいかないが、先んじてプランナー、3DCG、サウンドの学生に対し て適用をし、Unityの特性を活かした授業を行う運びとなる。

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ゲーム業界で活躍できる人財を育成するため、多くのゲーム開発の経験を有する企業や有識者の目線で以て、スキルの 学習はもちろんゲーム制作に必要な能力や資質を磨き、ゲームクリエイターとしての姿勢を確立させることを基本方針とする。

- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

各専攻を混在させたチームをいくつか形成したオリジナルゲームの制作を行う。企業所属のクリエイターが中心となり、実際の制作の流れを想定した制作フローのチェックやアドバイスを行い、ゲームの完成までを導く。中間チェックの実施をし、最終的に各チームごとに発表(プレゼンテーション)を行い、ゲーム作品、各分担ごとの成果物、制作に取り組む姿勢などを以て評価を受ける。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

Γ	科 目 名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
	ゲーム制作		各専攻を混在させたチームをいくつか形成したオリジナルゲームの制作を行う。株式会社エッジワークスからのクリエイターが中心となり、制作の流れの監修や進捗確認、アドバイスを行う。中間チェックの実施をし、最終的に各チームごとに発表(プレゼンテーション)を行い、各分担ごとの成果物、制作に取り組む姿勢などを以って評価を受ける。	
			00000	

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、学生に対する指導力の修得・向上のための研修に参加するものとする。この研修は年に一度、原則として6月に実施する。

前項に加え、各学科の教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、専門分野における専門能力を修得することを目的に別途研修を受講する。この研修は、業界団体等他の機関により実施されるものとし、校内、当該団体あるいはその他研修に適切な場所で実施する。教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、勤務年数、業界経験年数の如何にかかわらず、特段の事由のない限り、これらの研修に参加しなければならない。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

TT kg g 「生成AIで進化する"はたらく"のカタチ~AI活用の最適解とリ

研修名: コーの取り組み~」 連携企業等: リコージャパン株式会社

期間: 2024年7月8日16:00~ 対象: ゲーム総合学科教職員

内容 ゲーム・アニメーション制作や周辺業務におけるAIの活用の余地を検討することを目的とした。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「なりたい自分」を考える理想設計ワークショップ 連携企業等:株式会社B.Cmembers

期間: 2025年3月11日17:00~ 対象: 本校全職員

クリエイティブシンキング、ロジカルシンキング、システムシンキングの思考法をベースしたワークショップを通じ、目

内容 指す企業や業界へ学生の目標設定の立て方や、就職後のキャリア設計方法などの手段を学び、進路指導力の向

上を図った。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: クリエイティブ業界最前線2025 連携企業等: 株式会社 ワコム

期間: 2025年6月11日17:00~ 対象: ゲーム総合学科教職員

内容 ゲーム・アニメ・CGなどのクリエイティブ市場の最新概況と制作環境・技術トレンドを知る

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「教育相談の理論と実践」 連携企業等: 公益財団法人才能開発教育研究財団

期間: 2025年8月初旬 対象: 本校全職員

内容 学生理解や教育相談に役立つ基本的なカウンセリング理論や技法について、学校現場の現状と課題につ

いての事例を共に学び、その考え方を伝える力を習得する。

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1)学校関係者評価の基本方針
- 自己評価結果を客観的に検証する仕組みとして『学校関係者評価委員会』を設置する。
- その目的としては、①自己評価結果の客観性・透明性をたかめること。
- ②委員の本校に対する理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることとする。
- その活動としては、学校が策定した重点目標、計画の実施についての自己評価結果、評価結果に基づく今後の取り組み方針などに ついて、教育活動・学校運営に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言を行うものであり、
- それを受けて、学校及び 教職員は、学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めなければならない。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	理念・目的・育成人材像、職業教育の特色、将来構想、保護者等に周知、業界のニーズとの適合性
(2)学校運営	運営方針、事業計画、運営組織・意志決定機能の明確化、人事規定、教務・財務等の組織整備、コンプライアンス体制、情報公開、業務の効率化
(3)教育活動	教育課程の編成・実施方針、教育レベルや学習時間の確保、カリキュラム、キャリア教育・実践的授業、企業・業界団体等との連携、実践的な職業教育、授業評価・評価体制、適正な教員確保とマネジメント、研修や教員育成
(4)学修成果	就職率、資格取得率、退学率の低減、卒業生・在校生の活躍状況の把握と教育活動の改善への活用
(5)学生支援	進路・就職支援体制、学生相談体制、経済的な支援体制、健康管理、学生の生活環境支援、 保護者との連携、卒業生支援、教育環境が整備、高校との連携、キャリア教育・職業教育の取り組み
(6)教育環境	施設・設備の整備、インターンシップ・研修等の教育体制、防災に対する体制整備
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動、教育効果の公表、学納金は妥当性
(8)財務	学校の財務基盤、予算・収支計画、会計監査、財務情報公開の体制整備
(9)法令等の遵守	法令遵守と適正な運営、個人情報保護、自己評価の実施と改善、自己評価結果を 公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献、学生ボランティア活動を奨励・支援、公開講座・教育訓練
(11)国際交流	留学生の受け入れ・派遣・在籍管理、留学生の学修・生活指導体制の整備、学修成 果の評価

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

本校は従来より立地・外観・雰囲気等の面より、外部からは学校としてのイメージが薄いようであった。前回の委員会において地域代表委員からの意見で地域の商店街や組合でも学校なのか企業なのか、何の勉強をしているのか理解されていないようだとの指摘を受けて、改めて認識を強くした。今回の報告を伴う情報公開を機に、より学校の教育活動や学生の作品発表・活動状況についてのホームページでの配信を修正し、また企業との提携や高校との連携など学校として施設面も含めてのオープン化し、東京クールジャパン・アカデミーの認知の拡大に取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所属	任期	種別
藤沢 理子	株式会社エッジワークス 取締役	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	企業等委 員
松本 翔吾	有限会社ゼクシズ	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	卒業生
	千駄ケ谷大通り商店街振興組合 千駄ケ谷グリーンモール理事長	1日(2年)	近隣地域 住民
	全国私立通信制高等学校協会元事務局長 学校法人科学技術学園高等学校理事長·校長	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	学校運営に 関する専門 家

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.cooljapan.ac.jp/evaluation/R6tcj_school_official_evaluation_report.pdf

公表時期: 2025年10月1日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校案内書やホームページにて学校理念・育成すべき学生の人材像等教育目標の共有を前提に、学校施設の見学や学 校行事への随時見学・参加を通じで学校の取り組みに理解を深めていただき、その方向性や整合性の判断し、連携や協

カ関係を続ける等積極的な情報交換・理解促進に努める。 (2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・学校の概況・教育理念・法人名・所在地・代表者・沿革・教育目標
(2)各学科等の教育	・目標募集学科・専攻(コース)・定員・就職業界デビューへのSTEP・教育の 流れ
(3)教職員	 ・組織図・本務者、兼務者、職員人数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・就職活動へのフォローアップ・企業、業界との連携
(5)様々な教育活動・教育環境	・AO2,5システム・教育サポート・業界EXPO
(6)学生の生活支援	・学生寮・学割制度・教室、備品貸し出し・図書室利用・部活動
(7)学生納付金・修学支援	· 学費一覧· 奨学金制度
(8)学校の財務	·財務諸表·貸借対照表·収支計算書·財産目録·事業報告書·監査報告書
(9)学校評価	· 自己評価報告書·学校関係者評価報告書
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: 公表時期: https://www.cooljapan.ac.jp/information/ 2025年10月1日

授業科目等の概要

		()	文化	教養	長専門課程 ゲ−	授業科目等の概要 ム総合学科ゲームプランナー専攻)											
企 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数			分類	į			西	授		授	業プ		場	所	教	員	企
2 ○			選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	当年次・学	業時	位			験・実習・実					との連
2 2 2 3 3 3 5 5 5 5 5 5 5	1	0			ゲーム制作 I	企画・シナリオ制作とチームの取りまとめ	1 通	120	8			0	0			0	0
4 ○ 企画五新作 1 企画立案や飛渡力向上のための多級学習 1 100 8 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	2	0					1 通	120	8			0	0			0	
5 ○	3	0			市場分析	ゲームの考察と情報収集のノウハウ	1 通	120	8			0	0			0	
6 ○	4	0			企画書制作Ⅰ	企画立案や発想力向上のための基礎学習	1 通	120	8			0	0			0	
	5	0			ゲームデザイ ンI	ゲーム企画に関する基礎知識の習得	1 通	120	8			0	0			0	
10	6	0			ゲ ー ム レ ビュー	雑誌や記事制作の基礎	1 通	120	8			0	0			0	
9 ○ ホームルーム 学生作品のチェックや個別面談、インフォ 直 60 4 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	7	0			ゲーム仕様 I			60	4			0	0			0	
10 ○ 就職セミナー ゲーム会社や08・06による企業研究 1	8	0			ポートフォリ オ制作 I	就職活動用の作品制作と制作補助		30	2			0	0			0	
10 O	9	0			ホームルーム	学生作品のチェックや個別面談、インフォ メーションなど	1 通	60	4			0	0		0		
11	10	0			就職セミナー	ゲーム会社やOB・OGによる企業研究		30	2	0			0		0		
13 ○ ゲームシナリ シナリオやコピーにおける文章力向上のた 2 通 120 8	11			0	ゲームジャム	時間の中で協力し合いゲームを完成させる		60	4	0			0			0	
14 O	12	0			ゲーム制作Ⅱ	企画・シナリオ制作とチームのとりまとめ	2 通	120	8			0	0			0	0
15 ○ ゲーム企画 就職作品用企画書の作成 2 m 120 8 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 16 ○ 企画書制作Ⅱ 企画制作の基本と実践 2 m 120 8 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	13	0						120	8			0	0			0	
16 ○ 企画書制作 II 企画制作の基本と実践	14	0			ゲームデザイ ンⅡ	ゲーム制作ディレクションサポートの演習	2 通	120	8			0	0			0	
17 ○ ゲーム仕様 II ゲーム仕様の理解とレビュー作成への応用 2	15	0			ゲーム企画	就職作品用企画書の作成	2 通	120	8			0	0			0	
18 O	16	0			企画書制作Ⅱ	企画制作の基本と実践	2 通	120	8			0	0			0	
19 ○ 修了制作 2年間の集大成として専攻毎の作品制作 2 後 60 4 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	17	0			ゲーム仕様Ⅱ	ゲーム仕様の理解とレビュー作成への応用	2 通	60	4			0	0			0	
20 〇 ホームルーム 学生作品のチェックや個別面談、インフォ 2 通 60 4 〇 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	18	0			ポートフォリ オ制作	就職活動用の作品制作と制作補助	2 前	60	4			0	0		0		
21 〇 就職セミナー企業説明会や就職用セミナーの実施 2 GO 4 〇 〇 〇 〇 22 〇 〇ゲームジャム時間の中で協力し合いゲームを完成させるイベント 2 GO 4 ○ 〇 〇 〇	19	0			修了制作	2年間の集大成として専攻毎の作品制作	2 後	60	4			0	0			0	
21 0 Ni戦セミナー 正実説明芸やNi職用セミナーの実施 22 0 ゲームジャム	20	0			ホームルーム	学生作品のチェックや個別面談、インフォ メーションなど	2 通	60	4	0			0		0		
22 〇 ゲームジャム 時間の中で協力し合いゲームを完成させる 道 60 4 〇 〇 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	21	0			就職セミナー	企業説明会や就職用セミナーの実施	2 通	60	4	0			0		0		
	22			0	ゲームジャム	時間の中で協力し合いゲームを完成させる	I Z	60	4			0	0			0	
合計 22 科目 1920 単位(単位時間)	23																
				合	<u> </u>	22	· 利	計目				1920	単位	立 (単位	時間	引)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件:基本科目・選択科目等を併せて108単位以上の習得及び修了制作の審査	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 入学・進級時のオリエンテーションにて配布・案内に沿って履修する	1 学期の授業期間	15 调

¹ 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

² 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名				日		長名			所在地			
専門学校東京クー		昭和	158年7月	1日	工藤	憲子		151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ	谷1-8-17			
ン・アカデミー設置者名	_	設力	Z認可 年月	18	件 表	· 古名		03-3401-9701	所在地			
学校法人21世紀アン	カニノフ		<u>- III. 1 </u>			広志	•	196-0001 東京都千代田区神田				
				Z LI			(電話)	03-5283-6288				
分野	Ē	忍定課程名		,	認定学科2 ゲーム総合学		専門	¶士認定年度	高度専門士認定	至年度	職業実践専	<u>「門課程認定年度</u>
文化•教養	文化	教養専門認	果程			デイナー専攻	令和] 2(2020)年度	-		令和 2	2(2020)年度
学科の目的	ゲームに関	連する職業	に必要な	専門技術な	らびに創造っ	力、表現力を身	トにつけた健	全な職能人の育成を	目的とする。			
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	ゲーム総合 のパフォー	*学科ではゲマンスを実現	・ ームの世 見するため	界でプロを E の経験値ア	目指すために	こ、専攻ごとに Oける。	個々のスキ	ルを磨くと共に授業全化	本の90%以上の実習授	業でスキル	アップや制作	・鍛錬を行い、最高
修業年限	昼夜	全課程の修		な総授業時 立数	特数又は総	講乳		演習	実習	実	験	実技
2	昼間	※単位時間、 かに記入	単位いずれ	,	単位時間		単位時間	0 単位時間	1,710 単位時間		単位時間	0 単位時間
年在《中			ᄧᄱᆇᄮ		単位		単位	単位	単位		単位	単位 ————————————————————————————————————
生徒総定員 —————	生徒実	E貝(A)	留字生	数(生徒実員の	D内数)(B)	留学生割食	音(B/A)	中退率				
360 人	43			27	ᄉ	1	%	27 %				
	■卒業者 ■就職希	数 (C) 望者数 (D)	:		7 7		<u>人</u> 人					
	■就職者	数 (E)	:		3		人					
	■就職率	(E/D)			43		<u>人</u> %					
	■就職者□	こ占める地方	元就職者 <i>σ</i>)割合 (F/E	100		%					
	■卒業者に	こ占める就職	は者の割合	(E/C)								
お母女のより	■進学者	数			43 0		<u>%</u> 人					
就職等の状況	■その他											
	・留学生帰	国、自営業	美手伝い しょうしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん か									
	(△ 壬n	G. A	左连女类字	いままして人	·和7年6日:	1 日味占の桂製	1/					
	(令和 ■ 主か就	°° 哉先、業界÷		に関する句	'和 / 年 5 月 .	1 日時点の情報	ž)					
	(令和6年度		1									
				(1.1)	°── > ./₩\₩₽п₽	┪ ┑ ┸╫	. 18 . 1 /1.1		(性)サウンド・シィティサ	・クシードは	サミーデジタ	マルセキュリティ体
										/ I (IA)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	株ジーリン	クスタジオ	ZigZaGan	ne(株)(株)CEL				ionTime㈱メロンブック) / I (IA)		
ニュニュ 第三者による	株ジーリン ■民間の		ZigZaGam から第三	ne(株)(株)CEL 者評価 :						7 / I (IA		
第三者による 学校評価	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合	・クスタジオ 評価機関等 、例えば以下	ZigZaGam から第三	ne(株)(株)CEL 者評価 :		オコンピュー		ionTime㈱メロンブック 無	アニュア アログラ アログラ アログラ アログラ アログ アログラ アログ			
学校評価	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合	・クスタジオ 評価機関等	ZigZaGam から第三	ne(株)(株)CEL 者評価 :				ionTime㈱メロンブック 無	7,7			
学校評価 当該学科の	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合	・クスタジオ 評価機関等 、例えば以下 評価団体:	ZigZaGam から第三 について任	ne(株)(株)CEL 者評価 :		オコンピュー		ionTime㈱メロンブック 無	アニュア アス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス			
学校評価 当該学科の	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合	・クスタジオ 評価機関等 、例えば以下	ZigZaGam から第三 について任	ne(株)(株)CEL 者評価 :		オコンピュー		ionTime㈱メロンブック 無	アニュア アス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス			
学校評価 当該学科の ホームページ	株ジーリン ■民間の ※有の場合 https://ww	・クスタジオ 評価機関等 、例えば以下 評価団体:	ZigZaGam から第三 について任 an.ac.jp/	ne(株)(株)CEL 者評価 :		オコンピュー		ionTime㈱メロンブック 無	アニュア アス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス			
学校評価 当該学科の ホームページ	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合 https://ww	vクスタジオ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.cooljapa	ZigZaGam から第三 について任 an.ac.jp/	ne(株)(株)CEL 者評価 :		オコンピュー		ionTime㈱メロンブック 無	アニュア アス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス		単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合 https://ww	vクスタジオ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.cooljapa :時間による 総授業時数	ZigZaGam から第三 について任 an.ac.jp/	ne(株)(株)CEL 者評価 : 意記載	LORBナビ	オコンピュー	夕(株)(株)Missi	ionTime㈱メロンブック 無	アニュア アス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス	1, 920		
学校評価 当該学科の ホームページ	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合 https://ww	vクスタジオ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.cooljapa :時間による 総授業時数	ZigZaGam から第三 について任 an.ac.jp/ 算定) うち企業等	ne株/株)CEL 者評価: 意記載 を連携した	LORBナビ	オコンピュー 受審年月: 習・実技の授業	夕(株)(株)Missi	ionTime㈱メロンブック 無	アニュア アス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス	1, 920 240 0	単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合 https://ww	vクスタジオ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.cooljapa :時間による 総授業時数	ZigZaGam から第三 について任 an.ac.jp/ 算定) うち企業等 うち企業等	ne株/株/CEL 者評価: 意記載 を連携した と連携した	LORBナビ 実験・実習 演習の授業	オコンピュー 受審年月: ピ・実技の授業 等時数	夕(株)(株)Missi	ionTime(株)メロンブック 無	アニュア アス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス	1, 920 240 0 1, 800	単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合 https://ww	vクスタジオ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.cooljapa :時間による 総授業時数	ZigZaGam から第三 について任 an.ac.jp/ 算定) うち企業等 うち企業等	ne株/株/CEL 者評価: 意記載 を連携した と連携した そと連携した	LORBナビニ と実験・実習 に演習の授業	オコンピュー 受審年月: ピ・実技の授業 に い に い に い に い に い に い に い い に い い に い い に い い に い い に い い に い い に い い に い い に い い に い い に い い に い い い い い に い い い い に い い に い い と い い と い と	タ(株)(株)Missi 時数 実習・実技	ionTime(株)メロンブック 無	アニュア アス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス	1, 920 240 0 1, 800 240	単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合 https://ww	vクスタジオ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.cooljapa :時間による 総授業時数	ZigZaGam から第三 について任 an.ac.jp/ 算定) うち企業等 うち企業等	ne(株)(株)CEL 者評価: 意記載 を連携した と連携した ででである。 ででは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ	と実験・実習 と演習の授業 を連携した	オコンピュー 受審年月: ・実技の授業 に必修の実験・ ・必修の演習の	タ(株)(株)Missi 時数 実習・実技 授業時数	ionTime(株)メロンブック 無	アニュア アス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス	1, 920 240 0 1, 800 240	単位時間単位時間単位時間単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合 https://ww	vクスタジオ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.cooljapa :時間による 総授業時数	ZigZaGam から第三 について任 an.ac.jp/ 算定) うち企業等 うち企業等	ne(株)(株)CEL 者評価: 意記載 を連携した と連携した ででである。 ででは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ	と実験・実習 と演習の授業 を連携した	オコンピュー 受審年月: ピ・実技の授業 に い に い に い に い に い に い に い い に い い に い い に い い に い い に い い に い い に い い に い い に い い に い い に い い に い い い い い に い い い い に い い に い い と い い と い と	タ(株)(株)Missi 時数 実習・実技 授業時数	ionTime(株)メロンブック 無	アニュア アス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス	1, 920 240 0 1, 800 240	単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	(株)ジーリン ■民間の ※有の場合 https://ww	vクスタジオ 評価機関等 、例えば以下 ww.cooljapa は時間による 総授業時数	ZigZaGam から第三 について任 an.ac.jp/ 算定) うち企業等 うち必修持	ne(株)(株)CEL 者評価: 意記載 を連携した と連携した ででである。 ででは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ	と実験・実習 と演習の授業 を連携した	オコンピュー 受審年月: ・実技の授業 に必修の実験・ ・必修の演習の	タ(株)(株)Missi 時数 実習・実技 授業時数	ionTime(株)メロンブック 無	アニュア アログロ アログラ アログラ アログラ アログ アログラ アログ	1, 920 240 0 1, 800 240	単位時間単位時間単位時間単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	(株)ジーリン ■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	yクスタジオ 評価機関下 、例えば以下 ww.cooljapa は時間業時数 がはよる	ZigZaGam から第三 について任 an.ac.jp/ 算定) うち企業等 うち必修持	ne(株)(株)CEL 者評価: 意記載 を連携した と連携した ででである。 ででは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ	と実験・実習 と演習の授業 を連携した	オコンピュー 受審年月: ・実技の授業 に必修の実験・ ・必修の演習の	タ(株)(株)Missi 時数 実習・実技 授業時数	ionTime(株)メロンブック 無	アニュア アログロ アログラ アログラ アログラ アログ アログラ アログ	1, 920 240 0 1, 800 240 0	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携し と実施状れ と実施れれか	(株)ジーリン ■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	ックスタジオ 評価団体: ww.cooljapa お間では おいました。 数には がいました。 数には ないました。 ないまた。 なった。 なっ	ZigZaGam から第三 いら第三 について任 すった うち企業等 うち必修持	e株kk)CEL 者記載 を連携した うちを連携した うちを連携した	に実験・実習 に演習の授業 を連携した にたインター	オコンピュー 受審年月: ・実技の授業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	タ(株)(株)Missi 実習・実技 授業時数 発業時数)	ionTime(株)メロンブック 無	アニュア アログロ アログラ アログラ アログラ アログ アログラ アログ	1, 920 240 0 1, 800 240 0	単単単単単単単単単単単位 単位 は 単位 は は は は は は は は は は	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状した況 くる、Bいずれか	(株)ジーリン ■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	ックスタジオ 評価団体: ww.cooljapa おりでは、 がいまする。 がいまする。 がいまする。 がいまする。 ないまる。 ないな。 ないまる。 ないまる。 ないまる。 ないまる。 ないまる。 ないまる。 ないまる。 ないまる。 ないまる。 ないまる。 ないまる。 ないまる。 ないまる。 ないまる。 ないまる。 ないまる。 ないまる。 なっな。	ZigZaGam から第三 いら第三 について任 an.ac.jp/ 算定 うち企業等 うち企業等 うち企業等	e株kkCEL 者記載 きと連携した きとでである。 を変える。 をで。 を変える。 を変える。 を変える。 を変える。 を変える。 を変える。 を変える。 を変える。 を変える。 を変える。 をでる。 をで。 をで。 をで。 をで。 をで。 をで。 をで。 をで。 をで。 をで	に 実験・実習 デと連携した デと連携した に 実験・実際・実際・実際・実際・	オコンピュー 受審年月: 望・実技の授業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	タ(株)(株)Missi 実習・実技 授業時数 発業時数)	ionTime(株)メロンブック 無	アニュア アログロ アログラ アログラ アログラ アログ アログラ アログ	1, 920 240 0 1, 800 240 0	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携し と実施状れ に と実施状れか	(株)ジーリン ■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	ックス タジオ 評価 がW.cooljapa は がW.cooljapa は は は は は は は は は は は は は	ZigZaGam から第三にかいて任 an.ac.jp/ 算	e株)(株)CEL 者記載 きと、建・連・携・り、した。 きと、連・携・り、した。 きと、連・携・り、した。 きと、連・携・り、した。	に実験・実習 に演習の授業 を連携した にたインター	オコンピュー 受審年月: 望・実技の授業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	タ(株)(株)Missi 実習・実技 授業時数 発業時数)	ionTime(株)メロンブック 無	アニュア アログロ アログラ アログラ アログラ アログ アログラ アログ	1, 920 240 0 1, 800 240 0	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状した況 くる、Bいずれか	(株)ジーリン ■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	ックスタジオ 評価では、 がW.cooljapa では、 がW.cooljapa では、 がW.cooljapa では、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 が	ZigZaGam から第三 いら第三 について任 an.ac.jp/ 算定 うち企業等 うち企業等 うち企業等	e(株)(株)CEL 者記 きと、達、達、達、達、達、達、達、達、達、達、達、達、達、達、達、達、達、達、達	E	オコンピュー 受審年月: 望・実技の授業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	字(株)(株)Missi	ionTime(株)メロンブック 無 の授業時数	アニュア アログロ アログラ アログラ アログラ アログ アログラ アログ	1, 920 240 0 1, 800 240 0	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状した況 くる、Bいずれか	(株)ジーリン ■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	ックスタジオ 評価では、 がW.cooljapa では、 がW.cooljapa では、 がW.cooljapa では、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 が	ZigZaGam からいで任い an.ac.jp/ 算 うちを必修 う うちのの (定)	e(株)(株)でEL 者記 きと、業うう等 と連連時ちちと 連連携数企のででである。 は、は、して、までである。 は、までである。 もでもでもでもできでもでもできでもできでもでもできでもできでもできでもできでも	ELORBナビニ 実験・実際 を 連携した に 実験の 単した に 実際の に は に は に は に は に は に は に は に は に は に	オコンピュー 受審年月: ・実技の授業 ・	実際・実技 実業時数 変業時数) 変数	ionTime(株)メロンブック 無 の授業時数	アニュア アログロ アログラ アログラ アログラ アログ アログラ アログ	1, 920 240 0 1, 800 240 0	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携し と実際のよいずれか	(株)ジーリン ■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	ックスタジオ 評価では、 がW.cooljapa では、 がW.cooljapa では、 がW.cooljapa では、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 が	ZigZaGam から第三にかいて任 an.ac.jp/ 算	e供(株)でEL 者記 きと、業うう等 とと、連連等 もな。企連連連数をな。 をは、地域をでは、地域では、地域では、地域では、地域では、地域では、地域では、地域では、地域	ELORBナビニ 実験・実際の を きと連携した に 実際の に 実際の に は し に は り に り に り に り に り に り に り に り に り に	オコンピュー 受審年月: ・実技の授業 ・必修の演習の ・シシップの授 ・対 ・実技の単位 な ・変を ・変を ・変を ・変を ・変を ・変を ・変を ・変を ・変を ・変を	字(株)(株)Missi 実時数 実業時数 選業時数) 数 単位数	ionTime(株)メロンブック 無 の授業時数	アニュア アログロ アログラ アログラ アログラ アログ アログラ アログ	1, 920 240 0 1, 800 240 0	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携し と実施状れ と実施状れか	(株)ジーリン ■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	ックスタジオ 評価では、 がW.cooljapa では、 がW.cooljapa では、 がW.cooljapa では、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 が	ZigZaGam から第三にかいて任 an.ac.jp/ 算	e供(株)でEL 者記 きと、業うう等 とと、連連等 もな。企連連連数をな。 をは、地域をでは、地域では、地域では、地域では、地域では、地域では、地域では、地域では、地域	ELORBナビニ 実験・実際の を きと連携した に 実際の に 実際の に は し に は り に り に り に り に り に り に り に り に り に	オコンピュー 受審年月: ・実技の授業 ・必修の演習の ・シシップの授 ・対 ・実技の単位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	字(株)(株)Missi 実時数 実業時数 選業時数) 数 単位数	ionTime(株)メロンブック 無 の授業時数	アニュア アログロ アログラ アログラ アログラ アログ アログラ アログ	1, 920 240 0 1, 800 240 0	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携し と実施状れ と実施れれか	(株)ジーリン ■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	ックスタジオ 評価では、 がW.cooljapa では、 がW.cooljapa では、 がW.cooljapa では、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 が	ZigZaGam から第三にかいて任 an.ac.jp/ 算	e供(株)でEL 者記 きと、業うう等 とと、連連等 もな。企連連連数をな。 をは、地域をでは、地域では、地域では、地域では、地域では、地域では、地域では、地域では、地域	ELORBナビニ 実験・実際の を きと連携した に 実際の に 実際の に は し に は り に り に り に り に り に り に り に り に り に	オコンピュー 受審年月: ・実技の授業 ・必修の演習の ・シシップの授 ・対 ・実技の単位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	字(株)(株)Missi 実時数 実業時数 選業時数) 数 単位数	ionTime(株)メロンブック 無 の授業時数	アニュア アログロ アログラ アログラ アログラ アログ アログラ アログ	1, 920 240 0 1, 800 240 0	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携し と実施状れ と実施状れか	(株)ジーリン 	クク価えい数総クの個えいおりでは大の個式は大の個式は大の間によはよはなななななななななななななななすなな	ZigZaGam(定 う う)(校る限)In.ac(定 方 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち か か か か か	ne (株)(株)(株)(株)(株)(本)(ままま) まままままままままままままままままままままままままままままま	LORBナビニン 実演 ととたい 大で 実 選 ・	オコンピュー 受審年月: ・実技の授業 ・必修の演習の ・シシップの授 ・対 ・実技の単位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実際 実際 実際 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	ionTime(株)メロンブック 無 の授業時数	評価結果を掲載したホームページURL	1, 920 240 0 1, 800 240 0	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携し と実施状れ と実施れれか	(株)ジーリン 	ク() () () () () () () () () () () () () (ZigZ a Gam算うううううで校る限るZa a Gam二二二二二二二二二二上上	ne k (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	LORBナビニン 実演 ととたい 大で 実 選 ・	オコンピュー 受審年月: では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	字(株)(株) Missing 実機(株) Missing 実数 実数 要数 要単位数) (専修学者)	ionTime(株)メロンブック 無 の授業時数	評価結果を掲載した ホームページURL 第1号)	1, 920 240 0 1, 800 240 0	単単単単単単単単単単単単単単位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該学科の ホームURL 業等等のいし と選集施れれ に記入)	(株)ジーリン ■ 大 R	ク() () () () () () () () () () () () () (ZigZ かにn.ac算うううううで校る限る学an.ac定たたかか </td <td>ne 株</td> <td>LORBナビニン 実演 ととたい 大で 実 選 ・</td> <td>オコンピュー 受審年月: では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td> <td>字(株)(株)Missing 等(株)(株)Missing 等(株)(株)Missing 等(大) 要(大)</td> <td>ionTime(株)メロンブック無無の授業時数の受業時数を設置基準第41条第1項</td> <td>第1号) 第2号)</td> <td>1, 920 240 0 1, 800 240 0</td> <td>単単単単単単単単単単 人位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位</td> <td></td>	ne 株	LORBナビニン 実演 ととたい 大で 実 選 ・	オコンピュー 受審年月: では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	字(株)(株)Missing 等(株)(株)Missing 等(株)(株)Missing 等(大) 要(大)	ionTime(株)メロンブック無無の授業時数の受業時数を設置基準第41条第1項	第1号) 第2号)	1, 920 240 0 1, 800 240 0	単単単単単単単単単単 人位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該ムの ・ URL 当該ムURL 当該ムURL 等等のB記 とのB記 とのB記 し状れ にでいて 専記 にでいて	(株)ジーリン ■ 大 R	クアーク (1) のの以 (2) できません。数 総 (2) できません。クス機ば (4) では (4) では (4) では (4) では (4) できません。(3) のの以 (4) できません。クス機ば (4) では (4	ZigZ からい第第第第第第In. ac定ちちち方うのかかつのかつのかのかつのかつのかのかのかのかのかのかのかかのかかのかかか<	ne de le	LORBナビニン 実演 ととたい 大で 実 選 ・	オコンピュー 受審年月: では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	安(株)(株) Missing by	ionTime(株)メロンブック無無の授業時数の受業時数を設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号)	1, 920 240 0 1, 800 0 0	単単単単単単単単単単 人 人 位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該よのの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(株)ジーリン ■ 大 R	ク(す) <th< td=""><td>Zig Za Gam算ううううううで校る限る学校Za Gam二二<</td><td>ne de le le</td><td>LORBナビニン 実演 ととたい 大で 実 選 ・</td><td>オコンピュー 受審年月: では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td><td>実験 実験 実験 事業 事業 <!--</td--><td>ionTime(株)メロンブック無無の受業時数の受業時数を設置基準第41条第1項校設置基準第41条第1項校設置基準第41条第1項</td><td>第1号) 第2号) 第3号) 第4号)</td><td>1, 920 240 0 1, 800 0 0</td><td>単単単単単単単単単 人 人人一位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位</td><td></td></td></th<>	Zig Za Gam算ううううううで校る限る学校Za Gam二二<	ne de le	LORBナビニン 実演 ととたい 大で 実 選 ・	オコンピュー 受審年月: では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実験 実験 実験 事業 事業 </td <td>ionTime(株)メロンブック無無の受業時数の受業時数を設置基準第41条第1項校設置基準第41条第1項校設置基準第41条第1項</td> <td>第1号) 第2号) 第3号) 第4号)</td> <td>1, 920 240 0 1, 800 0 0</td> <td>単単単単単単単単単 人 人人一位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位</td> <td></td>	ionTime(株)メロンブック無無の受業時数の受業時数を設置基準第41条第1項校設置基準第41条第1項校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	1, 920 240 0 1, 800 0 0	単単単単単単単単単 人 人人一位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該ムの ・ URL 当該ムURL 当該ムURL 等等のB記 とのB記 とのB記 し状れ にでいて 専記 にでいて	(株)ジーリン ■ 大 R	ク評()評()数()	Zig Za Gam算ううううううで校る限る学校Za Gam二二<	ne de le	LORBナビニン 実演 ととたい 大で 実 選 ・	オコンピュー 受審年月: では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実験 実験 実験 事業 事業 </td <td>ionTime(株)メロンブック無無の受業時数の受業時数を設置基準第41条第1項校設置基準第41条第1項</td> <td>第1号) 第2号) 第3号) 第4号)</td> <td>1, 920 240 0 1, 800 0 0</td> <td>単単単単単単単単単 人 人人人的人位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位</td> <td></td>	ionTime(株)メロンブック無無の受業時数の受業時数を設置基準第41条第1項校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	1, 920 240 0 1, 800 0 0	単単単単単単単単単 人 人人人的人位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該ムの ・ URL 当該ムURL 等等、C記 とのB記入 し状れ し状れ ででででである。 にでいてのでででである。 を表していてのででである。 にでいてのででである。	(株)ジーリン ■ 大 R	ク(す) <th< td=""><td>Zig Za Gam算ううううううで校る限る学校Za Gam二二<</td><td>ne de le le</td><td>LORBナビニン 実演 ととたい 大で 実 選 ・</td><td>オコンピュー 受審年月: では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td><td>実験 実験 実験 事業 事業 <!--</td--><td>ionTime(株)メロンブック無無の受業時数の受業時数を設置基準第41条第1項校設置基準第41条第1項校設置基準第41条第1項</td><td>第1号) 第2号) 第3号) 第4号)</td><td>1, 920 240 0 1, 800 0 0</td><td>単単単単単単単単単 人 人人人的人位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位</td><td></td></td></th<>	Zig Za Gam算ううううううで校る限る学校Za Gam二二<	ne de le	LORBナビニン 実演 ととたい 大で 実 選 ・	オコンピュー 受審年月: では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実験 実験 実験 事業 事業 </td <td>ionTime(株)メロンブック無無の受業時数の受業時数を設置基準第41条第1項校設置基準第41条第1項校設置基準第41条第1項</td> <td>第1号) 第2号) 第3号) 第4号)</td> <td>1, 920 240 0 1, 800 0 0</td> <td>単単単単単単単単単 人 人人人的人位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位</td> <td></td>	ionTime(株)メロンブック無無の受業時数の受業時数を設置基準第41条第1項校設置基準第41条第1項校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	1, 920 240 0 1, 800 0 0	単単単単単単単単単 人 人人人的人位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該ムの ・ URL 当該ムURL 学等、URL とのBに とのBに し状れ に に に に で に に で に に の に の に の に の に の に	(株)ジーリン ■ 大 N	ク評()評()数()ク価え ()のの以 ()のの以 ()ク機ば ()のの以 ()は ()ク機ば ()は ()は ()ク価え ()のの以 ()は ()ク価え ()のの以 ()は ()ク価え ()のの以 ()は ()ク価え ()は ()は ()ク価え ()ののの以 ()は ()ク価え ()は ()は ()ク価え ()は ()は ()ク価え ()は ()は ()ク価え ()は ()は ()クース ()は ()は ()クロス ()は	Zigh c n. 算 うう (定 うう) (校る限る 学 校 学 a Sigh c n. a c 定 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち かつ の教と者 位 教 位 か ち 専育当 を 諭 又 常 業 修 企 門等該 有 等 は 等 等 単	ne re	LORBナビニン ままま と と た ま 演 連 連 イ ・ ・ の	オコンピュー 受審年月: では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	字(株)(株) Missing 字(株)(株) Missing 事業 要要 事業	ionTime(株)メロンブック 無 の受業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号) 第5号)	1, 920 240 0 1, 800 0 0	単単単単単単単単単 人 人人人的人位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該ムの ・ URL 当該ムURL 当該ムURL 等等のB記 とのB記 とのB記 し状れ にでいて 専記 にでいて	(株)ジーリン ■ 大 N	ク評()評()数()ク価え ()のの以 ()のの以 ()ク機ば ()のの以 ()は ()ク機ば ()は ()は ()ク価え ()のの以 ()は ()ク価え ()のの以 ()は ()ク価え ()のの以 ()は ()ク価え ()は ()は ()ク価え ()ののの以 ()は ()ク価え ()は ()は ()ク価え ()は ()は ()ク価え ()は ()は ()ク価え ()は ()は ()クース ()は ()は ()クロス ()は	Zighc nn. 算 ううう (定ううう (校る限る 学校学 nn.ac 定 ちちち う) かつ の教と者 位教 位 から かっ の教と者 位教 位 から から から から 中育当 を 諭 又 ちゅう から で の教と者 は ま 業 修 企 門等該 有 等 は ま ま り に ま 業 修 企 門等該 有 等 は ま ま り に ま り に ま ま り に ま ま り に ま ま り に ま ま り に ま ま り に ま ま り に ま ま り に ま ま り に ま ま り に ま ま り に ま ま り に ま ま り に ま ま り に ま ま ま り に ま ま ま し に ま ま ま し に ま ま ま し に ま ま ま し に ま ま ま ま	ne re	LORBナビニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュ	オコンピュー 受審年月: では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	字(株)(株) Missing 字(株)(株) Missing 事業 要要 事業	ionTime(株)メロンブック無無の受業時数の受業時数を設置基準第41条第1項校設置基準第41条第1項校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号) 第5号)	1, 920 240 0 1, 800 240 0 0	単単単単単単単単単 人 人人人的人位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

教育課程編成員会は、卒業生の就職先である、ゲーム・アニメーション等エンターテインメント業界において必要とされる、 実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の 編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む)に活かすことを目的として基本方針とする。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程の編成にあたっては、教育過程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意見を十分に活かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努めるものとし、その過程においては、以下に基づくものとする。

①学科教員による改善案の作成。②教育課程編成委員会にて専門的知見に基づく意見交換。③委員会での意見を踏まえ、学科長·教務関連委員を中心に修正案を作成し学校長の承認を得る。④最終決定した教育課程を各委員へ報告する。

「(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
木下 亮輔	株式会社TechPlus代表取締役社長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
鈴木 克久	株式会社アンビション人事部/(社)コンピュータエンターティンメント協会	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
高見 政良	日本美術解剖学会員	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	2
大津 健太郎	株式会社オクルトノボル クリエイティブディレク ター	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
工藤 憲子	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 学校長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
野中 智之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 副校長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
本木 能之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー ゲーム総合学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
真家 祐也	専門学校東京クールジャパン・アカデミー アニメ総合学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
西岡 創	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 声優学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
川上 美樹	専門学校東京クールジャパン・アカデミー グローバルキャリアデザインセンター長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
井上 正樹	専門学校東京クールジャパン・アカデミー ゲーム総合学科教諭	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
池田 貴之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 事務長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
前手 俊和	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 事務	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
			_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月12日 14:00~16:00 第2回 令和7年3月15日 14:00~15:30

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ①Google Play等を使用した実配信を想定したゲーム制作

現状、主に学内イベントや東京ゲームショウなどで制作したゲームをアップしているが、より制作の精度や対外性を強化する為に、「Google Play」などを用いたゲームの配信なども考えている旨報告する。委員会からの回答としては、方策としては有効だが、アップ後のメンテナンスやスケジュール感なども必要であるため、実動の前に前情報や下準備をしっかりとすることが大事とのこと。そのため、カリキュラムへの直ぐの導入ではなく、学内でのゲームジャムや有志の学生を元にまずは実験的に行うことで現在検討中。

②複数専攻でのUnity授業の導入

元々はプログラム系のゲーム開発として「Unity」が導入されていたが、現在の業界の動向を見ると、プランナーやデザインの分野でもUnityが使われ出しており、学科としても他専攻での実施を検討している旨報告。実施について異論は無く、さっそくカリキュラムへの落し込みを実施。講師の手数の問題もあり、まだ全専攻に一斉配置とはいかないが、先んじてプランナー、3DCG、サウンドの学生に対して適用をし、Unityの特性を活かした授業を行う運びとなる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ゲーム業界で活躍できる人財を育成するため、多くのゲーム開発の経験を有する企業や有識者の目線で以て、スキルの 学習はもちろんゲーム制作に必要な能力や資質を磨き、ゲームクリエイターとしての姿勢を確立させることを基本方針とす る。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

各専攻を混在させたチームをいくつか形成したオリジナルゲームの制作を行う。企業所属のクリエイターが中心となり、実際の制作の流れを想定した制作フローのチェックやアドバイスを行い、ゲームの完成までを導く。中間チェックの実施をし、 最終的に各チームごとに発表(プレゼンテーション)を行い、ゲーム作品、各分担ごとの成果物、制作に取り組む姿勢などを 以て評価を受ける。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
ゲーム制作		各専攻を混在させたチームをいくつか形成したオリジナルゲームの制作を行う。株式会社エッジワークスからのクリエイターが中心となり、制作の流れの監修や進捗確認、アドバイスを行う。中間チェックの実施をし、最終的に各チームごとに発表(プレゼンテーション)を行い、各分担ごとの成果物、制作に取り組む姿勢などを以って評価を受ける。	
		00000	

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、学生に対する指導力の修得・向上のための研修に参加するものとする。この研修は年に一度、原則として6月に実施する。

前項に加え、各学科の教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、専門分野における専門能力を修得することを目的に別途研修を受講する。この研修は、業界団体等他の機関により実施されるものとし、校内、当該団体あるいはその他研修に適切な場所で実施する。教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、勤務年数、業界経験年数の如何にかかわらず、特段の事由のない限り、これらの研修に参加しなければならない。

(2)研修等の実績

期間:

内容

①専攻分野における実務に関する研修等

2024年7月8日16:00~

「生成AIで進化する"はたらく"のカタチーAI活用の最適解 連携企業等: リコージャパン株式会社

内容 ゲーム・アニメーション制作や周辺業務におけるAIの活用の余地を検討することを目的とした。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「なりたい自分」を考える理想設計ワークショップ 連携企業等:株式会社B.Cmembers

期間: 2025年3月11日17:00~ 対象: 本校全職員

クリエイティブシンキング、ロジカルシンキング、システムシンキングの思考法をベースしたワークショップを 通じ、目指す企業や業界へ学生の目標設定の立て方や、就職後のキャリア設計方法などの手段を学び、

対象:ゲーム総合学科教職員

進路指導力の向上を図った。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: クリエイティブ業界最前線2025 連携企業等: 株式会社 ワコム

期間: 2025年6月11日17:00~ 対象: ゲーム総合学科教職員

内容 ゲーム・アニメ・CGなどのクリエイティブ市場の最新概況と制作環境・技術トレンドを知る

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「教育相談の理論と実践」 連携企業等: 公益財団法人才能開発教育研究財団

期間: 2025年8月初旬 対象: 本校全職員

内容 学生理解や教育相談に役立つ基本的なカウンセリング理論や技法について、学校現場の現状と課題につ

いての事例を共に学び、その考え方を伝える力を習得する。

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1)学校関係者評価の基本方針
- 自己評価結果を客観的に検証する仕組みとして『学校関係者評価委員会』を設置する。
- その目的としては、①自己評価結果の客観性・透明性をたかめること。
- ②委員の本校に対する理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることとする。

その活動としては、学校が策定した重点目標、計画の実施についての自己評価結果、評価結果に基づく今後の取り組み 方針などについて、教育活動・学校運営に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言を行うものであり、

それを受けて、学校及び教職員は、学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めなければならない。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライ ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念•目標	理念・目的・育成人材像、職業教育の特色、将来構想、保護者等に周知、業界のニーズとの適合性
(2)学校運営	運営方針、事業計画、運営組織・意志決定機能の明確化、人事規定、教務・ 財務等の組織整備、コンプライアンス体制、情報公開、業務の効率化
(3)教育活動	教育課程の編成・実施方針、教育レベルや学習時間の確保、カリキュラム、キャリア教育・実践的授業、企業・業界団体等との連携、実践的な職業教育、授業評価・評価体制、適正な教員確保とマネジメント、研修や教員育成
(4)学修成果	就職率、資格取得率、退学率の低減、卒業生・在校生の活躍状況の把握と 教育活動の改善への活用
(5)学生支援	進路・就職支援体制、学生相談体制、経済的な支援体制、健康管理、学生の生活環境支援、保護者との連携、卒業生支援、教育環境が整備、高校との連携、キャリア教育・職業教育の取り組み
(6)教育環境	施設・設備の整備、インターンシップ・研修等の教育体制、防災に対する体制を備
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動、教育効果の公表、学納金は妥当性
(8)財務	学校の財務基盤、予算・収支計画、会計監査、財務情報公開の体制整備
(9)法令等の遵守	法令遵守と適正な運営、個人情報保護、自己評価の実施と改善、自己評価 結果を公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献、学生ボランティア活動を奨励・支援、公開講座・教育訓練
(11)国際交流	留学生の受け入れ・派遣・在籍管理、留学生の学修・生活指導体制の整備、 学修成果の評価

(3)学校関係者評価結果の活用状況

本校は従来より立地・外観・雰囲気等の面より、外部からは学校としてのイメージが薄いようであった。前回の委員会において地域代表委員からの意見で地域の商店街や組合でも学校なのか企業なのか、何の勉強をしているのか理解されていないようだとの指摘を受けて、改めて認識を強くした。今回の報告を伴う情報公開を機に、より学校の教育活動や学生の作品発表・活動状況についてのホームページでの配信を修正し、また企業との提携や高校との連携など学校として施設面も含めてのオープン化し、東京クールジャパン・アカデミーの認知の拡大に取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
藤沢 理子	株式会社エッジワークス 取締役	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	企業等委 員
松本 翔吾	有限会社ゼクシズ	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	卒業生
	千駄ケ谷大通り商店街振興組合 千駄ケ谷グリーンモール理事長	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	近隣地域 住民
	全国私立通信制高等学校協会元事務局長 学校法人科学技術学園高等学校理事長·校長		学校運営に 関する専門 家

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.cooljapan.ac.jp/evaluation/R6tcj_school_official_evaluation_report.pdf

公表時期: 2025年10月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校案内書やホームページにて学校理念・育成すべき学生の人材像等教育目標の共有を前提に、学校施設の見学や学校行事への随時見学・参加を通じで学校の取り組みに理解を深めていただき、その方向性や整合性の判断し、連携や協力関係を続ける等積極的な情報交換・理解促進に努める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・学校の概況・教育理念・法人名・所在地・代表者・沿革・教育目標
(2)各学科等の教育	・目標募集学科・専攻(コース)・定員・就職業界デビューへのSTEP・教育の 流れ
(3)教職員	·組織図·本務者、兼務者、職員人数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・就職活動へのフォローアップ・企業、業界との連携
(5)様々な教育活動・教育環境	・AO2,5システム・教育サポート・業界EXPO
(6)学生の生活支援	・学生寮・学割制度・教室、備品貸し出し・図書室利用・部活動
(7)学生納付金・修学支援	•学費一覧•奨学金制度
(8)学校の財務	·財務諸表·貸借対照表·収支計算書·財産目録·事業報告書·監査報告書
(9)学校評価	•自己評価報告書•学校関係者評価報告書
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.cooljapan.ac.jp/information/

公表時期: 2025年10月1日

授業科目等の概要

	(文化教養専門課程 ゲーム総合学科ゲームグラフィックデザイナー専攻)															
		分類	Į				授業方法					場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技		校外		兼任	企業等との連携
1	0			ゲーム制作 I	企画・シナリオ制作とチームの取りまとめ	1 通	120	8			0	0			0	0
2	0				UI デザインなどゲームグラフィックの基礎 の習得	1 通	120	8			0	0			0	
3	0			背景デザイン I	パースと背景制作の基礎の習得	1 通	120	8			0	0			0	
4	0			2DCG	2Dソフトの基本オペレーションの習得	1 通	120	8			0	0			0	
5	0			デザイン実習	色彩やフォントなど、デザイン全般に関す る学習	1 通	120	8			0	0			0	
6	0			CG表現	質感表現から透視図の基本の習得	1 前	60	4			0	0			0	
7	0			デッサン I	モチーフによるデッサンの基礎の習得	1 通	120	8			0	0			0	
8	0			ポートフォリ オ制作 I	就職活動用の作品制作と制作補助	1 後	30	2			0	0		0		
9	0			ホームルーム	学生作品のチェックや個別面談、インフォ メーションなど	1通	60	4			0	0		0		
10	0			就職セミナー	ゲーム会社やOB・OGによる企業研究	1 後	30	2	0			0		0		
11			0	ゲームジャム	クラス縦断したチームを結成し、限られた 時間の中で協力し合いゲームを完成させる イベント	1通	60	4	0			0			0	

		合	-	22		計目			1000	554 /	33/ /-1	(時間)
22		0	ゲームジャム	クラス縦断したチームを結成し、限られた 時間の中で協力し合いゲームを完成させる イベント	2 通	60	4		0	0		0
21	0		就職セミナー	就職後に活躍する為のセミナーや勉強会	2 通	60	4	0		0	0	
20	0		修了制作	2年間の集大成として専攻毎の作品制作	2 後	60	4	0		0		0
19	0		ポートフォリ オ制作 Ⅱ	就職活動用の作品制作と制作補助	2 前	60	4		0	0		0
18	0		ホームルーム	学生作品のチェックや個別面談、インフォ メーションなど	2 通	60	4		0	0	0	
17	0		デッサンⅡ	モチーフによるデッサンカの向上	2 通	60	4		0	0		0
16	0		イラストレー ション	2Dイラスト全般に関する制作と演習	2 通	120	8		0	0		0
15	0			2Dソフトによるキャラクターデザイン制作 の演習	2 通	120	8		0	0		0
14	0		背景デザイン Ⅱ	パースと背景制作の応用、オブジェクトご との表現技法の習得	2 通	120	8		0	0		0
13	0		ゲ ー ム グ ラ フィック Ⅱ	ゲームグラフィック技術の応用と演習	2 通	120	8		0	0		0
12	0		ゲーム制作Ⅱ	企画・シナリオ制作とチームのとりまとめ	2通	120	8		0	0		0 0

卒業要件及び履修方法	授業期間等	F
卒業要件: 基本科目・選択科目等を併せて108単位以上の習得及び修了制作の審査 に合格すること。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 入学・進級時のオリエンテーションにて配布・案内に沿って履修する	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について〇を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

専門学校東京クールジ アカデミー		設置認可年月日 校長名 所在地							
アカテミー	ジャパン・	昭和58年7月	1日	· 憲子					
設置者名		設立認可年月	 	表者名		03-3401-9701	所在地		
						196-0001			
学校法人21世紀アカ -	デメイア	昭和42年1月1	12日 田坊	反 広志		東京都千代田区神田)3-5283-6288	駿河台2-11		
分野	認定	它課程名	認定学科	名		士認定年度	高度専門士認定年	F度 職	ぱ実践専門課程認定年
文化·教養	文化教:	養専門課程	ゲーム総合		 令和	2(2020)年度	_		令和 2(2020)年度
715 37E	×103X	IZ () I JUNIZ	ゲーム3DCGデザ	イナー専攻 	12.18	1(2020) 1/2			
学科の目的 ク	ゲームに関連っ	する職業に必要な真	専門技術ならびに創造:	カ、表現力を身	につけた健全	な職能人の育成を目的	りとする。		
			界でプロを目指すためI 経験値アップを身につI		固々のスキル	を磨くと共に授業全体の	の90%以上の実習授業で	スキルアップ	や制作・鍛錬を行い、最高
修業年限	昼夜		な総授業時数又は総単 数	講	轰	演習	実習	実験	実技
2	昼間 ※単	単位時間、単位いずれ	1,800 単位時間	210	単位時間	0 単位時間	1,710 単位時間	0 単位	z時間 0 単位時
年	から	こ記入	単位		単位	単位	単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員	L(A) 留学生	数(生徒実員の内数)(B)	留学生割	合(B/A)	中退率			
360 人	57 人		36 人	1	%	5 %			
	37 八 ■卒業者数((C) ·	14	'	<u>"</u>	J //			
	■就職希望者	皆数 (D) :	13		人				
	■就職者数(■地元就職者		10 8		<u>人</u> 人				
	■就職率(E/	/D)	71		%				
	■就職者に占	らめる地元就職者の	割合 (F/E) 100		%				
I	■卒業者に占	める就職者の割合	(E/C)						
	■進学者数				<u>%</u> 人				
	■進子有数 ■その他		I						
	. 网类生息学	、自営業手伝い							
•	'笛子生帰国	、日呂未于伝い							
	(令和	6 年度卒業者	「に関する令和7年5月	1 日時点の情報	报)				
	■主な就職先	上、業界等							
	令和6年度卒業		> = 1	┡ ╃	U` / / /44 _U	7.8 — 4. 51.02 /48		18/44/11	-^^^ - 1144
			JF1S(株)カノコン(株)教別 制株)CELLORBナビオ				りザリント・ンティザクン	/一ト(株)サミー	−デジタルセキュリティ(株 -
		西機関等から第三				無			
弗二伯による	※有の場合、例	えば以下について任	意記載						
学校評価	評価	西団体:		受審年月:			評価結果を掲載した ホームページURL		
当該学科の							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	nttps://www.	.cooljapan.ac.jp							
URL									
	(A:単位時	間による算定)							
	総技	授業時数						2, 100 単位	5時間
		うち企業等	等と連携した実験・実	習・実技の授業	美時数			240 単位	5時間
		うち企業等	等と連携した演習の授 業	業時数				0 単位	2時間
		うち必修技	受業時数					1,800 単位	立時間
			うち企業等と連携し	た必修の実験・	実習・実技	の授業時数		240 単位	立時間
			うち企業等と連携し	た必修の演習の)授業時数			0 単位	2時間
企業等と連携した		(うち企業	* 等と連携したインタ	ーンシップの招	受業時数)			0 単位	拉時間
実習等の実施状況									
(A、Bいずれか に記入)	(B:単位数I	による算定)							
1-40/(/	総直	単位数						0 単位	<u></u>
		うち企業等	等と連携した実験・実	習・実技の単位	立数			単位	立
		うち企業等	等と連携した演習の単 [・]	位数				単位	<u></u>
		うち必修単	单位数					単位	<u> </u>
			うち企業等と連携し	た必修の実験・	実習・実技	の単位数		単位	<u> </u>
			うち企業等と連携し	た必修の演習の	単位数			単位	<u> </u>
		(うち企業	L 美等と連携したインタ [・]	ーンシップの単	単位数)			単位	
)専修学校の専門詞	果程を修了した後、学 こ従事した者であって	、当該専門課	(亩攸学)		第1号)	4 人	
	程位	の担当する教育等I の修業年限と当該∮ 以上となる者	業務に従事した期間と	を通算して六	(守修子)	交設置基準第41条第1項	ж·(-д-)		
	程(年)	の修業年限と当該 以上となる者	業務に従事した期間と	を通算して六					
	程(年)	の修業年限と当該 以上となる者 ② 学士の学位を有る	業務に従事した期間と する者等	を通算して六	(専修学村	交設置基準第41条第1項	第2号)	6人	
教員の属性(専任	程(年)	の修業年限と当該 以上となる者	業務に従事した期間と する者等	を通算して六	(専修学村		第2号)	6 人 0 人	
教員の属性(専任 教員について記 入)	程(年) ② ③	の修業年限と当該 以上となる者 ② 学士の学位を有る	業務に従事した期間と する者等 圣験者	を通算して六	(専修学村	交設置基準第41条第1項	第2号)		
教員について記	程(年) ② ③ ④	の修業年限と当該 以上となる者 ②学士の学位を有る ③ 高等学校教諭等線	業務に従事した期間と する者等 圣験者	を通算して六	(専修学村 (専修学村 (専修学村	交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第4号)	0 人	
教員について記	程(年) ② ③ ④	の修業年限と当該 以上となる者 学士の学位を有る 高等学校教諭等 修士の学位又は での他	業務に従事した期間と する者等 圣験者	を通算して六	(専修学村 (専修学村 (専修学村	交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第4号)	0人	
教員について記	程(年) ② ③ ④ ⑤	の修業年限と当該 以上となる者 学士の学位を有る 高等学校教諭等 修士の学位又は での他	業務に従事した期間と する者等 圣験者	を通算して六	(専修学村 (専修学村 (専修学村	交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第4号)	0 人 0 人 0 人	
教員について記	程(年) ② ③ ④ ⑤ 計	の修業年限と当該意以上となる者 ②学士の学位を有る ③ 高等学校教諭等 ②修士の学位又は ③ その他	業務に従事した期間と する者等 圣験者 専門職学位		(専修学校 (専修学校 (専修学校 (専修学校	交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第4号) 第5号)	0 人 0 人 0 人	
教員について記	程(年) ② ③ ④ ⑤ 計	の修業年限と当該意以上となる者 ②学士の学位を有る ③ 高等学校教諭等 ②修士の学位又は ③ その他	業務に従事した期間と する者等 圣験者 専門職学位 実務家教員(分野にお		(専修学校 (専修学校 (専修学校 (専修学校	交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第4号) 第5号)	0 人 0 人 0 人	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

教育課程編成員会は、卒業生の就職先である、ゲーム・アニメーション等エンターテインメント業界において必要とされる、実践的かつ 専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成(授業科目の開設 や授業内容・方法の改善・工夫等を含む)に活かすことを目的として基本方針とする。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程の編成にあたっては、教育過程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意見を十分に活かし、 実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努めるものとし、その過程においては、以下に基づくものと する。

①学科教員による改善案の作成。②教育課程編成委員会にて専門的知見に基づく意見交換。③委員会での意見を踏まえ、学科長・教務関連委員を中心に修正案を作成し学校長の承認を得る。④最終決定した教育課程を各委員へ報告する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
木下 亮輔	株式会社TechPlus代表取締役社長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
鈴木 克久	株式会社アンビション人事部/(社)コンピュータエンターティンメント協会	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
高見 政良	日本美術解剖学会員	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	2
大津 健太郎	株式会社オクルトノボル クリエイティブディレク ター	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
工藤 憲子	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 学校長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
野中 智之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 副校長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
本木 能之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー ゲーム総合学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
真家 祐也	専門学校東京クールジャパン・アカデミー アニメ総合学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
西岡 創	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 声優学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
川上 美樹	専門学校東京クールジャパン・アカデミー グローバルキャリアデザインセンター長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
井上 正樹	専門学校東京クールジャパン・アカデミー ゲーム総合学科教諭	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
池田 貴之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 事務長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
前手 俊和	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 事務	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月12日 14:00~16:00 第2回 令和7年3月15日 14:00~15:30 0

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

①Google Play等を使用した実配信を想定したゲーム制作

現状、主に学内イベントや東京ゲームショウなどで制作したゲームをアップしているが、より制作の精度や対外性を強化する為に、「Google Play」などを用いたゲームの配信なども考えている旨報告する。委員会からの回答としては、方策としては有効だが、アップ後のメンテナンスやスケジュール感なども必要であるため、実動の前に前情報や下準備をしっかりとすることが大事とのこと。そのため、カリキュラムへの直ぐの導入ではなく、学内でのゲームジャムや有志の学生を元にまずは実験的に行うことで現在検討中。②複数専攻でのUnity授業の導入

元々はプログラム系のゲーム開発として「Unity」が導入されていたが、現在の業界の動向を見ると、プランナーやデザインの分野でも Unityが使われ出しており、学科としても他専攻での実施を検討している旨報告。実施について異論は無く、さっそくカリキュラムへの落 し込みを実施。講師の手数の問題もあり、まだ全専攻に一斉配置とはいかないが、先んじてプランナー、3DCG、サウンドの学生に対し て適用をし、Unityの特性を活かした授業を行う運びとなる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ゲーム業界で活躍できる人財を育成するため、多くのゲーム開発の経験を有する企業や有識者の目線で以て、スキルの学習はもちろんゲーム制作に必要な能力や資質を磨き、ゲームクリエイターとしての姿勢を確立させることを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

各専攻を混在させたチームをいくつか形成したオリジナルゲームの制作を行う。企業所属のクリエイターが中心となり、実際の制作の流れを想定した制作フローのチェックやアドバイスを行い、ゲームの完成までを導く。中間チェックの実施をし、最終的に各チームごとに発表(プレゼンテーション)を行い、ゲーム作品、各分担ごとの成果物、制作に取り組む姿勢などを以て評価を受ける。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
ゲーム制作	の講師が今ての哲業	各専攻を混在させたチームをいくつか形成したオリジナルゲームの制作を行う。株式会社エッジワークスからのクリエイターが中心となり、制作の流れの監修や進捗確認、アドバイスを行う。中間チェックの実施をし、最終的に各チームごとに発表(プレゼンテーション)を行い、各分担ごとの成果物、制作に取り組む姿勢などを以って評価を受ける。	
		00000	

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、学生に対する指導力の修得・向上のための研修に参加するものとす る。この研修は年に一度、原則として6月に実施する。

前項に加え、各学科の教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、専門分野における専門能力を修得することを目 的に別途研修を受講する。この研修は、業界団体等他の機関により実施されるものとし、校内、当該団体あるいはその他研修に適切 な場所で実施する。教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、勤務年数、業界経験年数の如何にかかわらず、特 段の事由のない限り、これらの研修に参加しなければならない。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

「生成AIで進化する"はたらく"のカタチ~AI活用の最適解 研修名: 連携企業等:リコージャパン株式会社 とリコーの取り組み~」

期間: 2024年7月8日16:00~ 対象:ゲーム総合学科教職員

ゲーム・アニメーション制作や周辺業務におけるAIの活用の余地を検討することを目的とした。 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

「なりたい自分」を考える理想設計ワークショップ 連携企業等: 株式会社B.Cmembers 研修名:

期間: 2025年3月11日17:00~ 対象: 本校全職員

クリエイティブシンキング、ロジカルシンキング、システムシンキングの思考法をベースしたワークショップを通じ、目 内容

指す企業や業界へ学生の目標設定の立て方や、就職後のキャリア設計方法などの手段を学び、進路指導力の向 上を図った。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: クリエイティブ業界最前線2025 連携企業等: 株式会社 ワコム

期間: 2025年6月11日17:00~ 対象:ゲーム総合学科教職員

ゲーム・アニメ・CGなどのクリエイティブ市場の最新概況と制作環境・技術トレンドを知る 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「 教育相談の理論と実践 」 連携企業等: 公益財団法人才能開発教育研究財団

2025年8月初旬 対象: 本校全職員 期間:

学生理解や教育相談に役立つ基本的なカウンセリング理論や技法について、学校現場の現状と課題についての事 内容

例を共に学び、その考え方を伝える力を習得する。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己評価結果を客観的に検証する仕組みとして『学校関係者評価委員会』を設置する。

その目的としては、①自己評価結果の客観性・透明性をたかめること。

②委員の本校に対する理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることとする。

その活動としては、学校が策定した重点目標、計画の実施についての自己評価結果、評価結果に基づく今後の取り組み方針などに ついて、教育活動・学校運営に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言を行うものであり、

それを受けて、学校及び 教職員は、学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めなければならない。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	理念・目的・育成人材像、職業教育の特色、将来構想、保護者等に周知、業界のニーズとの適合性
(2)学校運営	運営方針、事業計画、運営組織・意志決定機能の明確化、人事規定、教務・財務等の組織整備、コンプライアンス体制、情報公開、業務の効率化
(3)教育活動	教育課程の編成・実施方針、教育レベルや学習時間の確保、カリキュラム、キャリア 教育・実践的授業、企業・業界団体等との連携、実践的な職業教育、授業評価・評価 体制、適正な教員確保とマネジメント、研修や教員育成
(4)学修成果	就職率、資格取得率、退学率の低減、卒業生・在校生の活躍状況の把握と教育活動の改善への活用
(5)学生支援	進路・就職支援体制、学生相談体制、経済的な支援体制、健康管理、学生の生活環境支援、保護者との連携、卒業生支援、教育環境が整備、高校との連携、キャリア教育・職業教育の取り組み
(6)教育環境	施設・設備の整備、インターンシップ・研修等の教育体制、防災に対する体制整備
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動、教育効果の公表、学納金は妥当性
(8)財務	学校の財務基盤、予算・収支計画、会計監査、財務情報公開の体制整備
(9)法令等の遵守	法令遵守と適正な運営、個人情報保護、自己評価の実施と改善、自己評価結果を 公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献、学生ボランティア活動を奨励・支援、公開講座・教育訓練
(11)国際交流	留学生の受け入れ・派遣・在籍管理、留学生の学修・生活指導体制の整備、学修成果の評価

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

本校は従来より立地・外観・雰囲気等の面より、外部からは学校としてのイメージが薄いようであった。前回の委員会において地域代表委員からの意見で地域の商店街や組合でも学校なのか企業なのか、何の勉強をしているのか理解されていないようだとの指摘を受けて、改めて認識を強くした。今回の報告を伴う情報公開を機に、より学校の教育活動や学生の作品発表・活動状況についてのホームページでの配信を修正し、また企業との提携や高校との連携など学校として施設面も含めてのオープン化し、東京クールジャパン・アカデミーの認知の拡大に取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所属	任期	種別
藤沢 理子	株式会社エッジワークス 取締役	1日(2年)	企業等委 員
松本 翔吾	有限会社ゼクシズ	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	卒業生
	千駄ケ谷大通り商店街振興組合 千駄ケ谷グリーンモール理事長	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	近隣地域 住民
松田 敏博	全国私立通信制高等学校協会元事務局長 学校法人科学技術学園高等学校理事長·校長	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	学校運営 に関する 専門家

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームペーシ · 広報誌等の刊行物 · その他())

URL: https://www.cooljapan.ac.jp/evaluation/R6tcj_school_official_evaluation_report.pdf

公表時期: 2025年10月1日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校案内書やホームページにて学校理念・育成すべき学生の人材像等教育目標の共有を前提に、学校施設の見学や学校行事への随時見学・参加を通じで学校の取り組みに理解を深めていただき、その方向性や整合性の判断し、連携や協力関係を続ける等積極的な情報交換・理解促進に努める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	メラ のの コークコン 307 発口 この 737 心
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・学校の概況・教育理念・法人名・所在地・代表者・沿革・教育目標
(2)各学科等の教育	・目標募集学科・専攻(コース)・定員・就職業界デビューへのSTEP・教育の 流れ
(3)教職員	·組織図·本務者、兼務者、職員人数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・就職活動へのフォローアップ・企業、業界との連携
(5)様々な教育活動・教育環境	・AO2,5システム・教育サポート・業界EXPO
(6)学生の生活支援	・学生寮・学割制度・教室、備品貸し出し・図書室利用・部活動
(7)学生納付金・修学支援	•学費一覧•奨学金制度
(8)学校の財務	·財務諸表·貸借対照表·収支計算書·財産目録·事業報告書·監査報告書
(9)学校評価	・自己評価報告書・学校関係者評価報告書
(10)国際連携の状況	
(11)その他	
(4)キャリア教育・実践的職業教育 (5)様々な教育活動・教育環境 (6)学生の生活支援 (7)学生納付金・修学支援 (8)学校の財務 (9)学校評価 (10)国際連携の状況	 ・就職活動へのフォローアップ・企業、業界との連携 ・AO2,5システム・教育サポート・業界EXPO ・学生寮・学割制度・教室、備品貸し出し・図書室利用・部活動 ・学費一覧・奨学金制度 ・財務諸表・貸借対照表・収支計算書・財産目録・事業報告書・監査報告書

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.cooljapan.ac.jp/information/

公表時期: 2025年10月1日

授業科目等の概要

語 語 語 語 語 語 語 語 語 語		(文化教養専門課程 ゲーム総合学科ゲーム 3 DCGデザイナー専攻) 分類															
2 ○ 3006 I Noyaを使用した3006の基本を争ぶ		必	選択必	自由選	授業科目名	授業科目概要	当年次・学	業時	位	講	演	実験・実習・	校	校	専	兼	と の 連
1	1	0			ゲーム制作I	企画・シナリオ制作とチームの取りまとめ	1 通	120	8			0	0			0	0
4 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2	0			3DCG I	Mayaを使用した3DCGの基本を学ぶ	1 通	120	8			0	0			0	
1	3	0			2DCG I			120	8			0	0			0	
1	4	0			CG制作 I			120	8			0	0			0	
6 ○	5	0			デッサン I	モチーフによるデッサンの基礎を学ぶ	1 通	120	8			0	0			0	
T	6	0			クロッキー I	し、さらに資料から筋肉と骨格の形状を理	1 通	60	4			0	0			0	
カロ 対す 習得を目指す	7	0				するタイムラインやキーフレームなどの概		60	4			0	0			0	
10	8	0					1 通	90	6			0	0		0		
10 11 11 11 12 12 12 12	9	0			ホームルーム	学生作品のチェックや個別面談、インフォ メーションなど	1 通	60	4	0			0		0		
11	10	0			就職セミナー	ゲーム会社やOB・OGによる企業研究		30	2	0			0		0		
12	11			0		するタイムラインやキーフレームなどの概		120	8			0	0			0	
14 O 3DCG I	12			0	ゲームジャム	時間の中で協力し合いゲームを完成させる	1 通	60	4			0	0			0	
15 ○ 2DCG II	13	0			ゲーム制作Ⅱ	企画・シナリオ制作とチームの取りまとめ	2 通	120	8			0	0			0	0
16 O CG制作 II	14	0			3DCG II	Mayaを使用した3DCGの制作方法を学ぶ	2 通	120	8			0	0			0	
16 ○	15	0			2DCG II	テクスチャ制作を実践的に学ぶ	2 通	120	8			0	0			0	
17 17 18 18 18 18 18 18	16	0			CG制作Ⅱ	ジンIIで制御し、インタラクティブなPF制	2 通	120	8			0	0			0	
18 ○ クロッキーII に人体は把握し、さらに資料から筋肉と骨 着 60 4 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	17	0			デッサンⅡ	モチーフ・モデル・石膏像によるデッサン	2 通	120	8			0	0			0	
19 〇 オII オ (映像)で必要なCGソフトを学ぶ 通 120 8 〇 <t< td=""><td>18</td><td>0</td><td></td><td></td><td>クロッキーⅡ</td><td>に人体は把握し、さらに資料から筋肉と骨</td><td> </td><td>60</td><td>4</td><td></td><td></td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td><td>0</td><td></td></t<>	18	0			クロッキーⅡ	に人体は把握し、さらに資料から筋肉と骨	 	60	4			0	0			0	
21 ○ 就職セミナー ゲーム会社やOB・OGによる企業研究	19	0						120	8			0	0			0	
21 〇 別職セミナー ゲーム芸社や0B・0日による企業研究 通 60 4 〇 〇	20	0			ホームルーム	学生作品のチェックや個別面談、インフォ メーションなど	2 通	60	4	0			0		0		
22 〇 モーションII するタイムラインやキーフレームなどの概 後 60 4	21	0			就職セミナー	ゲーム会社やOB・OGによる企業研究		60	4	0			0		0		
23 ○ ゲームジャム 時間の中で協力し合いゲームを完成させる 道 60 4 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	22			0		するタイムラインやキーフレームなどの概		60	4			0	0			0	
	23			0	ゲームジャム	時間の中で協力し合いゲームを完成させる	 	60	4			0	0			0	
合計 23 科目 2100 単位(単位時間)	24																
				合	計	23	科	目		•		2100	単位	立 (単位	時間	引)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	F
卒業要件:基本科目・選択科目等を併せて108単位以上の習得及び修了制作の審査	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 入学・進級時のオリエンテーションにて配布・案内に沿って履修する	1 学期の授業期間	15 週

⁽留意事項)
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

² 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名 設置認可年月日 校長名 所在地										
│ 専門学校東京クール │ ン・アカデミー		昭和58年7月	1日 工藤	憲子	(住所) 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-8-17 (電話) 03-3401-9701					
設置者名	設置者名				所在地					
 学校法人21世紀アカ	ラデメイア	昭和42年1月1	12日 田坂	広志	(住所)	196-0001 東京都千代田区神田	日駿河台2-11			
	認	定課程名	 認定学科:	 名)3-5283-6288]士認定年度	高度専門士認定	E年度 │ 職	業実践専	評問課程認定年度
文化•教養		次養専門課程 数養専門課程	ゲーム総合 ^は ゲームのプログラマ	 学科		2(2020)年度	_			2(2020)年度
			7-47-07	(一导攻						
学科の目的	ゲームに関連	重する職業に必要な	専門技術ならびに創造:	力、表現力を身	身につけた健	全な職能人の育成を	目的とする。			
学科の特徴(取得									0-1-1-11	
可处办次投 市泊			界でプロを目指すため! の経験値アップを身につ		:個々のスキル	ルを磨くと共に授業全位	体の90%以上の実習授	業でスキルアッ	ップや制作	・鍛錬を行い、最高
	日本	 全課程の修了に必要	な総授業時数又は総	=# ≐	É	; 수 되되	ф 3 33	中段		+ ++
修業年限	昼夜 ⁻	単位	立数 	講		演習	実習 	実験		実技
2 年		後単位時間、単位いずれ いに記入	1,800 単位時間 単位	210	単位時間単位	0 単位時間 単位	1,710 単位時間 ————————————————————————————————————	0 単位		0 単位時間
生徒総定員	 生徒実貞	■ (A)	数 (生徒実員の内数) (B)	留学生割·		中退率				
360 人	83 人		45 人		%	9 %				
	03 △ ■卒業者数		36	<u>'</u>	人	9 %				
	■就職希望 ■就職者数	!者数(D) :	36 30		人					
	■地元就職	者数(F)	24		人					
F	■就職率(E ■就職者に	=/D) 占める地元就職者 <i>0</i>			%					
	■卒業者によ	占める就職者の割合	100 (E/C)		%					
_	■進学者数		83		人					
	■進子有数 ■その他	<u> </u>	U							
	•留学生帰国	国、自営業手伝い								
	(A To-			1 pp + 0 = 1	п\					
	(令和 ■主な就職		作に関する令和7年5月	1日時点の情報	ゼ)					
	(令和6年度卒	業生)								
			OFIS(株)カプコン(株)教別ne(株)(株)CELLORBナビ					トクシード(株)サ	ミーデジタ	タルセキュリティ㈱
	■民間の評	価機関等から第三	者評価:			無				
第三者による 学校評価	※有の場合、1	例えば以下について任	息記 載			-	証に分用されました			
子以 印 III	評	価団体:		受審年月:			評価結果を掲載した ホームページURL			
当該学科の										
ホームページ URL	https://www	w.cooljapan.ac.jp/								
	(A:単位時	1								
	4/1	寺間による昇定)								
	1/40	時間による算定) 総授業時数 						1, 920 単位	立時間	
	1/46	総授業時数 うち企業等	等と連携した実験・実 習		美時数			240 単位	立時間	
	i ilve	会授業時数 うち企業等 うち企業等	等と連携した演習の授業		美時数			240 単位	立時間	
	4MC	総授業時数 うち企業等	等と連携した演習の授業 受業時数	美時数		の七三坐吐米		240 単位 0 単位 1,800 単位	立時間立時間立時間	
	4MC	会授業時数 うち企業等 うち企業等	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した	能時数 - 必修の実験・	実習・実技	の授業時数		240 単位 0 単位 1,800 単位 240 単位	立時間立時間立時間立時間	
企業空し事業 Ⅰ↓	4MC	会授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修打	等と連携した演習の授業 受業時数	☆ 必修の実験・ ・ 必修の演習の	実習・実技)授業時数	の授業時数		240 単位 0 単位 1,800 単位 240 単位 0 単位	立時間立時間立時間	
実習等の実施状況	4MC	会授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修打	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	☆ 必修の実験・ ・ 必修の演習の	実習・実技)授業時数	の授業時数		240 単位 0 単位 1,800 単位 240 単位 0 単位	立時間立時間立時間立時間立時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		会授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修打	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	☆ 必修の実験・ ・ 必修の演習の	実習・実技)授業時数	の授業時数		240 単位 0 単位 1,800 単位 240 単位 0 単位	立時間立時間立時間立時間立時間	
実習等の実施状況	(B:単位数	総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修技	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	☆ 必修の実験・ ・ 必修の演習の	実習・実技)授業時数	の授業時数		240 単位 0 単位 1,800 単位 240 単位 0 単位	立時間立時間立時間立時間立時間立時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位数	会授業時数 うち企業等 うち必修技 (うち企業等 なによる算定) 会単位数 うち企業等	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 業等と連携したインター	美時数 - 必修の実験・ - 必修の演習の - ンシップの持	実習・実技)授業時数 受業時数)	の授業時数		240 単位 0 単位 1,800 単位 0 単位 0 単位 0 単位 単位	立時間立時間立時間立時間立時間立時間立時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位数	会授業時数 うち企業等 うち必修打 (うち企業等 対による算定) ※単位数 うち企業等 うち企業等	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した ま等と連携したインター 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の単位	美時数 - 必修の実験・ - 必修の演習の - ンシップの持	実習・実技)授業時数 受業時数)	の授業時数		240 单位 0 单位 1,800 单位 0 单位 0 单位 0 单位 单位 单位	立時間立時間立時間立時間立時間立時間立時間立立時間	
	(B:単位数	会授業時数 うち企業等 うち必修技 (うち企業等 なによる算定) 会単位数 うち企業等	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した ま等と連携したインター を連携した実験・実習 等と連携した演習の単位 単位数	美時数 - 必修の実験・ - 必修の演習の - ンシップの持 ・ 実技の単位 立数	実習・実技()授業時数 受業時数)			240 单位 0 单位 1,800 单位 240 单位 0 单位 0 单位 单位 单位	立時間立時間立時間立時時間立時時間立立時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位数	会授業時数 うち企業等 うち必修打 (うち企業 なによる算定) ※単位数 うち企業等 うち企業等	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター 等と連携した実験・実習 を連携した演習の単位 単位数 うち企業等と連携した	き時数 - 必修の実験・ - 必修の演習の - ンシップの持 - ンシップの対 - ンシップの - ・ 実技の単位 立数	実習・実技)授業時数 受業時数) 立数 実習・実技			240 单位 0 单位 1,800 单位 0 单位 0 单位 0 单位 1 电位 1 电位	立時間は立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位数	を授業時数 うち企業等うち企業等うち必修打 (うちを企業等) なによる算定) 会単位数 うち企業等うち企業等うち必修り	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した ま等と連携したインター を連携した実験・実習 等と連携した演習の単位 単位数	美時数 - 必修の実験・ - 必修の演習の - ンシップの技 - ンシップの技 - ンシップの技 - ンシップの技 - ・実技の単位 立数 - 必修の実験・ - 必修の演習の	実習・実技の 受業時数) 受業時数) 立数 実習・実技の)単位数			240 单位 0 单位 1,800 单位 240 单位 0 单位 0 单位 单位 单位	立時間間は立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位数	を授業時数 うち企業等うち企業等うち必修打 (うちを企業等) なによる算定) 会単位数 うち企業等うち企業等うち必修り	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター 等と連携した演習の単位 単位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	美時数 - 必修の実験・ - 必修の演習の - ンシップの技 - ンシップの技 - ンシップの技 - ンシップの技 - ・実技の単位 立数 - 必修の実験・ - 必修の演習の	実習・実技の 受業時数) 受業時数) 立数 実習・実技の)単位数			240 单位 0 单位 1,800 单位 240 单位 0 单位 单位 单位 单位	立時間間は立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位数 終	を授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修打 ではよる算定) を単位数 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち必修打	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した ききと連携した	学時数 二必修の実験・ 二必修の演習の 一ンシップの技 立数 二必修の実験・ 立数 二必修の実験・ 二必修の実験・ 二必修の演習の	実習・実技の 受業時数) 受業時数) 立数 実習・実技の)単位数			240 单位 0 单位 1,800 单位 240 单位 0 单位 单位 单位 单位	立時間間は立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位数 総	 ではまります。 ではまります。 ではまります。 ではまります。 ではまります。 ではなります。 ではないますます。 ではないますます。 ではないますます。 ではないますます。 ではないますます。 ではないますますます。 ではないますますますます。 ではないますますますますますますますますますますますまする。 ではないますますますますますますますますますますますますますますますますますますます	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した演習の単位 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した で数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した で数 でまるであって、	は時数 ・必修の実験・ ・必修の演習の ・ンシップの持 ・シリンシップの単位 ・シリンションには、・シリンションには、・シリンションには、・シリンションには、・シリンとは、・ションとは、・ションとは、・シリンとは、・ションとは、・シ	実習・実技()授業時数) 受業時数) 立数 実習・実技()単位数()単位数(の単位数	有第1号)	240 单位 0 单位 1,800 单位 0 单位 0 单位 0 单位	立時間間は立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位数 総 (そ程	 ではまります。 ではまります。 ではまります。 ではまります。 ではまります。 ではなります。 ではないますます。 ではないますます。 ではないますます。 ではないますます。 ではないますます。 ではないますますます。 ではないますますますます。 ではないますますますますますますますますますますますまする。 ではないますますますますますますますますますますますますますますますますますますます	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 等と連携した演習の単位 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した ま等と連携したである。	は時数 ・必修の実験・ ・必修の演習の ・ンシップの持 ・シリンシップの単位 ・シリンションには、・シリンションには、・シリンションには、・シリンションには、・シリンとは、・ションとは、・ションとは、・シリンとは、・ションとは、・シ	実習・実技()授業時数) 受業時数) 立数 実習・実技()単位数()単位数((第1号)	240 单位 0 单位 1,800 单位 240 单位 0 单位 单位 单位 单位	立時間間は立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位数////////////////////////////////////	世 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した演習の単位 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した でまました。 でまままする。 までものでも、これでものでも、これでものでも、これでものでも、これでものでも、これでものでも、これでものでも、これでものでは、これでものでは、これでものでは、これでものでは、これでものでは、これでは事したものでは、これでは事したものでは、これでは事した。これでは事した。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	は時数 ・必修の実験・ ・必修の演習の ・ンシップの持 ・シリンシップの単位 ・シリンションには、・シリンションには、・シリンションには、・シリンションには、・シリンとは、・ションとは、・ションとは、・シリンとは、・ションとは、・シ	実習・実技(分類) (事修学体	の単位数 交設置基準第41条第1項		240 单位 0 单位 1,800 单位 0 单位 0 单位 0 单位 0 单位 1 电位 1 电	立時間間は立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立	
実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(B:単位 総 (C) (A)	世界 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等した演習の単位 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した できる企業等と連携した できるで表したであります。	は時数 ・必修の実験・ ・必修の演習の ・ンシップの持 ・シリンシップの単位 ・シリンションには、・シリンションには、・シリンションには、・シリンションには、・シリンとは、・シャンとは、・シ	実習・実技・受業 時数 (要性) 受業 時数 (事修学体) (事修学体) (事修学体)	の単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	[第2号)	240 单位 0 单位 1,800 单位 0 单位 0 单位 0 单位	立時間間は立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立	
実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入)	(B:単位 (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	 会とできます。 会とできまります。 会とできまります。 会とできまります。 会とできまります。 会とできまります。 会とできまります。 会によるないます。 会によるないまするないます。 会によるないます。 会によるないまするないます。 会によるないまするないまするないます。 会によるないまするないまするないまするないまするないまするないまするないまするないます	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した演習の単位 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した で業等と連携した。 でままります。 は、ままでもした。 は、までもした。 は、までも、までも、までも、までも、までも、までも、までも、までも、までも、までも	は時数 ・必修の実験・ ・必修の演習の ・ンシップの持 ・シリンシップの単位 ・シリンションには、・シリンションには、・シリンションには、・シリンションには、・シリンとは、・シャンとは、・シ	実 () 実 () 要 () 和 (の単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	[第2号) [第3号)	240 单位 0 单位 1,800 单位 0 单位 0 单位 4 人 6 人 0 人	立時間間は立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立	
実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(B: 単位 終 (C) (A) (C) (A) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C	 会とできる では、またのでできる では、またのでできる では、またのでできます。 では、またのでできます。 では、またのでできます。 では、またのできます。 では、またのできまます。 では、またのできます。 では、またのできますが、またのできます。 では、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできまがは、またのできますが、またのできまがは、またので	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した演習の単位 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した で業等と連携した。 でままります。 は、ままでもした。 は、までもした。 は、までも、までも、までも、までも、までも、までも、までも、までも、までも、までも	は時数 ・必修の実験・ ・必修の演習の ・ンシップの持 ・シリンシップの単位 ・シリンションには、・シリンションには、・シリンションには、・シリンションには、・シリンとは、・シャンとは、・シ	実 ((<	の単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	[第2号) [第3号) [第4号)	240 单位 0 单位 1,800 单位 0 单	立時間間は立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立	
実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入) に記入) 教員の属性(専任 教員について記	(B:単位 経 (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で)	世界 (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学)	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した演習の単位 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した で業等と連携した。 でままります。 は、ままでもした。 は、までもした。 は、までも、までも、までも、までも、までも、までも、までも、までも、までも、までも	は時数 ・必修の実験・ ・必修の演習の ・ンシップの持 ・シリンシップの単位 ・シリンションには、・シリンションには、・シリンションには、・シリンションには、・シリンとは、・シャンとは、・シ	実 ((<	の単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	[第2号) [第3号) [第4号)	240 单位 0 单位 1,800 单位 0 单位 0 单位 0 单位 4 人 6 人 0 人 0 人	立時間間は立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立	
実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入) に記入) 教員の属性(専任 教員について記	(B:単位 経 (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で)	 会とできる では、またのでできる では、またのでできる では、またのでできます。 では、またのでできます。 では、またのでできます。 では、またのできます。 では、またのできまます。 では、またのできます。 では、またのできますが、またのできます。 では、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできますが、またのできまがは、またのできますが、またのできまがは、またので	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うちと連携した演習の単位 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した で業等と連携した。 でままりまする。 は、ままでもした。 は、まをもした。 もをもした。 もをもした。 は、まをもした。 もをもした。 もをももももももももももももももももももももももももももももももももももも	は時数 ・必修の実験・ ・必修の演習の ・ンシップの持 ・シリンシップの単位 ・シリンションには、・シリンションには、・シリンションには、・シリンションには、・シリンとは、・シャンとは、・シ	実 ((<	の単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	[第2号) [第3号) [第4号)	240 单位 0 单位 1,800 单位 0 单	立時間間は立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立	
実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入) に記入) 教員の属性(専任 教員について記	(B:単位 総 (そ精年 () ()	世界 (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学)	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うちと連携した演習の単位 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した で業等と連携した。 でままりまする。 は、ままでもした。 は、まをもした。 もをもした。 もをもした。 は、まをもした。 もをもした。 もをももももももももももももももももももももももももももももももももももも	美時数 - 必修の実験・ - 必修のの - ン 実技の - ン 実技の - ン 実技のの - ン に該算の - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実 () () () () () () () () () (の単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	(第2号) (第3号) (第4号) (第5号)	240 单位 0 单位 1,800 单位 0 单位 0 单位 0 单位 4 人 6 人 0 人 0 人	立時間間は立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立	
実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入) に記入) 教員の属性(専任 教員について記	(B:単位 総 (そ精年 () ()	世界 (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学)	等と連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うちを連携した演習の単位 うちな主護を連携した うちを連携したた演習の単位 うちを連携したた演習の単位 うちを主きなる業等とを連携した。 ま等と連携した。 ま等と連携した。 を変素等とをである。 まである。 まである。 までものでも、までものでも、これでものでも、これでものでも、これでものでも、これでものでも、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	美時数 - 必修の実験・ - 必修のの - ン 実技の - ン 実技の - ン 実技のの - ン に該算の - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実 () () () () () () () () () (の単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	(第2号) (第3号) (第4号) (第5号)	240 单位 0 单位 1,800 单位 0 单位 0 单位 0 单位 4 人 6 人 0 人 0 人	立時間間は立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

教育課程編成員会は、卒業生の就職先である、ゲーム・アニメーション等エンターテインメント業界において必要とされる、実践的かつ 専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成(授業科目の開設 や授業内容・方法の改善・工夫等を含む)に活かすことを目的として基本方針とする。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程の編成にあたっては、教育過程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意見を十分に活かし、 実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努めるものとし、その過程においては、以下に基づくものと する。

①学科教員による改善案の作成。②教育課程編成委員会にて専門的知見に基づく意見交換。③委員会での意見を踏まえ、学科長・教務関連委員を中心に修正案を作成し学校長の承認を得る。④最終決定した教育課程を各委員へ報告する。

「(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
木下 亮輔	株式会社TechPlus代表取締役社長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
鈴木 克久	株式会社アンビション人事部/(社)コンピュータエンターテインメント協会	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
高見 政良	日本美術解剖学会員	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	2
大津 健太郎	株式会社オクルトノボル クリエイティブディレク ター	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
工藤 憲子	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 学校長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
野中 智之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 副校長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
本木 能之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー ゲーム総合学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
真家 祐也	専門学校東京クールジャパン・アカデミー アニメ総合学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
西岡 創	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 声優学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
川上 美樹	専門学校東京クールジャパン・アカデミー グローバルキャリアデザインセンター長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
井上 正樹	専門学校東京クールジャパン・アカデミー ゲーム総合学科教諭	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
池田 貴之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 事務長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
前手 俊和	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 事務	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月12日 14:00~16:00 第2回 令和7年3月15日 14:00~15:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

①Google Play等を使用した実配信を想定したゲーム制作

現状、主に学内イベントや東京ゲームショウなどで制作したゲームをアップしているが、より制作の精度や対外性を強化する為に、 「Google Play」などを用いたゲームの配信なども考えている旨報告する。委員会からの回答としては、方策としては有効だが、アップ後 のメンテナンスやスケジュール感なども必要であるため、実動の前に前情報や下準備をしっかりとすることが大事とのこと。そのため、 カリキュラムへの直ぐの導入ではなく、学内でのゲームジャムや有志の学生を元にまずは実験的に行うことで現在検討中。

②複数専攻でのUnity授業の導入

元々はプログラム系のゲーム開発として「Unity」が導入されていたが、現在の業界の動向を見ると、プランナーやデザインの分野でも Unityが使われ出しており、学科としても他専攻での実施を検討している旨報告。実施について異論は無く、さっそくカリキュラムへの落 し込みを実施。講師の手数の問題もあり、まだ全専攻に一斉配置とはいかないが、先んじてプランナー、3DCG、サウンドの学生に対し て適用をし、Unityの特性を活かした授業を行う運びとなる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ゲーム業界で活躍できる人財を育成するため、多くのゲーム開発の経験を有する企業や有識者の目線で以て、スキルの学習はもち ろんゲーム制作に必要な能力や資質を磨き、ゲームクリエイターとしての姿勢を確立させることを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

各専攻を混在させたチームをいくつか形成したオリジナルゲームの制作を行う。企業所属のクリエイターが中心となり、実際の制作の 流れを想定した制作フローのチェックやアドバイスを行い、ゲームの完成までを導く。中間チェックの実施をし、最終的に各チームごと に発表(プレゼンテーション)を行い、ゲーム作品、各分担ごとの成果物、制作に取り組む姿勢などを以て評価を受ける。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
ゲーム制作	1.【校内】企業等から の講師が全ての授業	各専攻を混在させたチームをいくつか形成したオリジナルゲームの制作を行う。株式会社エッジワークスからのクリエイターが中心となり、制作の流れの監修や進捗確認、アドバイスを行う。中間チェックの実施をし、最終的に各チームごとに発表(プレゼンテーション)を行い、各分担ごとの成果物、制作に取り組む姿勢などを以って評価を受ける。	
000		00000	000

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、学生に対する指導力の修得・向上のための研修に参加するものとす る。この研修は年に一度、原則として6月に実施する。

前項に加え、各学科の教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、専門分野における専門能力を修得することを目 的に別途研修を受講する。この研修は、業界団体等他の機関により実施されるものとし、校内、当該団体あるいはその他研修に適切 な場所で実施する。教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、勤務年数、業界経験年数の如何にかかわらず、特 段の事由のない限り、これらの研修に参加しなければならない。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

コーの取り組み~」

「生成AIで進化する"はたらく"のカタチ~AI活用の最適解とリ 研修名: 連携企業等:リコージャパン株式会社

期間: 2024年7月8日16:00~ 対象:ゲーム総合学科教職員

内容 ゲーム・アニメーション制作や周辺業務におけるAIの活用の余地を検討することを目的とした。

②指導力の修得・向上のための研修等

「なりたい自分」を考える理想設計ワークショップ 連携企業等: 株式会社B.Cmembers 研修名:

期間: 2025年3月11日17:00~ 対象: 本校全職員

クリエイティブシンキング、ロジカルシンキング、システムシンキングの思考法をベースしたワークショップを通じ、目 指す企業や業界へ学生の目標設定の立て方や、就職後のキャリア設計方法などの手段を学び、進路指導力の向

内容 上を図った。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: クリエイティブ業界最前線2025 連携企業等: 株式会社 ワコム

2025年6月11日17:00~ 対象:ゲーム総合学科教職員 期間:

ゲーム・アニメ・CGなどのクリエイティブ市場の最新概況と制作環境・技術トレンドを知る 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

「 教育相談の理論と実践 」 研修名: 連携企業等: 公益財団法人才能開発教育研究財団

2025年8月初旬 対象: 本校全職員 期間:

学生理解や教育相談に役立つ基本的なカウンセリング理論や技法について、学校現場の現状と課題についての事 内容

例を共に学び、その考え方を伝える力を習得する。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己評価結果を客観的に検証する仕組みとして『学校関係者評価委員会』を設置する。

その目的としては、①自己評価結果の客観性・透明性をたかめること。

②委員の本校に対する理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることとする。

その活動としては、学校が策定した重点目標、計画の実施についての自己評価結果、評価結果に基づく今後の取り組み方針などに

ついて、教育活動・学校運営に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言を行うものであり、 それを受けて、学校及び 教職員は、学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努め なければならない。

(2)「再修学校における学校証価ガイドライン』の項目との対応

(<u>2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の</u>)項目との対応
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	理念・目的・育成人材像、職業教育の特色、将来構想、保護者等に周知、業界のニーズとの適合性
(2)学校運営	運営方針、事業計画、運営組織・意志決定機能の明確化、人事規定、教務・財務等の組織整備、コンプライアンス体制、情報公開、業務の効率化
(3)教育活動	教育課程の編成・実施方針、教育レベルや学習時間の確保、カリキュラム、キャリア教育・実践的授業、企業・業界団体等との連携、実践的な職業教育、授業評価・評価体制、適正な教員確保とマネジメント、研修や教員育成
(4)学修成果	就職率、資格取得率、退学率の低減、卒業生・在校生の活躍状況の把握と教育活動の改善へ の活用
(5)学生支援	進路・就職支援体制、学生相談体制、経済的な支援体制、健康管理、学生の生活環境支援、 保護者との連携、卒業生支援、教育環境が整備、高校との連携、キャリア教育・職業教育の取 り組み
(6)教育環境	施設・設備の整備、インターンシップ・研修等の教育体制、防災に対する体制整備
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動、教育効果の公表、学納金は妥当性
(8)財務	学校の財務基盤、予算・収支計画、会計監査、財務情報公開の体制 整備
(9)法令等の遵守	法令遵守と適正な運営、個人情報保護、自己評価の実施と改善、自己評価結果を 公開
(10)社会貢献·地域貢献	社会貢献・地域貢献、学生ボランティア活動を奨励・支援、公開講座・教育訓練
(11)国際交流	留学生の受け入れ・派遣・在籍管理、留学生の学修・生活指導体制の整備、学修成 果の評価
※(10)及び(11)については任意記載。	

(3)学校関係者評価結果の活用状況

本校は従来より立地・外観・雰囲気等の面より、外部からは学校としてのイメージが薄いようであった。前回の委員会において地域代表委員からの意見で地域の商店街や組合でも学校なのか企業なのか、何の勉強をしているのか理解されていないようだとの指摘を受けて、改めて認識を強くした。今回の報告を伴う情報公開を機に、より学校の教育活動や学生の作品発表・活動状況についてのホームページでの配信を修正し、また企業との提携や高校との連携など学校として施設面も含めてのオープン化し、東京クールジャパン・アカデミーの認知の拡大に取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所属	任期	種別
藤沢 理子	株式会社エッジワークス 取締役	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	企業等委 員
松本 翔吾	有限会社ゼクシズ	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	卒業生
岡﨑 千治	千駄ケ谷大通り商店街振興組合 千駄ケ谷グリーンモール理事長	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	近隣地域 住民
松田 敏博	全国私立通信制高等学校協会元事務局長 学校法人科学技術学園高等学校理事長·校長		学校運営に 関する専門 家

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.cooljapan.ac.jp/evaluation/R6tcj_school_official_evaluation_report.pdf

公表時期: 2025年10月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校案内書やホームページにて学校理念・育成すべき学生の人材像等教育目標の共有を前提に、学校施設の見学や学校行事への随時見学・参加を通じで学校の取り組みに理解を深めていただき、その方向性や整合性の判断し、連携や協力関係を続ける等積極的な情報交換・理解促進に努める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

(27) 寺门子以に8377 の自私定民寺 のないに関するの11 フィンコの項目との2770									
ガイドラインの項目	学校が設定する項目								
(1)学校の概要、目標及び計画	・学校の概況・教育理念・法人名・所在地・代表者・沿革・教育目標								
(2)各学科等の教育	 ・目標募集学科・専攻(コース)・定員・就職業界デビューへのSTEP・教育の流								
(3)教職員	•組織図•本務者、兼務者、職員人数								
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・就職活動へのフォローアップ・企業、業界との連携								
(5)様々な教育活動・教育環境	・AO2,5システム・教育サポート・業界EXPO								
(6)学生の生活支援	・学生寮・学割制度・教室、備品貸し出し・図書室利用・部活動								
(7)学生納付金・修学支援	•学費一覧•奨学金制度								
(8)学校の財務	・財務諸表・貸借対照表・収支計算書・財産目録・事業報告書・監査報告書								
(9)学校評価	· 自己評価報告書·学校関係者評価報告書								
(10)国際連携の状況									
(11)その他									

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.cooljapan.ac.jp/information/

公表時期: 2025年10月1日

授業科目等の概要

	(文化教養専門課程 ゲーム総合学科ゲームプログラマー専攻)															
	必	分 選択必修	自由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演習		校	<u>所</u> 校		兼	企業等との連携
1	0			ゲーム制作I	企画・シナリオ制作とチームの取りまとめ	1 通	120	8			0	0			0	0
2	0			ゲームプログ ラム I	C++を使った基礎プログラミング。IIと連携	1 通	120	8			0	0			0	
3	0				C#を通じてプログラミング言語の基本を学 ぶ	1 通	120	8			0	0			0	
4	0			WEBテクノロ ジー【	WEBサイト作成の基礎となるHTML, CSSを学習し、Javascriptのコーディングも扱う	1 通	120	8			0	0			0	
5	0				C#基礎およびUnityオペレーティングの基礎 の習得	1 通	120	8			0	0			0	
6	0			ゲーム開発	ゲームを制作する際に必要なPC知識や学習	1 前	60	4			0	0			0	
7	0			プログラミン グ数学	プログラムで使う数学の基礎知識の習得	1 前	30	2			0	0			0	
8	0			制作実習Ⅰ	グループおよび個人でのゲーム制作の補助	1 通	60	4			0	0		0		
9	0			ポートフォリ オ制作I	就職活動用の作品制作と制作補助	1 後	60	4			0	0		0		
10	0			ホームルーム	学生作品のチェックや個別面談、インフォ メーションなど	1 通	60	4	0			0		0		
11	0			就職セミナー	ゲーム会社やOB・OGによる企業研究	1 後	30	2	0			0		0		
12			0	ゲームジャム	クラス縦断したチームを結成し、限られた 時間の中で協力し合いゲームを完成させる イベント	1 通	60	4			0	0			0	
13	0			ゲーム制作Ⅱ	グループおよび個人でのゲーム制作の補助	2 通	120	8			0	0			0	0
14	0				各種エンジン・言語を使ったゲームプログ ラミング実習	2 通	120	8			0	0			0	
15	0			ゲームプログ ラムⅣ	C++の習得と制作。IVと連携	2 通	120	8			0	0			0	
16	0			WEBテクノロ ジーⅡ	Apache、PHPによるサーバプログラムの実習	2 通	120	8			0	0			0	
17	0				Unreal Engineを使った基本オペレーションの習得	2 通	120	8			0	0			0	
18	0			+ N = 42	実用的なゲーム制作手法について講義・実 践	2 通	60	4			0	0			0	
19	0			ポートフォリ オ制作 II	就職活動用の作品制作と制作補助	2 前	60	4			0	0			0	
20	0			修了制作	2年間の集大成として専攻毎の作品制作	2 後	60	4			0	0			0	
21	0			ホームルーム	学生作品のチェックや個別面談、インフォ メーションなど	2 後	60	4	0			0		0		
22			0	就職セミナー	就職後に活躍する為のセミナーや勉強会	2 通	60	4	0			0		0		
23			0	ゲームジャム	クラス縦断したチームを結成し、限られた 時間の中で協力し合いゲームを完成させる イベント		60	4			0	0			0	
24																
			合	<u> </u>	23	科	目				1920	単作	立 (単位	時間	引)
					卒業要件及び履修方法							業期				

卒業要件及び履修方法	授業期間等	F
卒業要件: 基本科目・選択科目等を併せて108単位以上の習得及び修了制作の審査	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 入学・進級時のオリエンテーションにて配布・案内に沿って履修する	1 学期の授業期間	15 週

⁽留意事項)
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

² 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年		交長名			所在地			
専門学校東京クー	ルジャパ					51-0051				
ン・アカデミ-	_	昭和58年7月		藤 憲子		[京都渋谷区千駄ヶ 3-3401-9701				
設置者名		設立認可年	月日 代	表者名	<u> </u>	96-0001	所在地			
学校法人21世紀アプ	カデメイア	昭和42年1月	12日 田均	坂 広志	(住所) 東	京都千代田区神田	1駿河台2-11			
分野	=	l 認定課程名	認定学科	名		3-5283-6288 士認定年度	高度専門士認定	生度	職業実践専	門課程認定年度
文化•教養	文化	之教養専門課程	ゲーム総合 サウンドデザイ		令和 2	2(2020)年度	_		令和 2	2(2020)年度
			9.9267.94) - 导以						
	ゲームに関	関連する職業に必要な	専門技術ならびに創造	力、表現力を	身につけた健全	とな職能人の育成を	目的とする。			
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)			:界でプロを目指すため)の経験値アップを身に		こ個々のスキル	を磨くと共に授業全	体の90%以上の実習授	業でスキル	アップや制作	・鍛錬を行い、最高
修業年限	昼夜		ēな総授業時数又は総 位数	講	義	演習	実習	実	験	実技
2 年		 ※単位時間、単位いずれ かに記入	1,800 単位時間	210	単位時間 単位	0 単位時間	1,710 単位時間 単位		単位時間単位	0 単位時間単位
生徒総定員	生徒実	実員(A) 留学生	- 数(生徒実員の内数)(B)	留学生割	合(B/A)	中退率				
360 人	7	Α	0 人	C) %	7 %				
	■卒業者	 数(C)	8		人	-				
		望者数 (D) :	8		人					
		致(E) 職者数(F)	<u>o</u>							
	■就職率		100		%					
		に占める地元就職者の	100		%					
	■卒業者に	こ占める就職者の割合	(E/C)		%					
	■進学者	数	0		人					
170 1994 17 ♥ 2 1/\ 1/\	■その他									
	•留学生帰	帰国、自営業手伝い								
	(令和	6 年度次类	者に関する令和7年5月	11口時占の棲む	. tu \					
	, , ,	り 年及卒業4 職 先、業界等	日に関りる市和(午3万	11日时品の旧	羊 权 <i>)</i>					
	(令和6年度									
	(7/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11	十 未工/					/14/ 11 - 12 2 - 11	L > 1 × /14 \		7 11 上ナ - 11二 /性)
	(株)eSP(株)コ	エクシードジャパン㈱)OFIS(株)カプコン(株)教	映社(株)研音(株	制ザイクス(株)サ	トイバーコネクトツー	-(株)サワント・シティサ	クンート(株)	リソニ ノンフ	ルンセーエリティ(体)
	株が一リン	レクスタジオZigZaGa	me(株)(株)CELLORBナb			nTime(株)メロンブック		クンート(株)		ハルセキュリティ(林)
	株ジーリン ■民間の	レ <mark>クスタジオZigZaGa</mark> 評価機関等から第3	me㈱㈱CELLORBナb 者評価 :					クン一ト(株)		(ルセイユリティ(株)
第三者による	株ジーリン ■民間の	レクスタジオZigZaGa	me㈱㈱CELLORBナb 者評価 :			nTime(株)メロンブック 無	ウス	グン―ト(株)		・ルセモユリティ(林)
	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合	レ <mark>クスタジオZigZaGa</mark> 評価機関等から第3	me㈱㈱CELLORBナb 者評価 :		-タ(株)(株)Mission	nTime(株)メロンブック 無		グン―ト(株)		・ルセモユリティ(林)
第三者による 学校評価	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合	ンクスタジオZigZaGa 評価機関等から第3 、例えば以下について任	me㈱㈱CELLORBナb 者評価 :	<u>ごオコンピュー</u>	-タ(株)(株)Mission	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	クシート(株)		・ルセモユリティ(林)
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合	ンクスタジオZigZaGa 評価機関等から第3 、例えば以下について任	me㈱㈱CELLORBナb 者評価 :	<u>ごオコンピュー</u>	-タ(株)(株)Mission	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	クシート(株)		・ルセモユリティ(林)
第三者による 学校評価 当該学科の	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合	ンクスタジオZigZaGa 評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体:	me㈱㈱CELLORBナb 者評価 :	<u>ごオコンピュー</u>	-タ(株)(株)Mission	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	グン―ト(株)	,92 72	(ルセモユリティ(杯)
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合 https://ww	レクスタジオZigZaGa 評価機関等から第三 、例えば以下について任 評価団体: ww.cooljapan.ac.jp/ 立時間による算定)	me㈱㈱CELLORBナb 者評価 :	<u>ごオコンピュー</u>	-タ(株)(株)Mission	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	クシート(株)		(ルセモユリティ(杯)
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合 https://ww	アクスタジオZigZaGa 評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: ww.cooljapan.ac.jp/ 立時間による算定) 総授業時数	me㈱㈱CELLORBナt E者評価: 意記載	ビオコンピュー 受審年月:	-タ(株)(株)Missio	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した		単位時間	(ルセイユリティ(杯)
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合 https://ww	アクスタジオZigZaGa 評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: ww.cooljapan.ac.jp/ 立時間による算定) 総授業時数	me㈱㈱CELLORBナb 者評価 :	ビオコンピュー 受審年月:	-タ(株)(株)Missio	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	2, 040		グレビャユリティ(林)
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合 https://ww	アクスタジオZigZaGa 評価機関等から第三 、例えば以下について信 評価団体: ww.cooljapan.ac.jp/ な時間による算定) 総授業時数 うち企業:	me㈱㈱CELLORBナt E者評価: 意記載	ごオコンピュー受審年月:習・実技の授業	-タ(株)(株)Missio	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	2, 040 ± 240 ±	単位時間	グレビャユリティ(杯)
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合 https://ww	アクスタジオZigZaGa 評価機関等から第三 、例えば以下について信 評価団体: ww.cooljapan.ac.jp/ な時間による算定) 総授業時数 うち企業:	me㈱㈱CELLORBナte 書評価: 意記載 等と連携した実験・実	ごオコンピュー受審年月:習・実技の授業	-タ(株)(株)Missio	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	2, 040 ± 240 ± 0	単位時間単位時間	グレビー・エッティ(杯)
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合 https://ww	アクスタジオZigZaGa 評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: www.cooljapan.ac.jp/ 立時間による算定) 総授業時数 うち企業: うち企業:	me㈱㈱CELLORBナte 書評価: 意記載 等と連携した実験・実	ごオコンピュー受審年月:習・実技の授う業時数	・夕(株)(株)Mission 業時数	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	2, 040 ± 240 ± 0 ± 1, 800 ±	単位時間単位時間単位時間	グレビー・エリティ(杯)
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合 https://ww	アクスタジオZigZaGa 評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: www.cooljapan.ac.jp/ 立時間による算定) 総授業時数 うち企業: うち企業:	me(株)(株)CELLORBナte 者評価: 意記載 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 受業時数	ごオコンピュー受審年月:習・実技の授う業時数た必修の実験	* ・ 実習・ 実技の	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	2, 040 ± 240 ± 1, 800 ± 240 ±	単位時間単位時間単位時間単位時間	グレビーエリティ(株)
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合 https://ww	アクスタジオZigZaGa 評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: www.cooljapan.ac.jp/ 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修:	me(株)(株)CELLORBナte 者評価: 意記載 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携し	デオコンピュー 受審年月: で 要接の授業 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	* ・ 実習・ 実技の の 投業時数	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	2, 040 ± 240 ± 1, 800 ± 240 ± 0	単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間	グレビー・インティ(株)
第三者による 学校評価 当該学科の ホームで URL と連携した況	(株)ジーリン ■ 民間の ※有の場合 https://ww	アクスタジオZigZaGa 評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: www.cooljapan.ac.jp/ 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修:	me(株)(株)CELLORBナte 者評価: 意記載 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	デオコンピュー 受審年月: で 要接の授業 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	* ・ 実習・ 実技の の 投業時数	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	2, 040 ± 240 ± 1, 800 ± 240 ± 0	単位時間単位時間単位時間単位時間	グレビー・インティ(株)
第三者による 学校評価 当該学ペの ルーン URL と連携・ と連携・ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ	(株)ジーリン ■民間の ※有の場合 https://ww	アクスタジオZigZaGa 評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: www.cooljapan.ac.jp/ 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修:	me(株)(株)CELLORBナte 者評価: 意記載 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	デオコンピュー 受審年月: で 要接の授業 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	* ・ 実習・ 実技の の 投業時数	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	2, 040 ± 240 ± 1, 800 ± 240 ± 0	単位時間単位時間単位時間単位時間	グレビー・インティ(株)
第三者による 学校評価 当該学科の ホームで URL と連携した況	(株)ジーリン ■民間の ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	アクスタジオZigZaGa 評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: www.cooljapan.ac.jp/ 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修:	me(株)(株)CELLORBナte 者評価: 意記載 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	デオコンピュー 受審年月: で 要接の授業 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	* ・ 実習・ 実技の の 投業時数	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	2, 040 ± 240 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ±	単位時間単位時間単位時間単位時間	グレビー・エッティ(株)
第三者による 学校評価 当該学ペの ルーン URL と連携・ と連携・ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ	(株)ジーリン ■民間の ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	アクスタジオ Zig Za Ga 評価機関等から第三、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下については、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば	me(株)(株)CELLORBナte 者評価: 意記載 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	ごオコンピュー受審年月:で実技の授業た必修の実験た必修の演習のーンシップの	* 実習・実技の の授業時数 受業時数)	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	2, 040 1 240 1 1, 800 1 0 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	グレビー・インティ(株)
第三者による 学校評価 当該学ペの ルーン URL と連携・ と連携・ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ	(株)ジーリン ■民間の ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	プクスタジオ Zig Za Ga 評価機関等から第三、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下については、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば	me(株)(株)CELLORBナトででは、 できる評価: できる記載 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し する企業等と連携し できる企業等と連携し	ゴオコンピュー受審年月:習・実技の授うた必修の実験た必修の演習のーンシップの対習・実技の単位	* 実習・実技の の授業時数 受業時数)	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	2, 040 1 240 1 1, 800 1 0 1	単単単単単単単単単単位 単位 は 単位 は は は は は は は は は は	グレビー・インティ(株)
第三者による 学校評価 当該学ペの ルーン URL と連携・ と連携・ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ	(株)ジーリン ■民間の ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	プクスタジオ Zig Za Ga 評価機関等から第三 、例えば以下について任 評価団体: www.cooljapan.ac.jp/ な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修: な数による算定)	me(株)(株)CELLORBナトでは、 著評価: 意記載 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 業等と連携したインタ	ゴオコンピュー受審年月:習・実技の授うた必修の実験た必修の演習のーンシップの対習・実技の単位	* 実習・実技の の授業時数 受業時数)	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	2, 040 1 240 1 1, 800 1 0 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	グレビーエッティ(株)
第三者による 学校評価 当該学ペの ルーン URL と連携・ と連携・ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ	(株)ジーリン ■民間の ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	プスタジオ Zig Za Ga 評価機関等から第三、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下については、例えば、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば	me(株)(株)CELLORBナトでは、 著評価: 意記載 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 業等と連携したインタ	デオコンピュー 受審年月: 受審年月: で実技の授業 た必修の演習の ーンシップの対 で実技の単位数	業時数 ・実習・実技の の授業時数 受業時数)	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	2, 040 1 240 1 0 1 1, 800 1 0 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	グレビー・インティ(株)
第三者による 学校評価 当該学ペの ルーン URL と連携・ と連携・ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ	(株)ジーリン ■民間の ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	プスタジオ Zig Za Ga 評価機関等から第三、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下については、例えば、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば以下については、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば	me(株)(株)CELLORBナトでは、 書子と連携した実験・実験を連携した演習の授受業時数 うち企業等と連携したインターである。 素等と連携した実験・実際を連携した。 までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、	デオコンピュー 受審年月: 受審年月: 学表の受事 を 実技の 実技の 実技の 実技の でままな アンシップの する である である である である できます かいしょう かいしゅう かいしゅう かいしゅう できます かいしゅう できます かいしゅう しゅう かいしゅう しゅう しゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	業時数 ・実習・実技の の授業時数 受業時数) 立数	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	2, 040 1 240 1 0 1 1, 800 1 0 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	イルセイユッティ(株)
第三者による 学校評価 当該学科の ホー URL と連携・ と連携・ とで とで とで とで との は とで との に した に との に と に と の に と の に り し し と り と り と り と り と り と り と り と り と	(株)ジーリン ■民間の ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	プクスタジオ Zig Za Ga 評価機関等から第三 、例えば以下について信 評価団体: www.cooljapan.ac,jp/ な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修: な数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち必修:	me(株)(株)CELLORBナトでは、 音子と連携した実験・実験を連携した演習の授える。 でできる企業等と連携したうち企業等と連携した。 音と連携した実験・実際を連携した。 なのでできる。 なのでできる。 なのでできる。 なのでできる。 なのでできる。 なのでできる。 なのでできる。 なのでできる。 なのでできる。 なのでできる。 なのでできる。 なのでできる。 なのでできる。 なのでできる。 ない	デオコンピュー 受審年月: 受審年月: 実技の授業 た必修のの演習の かままなの 実技の 単位 ない といり から である から できる から いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん	大学(株)Mission 業時数 ・実習・実技の の授業時数) ・実帯数)	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	2, 040 1 240 1 0 1 1, 800 1 0 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	イルセイエッティ(株)
第三者による 学校評価 当該学科の ホー URL 企業等のと連携施状か	(株)ジーリン ■民間の ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	プクスタジオ Zig Za Ga 評価機関等から第三 、例えば以下について信 評価団体: www.cooljapan.ac,jp/ な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修: な数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち必修:	me(株)(株)CELLORBナトでは、 香子と連携した実験・実験・実験を連携した演習の授業等と連携した演習の要素を連携したする。 素等と連携したする。 素等と連携したする。 な業等と連携したする。 なりまる。 なりまる。 なりまる。 なりまな。 なりまな。 なりまな。 なりまる。 なりる。 なりまる。 なりまる。 なりまる。 なりまる。 なりな。 なりる。 なりな。 なりなりな。 なりな。 なりな。 なりな。 なりな。 なりな。 なりな。	デオコンピュー 受審年月: 受審年月: 実技の授業 た必修のの演習の かままなの 実技の 単位 ない といり から である から できる から いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん	大学(株)Mission 業時数 ・実習・実技の の授業時数) ・実帯数)	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	2, 040 1 240 1 0 1 1, 800 1 0 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	インセイエッティ(株)
第三者による 学校評価 当該学ペの ルーン URL と連携・ と連携・ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ	(株)ジーリン ■民間の ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	プクスタジオ Zig Za Ga 評価機関等から第三 、例えば以下について信 評価団体: www.cooljapan.ac,jp/ な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修: な数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち必修:	me(株)(株)CELLORBナトでは、 者評価: 意記載 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した演習の単 単位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した	デオコンピュー 受審年月: 受審年月: 実技の授業 た必修のの演習の かままなの 実技の 単位 ない といり から である から できる から いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん	大学(株)Mission 業時数 ・実習・実技の の授業時数) ・実帯数)	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	2, 040 1 240 1 0 1 1, 800 1 0 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	()レセイユッティ(株)
第三者による 学校評価 当該学ペの ルーン URL と連携・ と連携・ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ	(株)ジーリン ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	プクスタジオ Zig Za Ga 評価機関等から第三、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下について任証のでは、例えば以下については、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば、例えば	me(株)(株)CELLORBナトでは、 ・ 大きでは、 ・ は、 ・ は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ヹオコンピュー 習・実技の 要はの 要はの を必めの ででである。 でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	大学(株)Mission 業時数 ・実習・実技の の授業時数) ・実帯数)	nTime(株)メロンブック 無	ウス 評価結果を掲載した	2, 040 1 240 1 0 1 1, 800 1 0 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	イルセイユッティ(株)
第三者による 学校評価 当該学ペの ルーン URL と連携・ と連携・ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ	(株)ジーリン ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	アクスタジオ Zig Za Ga 評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: www.cooljapan.ac.jp/ 立時間による算定)	me(株)(株)CELLORBナトでは、 ・ 大きのでは、 ・ はいっとでは、 ・ はいっとは、 ・ はいい。 ・ はいいいいい。 ・ はいいいいいいいは、 ・ はいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	でオコンピュー で	業時数 ・実習・実技の の授業時数 ・受業時数 ・対験である。 ・実技の の対象をである。 ・実技の の単位数 ・実はの の単位数	nTime(株)メロンブック 無	評価結果を掲載したホームページURL	2, 040 1 240 1 0 1 1, 800 1 0 1	単単単単単単単単単単単単単単位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	グレビー・インティ(株)
第三者による 学校評価 当該学ペの ルーン URL と連携・ と連携・ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ	(株)ジーリン ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	アクスタジオ Zig Za Ga 評価機関等から第三、例えば以下について任 評価団体: www.cooljapan.ac.jp/ 立時間による算定)	me(株)(株)CELLORBナトでは、 ・ 大きでは、 ・ は、 ・ は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	でオコンピュー で	業時数 ・実習・実技の の授業時数 ・受業時数 ・対験である。 ・実技の の対象をである。 ・実技の の単位数 ・実はの の単位数	nTime(株)メロンブック 無 の授業時数	評価結果を掲載したホームページURL	2, 040 1 240 1 0 1 1, 800 1 0 1	単単単単単単単単単単単単単単位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	インセーエッティ(株)
第三者による 学校評価 当該学ペの ルーン URL と連携・ と連携・ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とで とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ とのよっ	(株)ジーリン ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	アクスタジオ Zig Za Ga 字	me(株)(株)CELLORBナトでは、 ・ 大きのでは、 ・ はいっとでは、 ・ できるでは、 ・ できるとは、 ・ できるとな。 ・ できるとは、 ・ できるとなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	でオコンピュー で	大学(株)(株)Mission 学時数・実技の で受業時数) で変素をあり、 で変素をあり、 で変素をあり、 で変素をあり、 で変素をあり、 で変素をあり、 で変素をあり、 で変素をあり、 で変素をあり、 で変素をあり、 で変素をあり、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	の授業時数	評価結果を掲載したホームページURL	2, 040 1 240 1 0 1 1, 800 1 0 1	単単単単単単単単単単 人位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	イルセイユッティ(株)
第三者 学校 当本 URL 業等、 との B 記 との B 記 も状れ との B 記 も状れ	(株)ジーリン ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	プスタジオ Zig Za Ga 字が Tig Za Ga 字が Tig Za Ga 評価機関等について 語	me(株)(株)CELLORBナトでは、 ・ は、 ・ は、 は、 ・ は、 ・ は、 、	でオコンピュー で	大学(株)(株)Mission 業時数 ・実業等数 ・実業等数) ・実業のの で対象では数のでは、 では数のでは、 では数のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	nTime(株)メロンブック無無の授業時数 砂模業時数 設置基準第41条第1項	評価結果を掲載したホームページURL 第1号)	2, 040 ± 240 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ±	単単単単単単単単単単 人 人 位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	インセーエッティ(株)
第三者 学校 当本 URL 当本 世子ペL ・ でである。 ・ でである。 とのののでのは、 とのののでのは、 は、 とのののでのは、 は、 でである。 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、、、、、、、、、	(株)ジーリン ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	プスタジオ Zig Za Ga 字が Tig Za Ga 字が Tig Za Ga 字が Tig Za Ga 評価機関等について を	me(株)(株)CELLORBナトでは、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪	でオコンピュー で	業時数 ・実業時数 ・実業時数) ・実性数) ・実性数) ・実性数) ・実体のの単位数) ・実体のの単位数)	nTime(株)メロンブック無無 砂提業時数 砂型基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	評価結果を掲載した ホームページURL (第1号) (第3号)	2, 040 ± 240 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ±	单单单单单单单单单 人 人人的位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	インピー・インティ(株)
第三者 学校 当本 URL 業等、 との B 記 との B 記 も状れ との B 記 も状れ	(株)ジーリン ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	プスタジオ Zig Za Ga 字が Tig Za Ga 字が Tig Za Ga 評価機関等について 語	me(株)(株)CELLORBナトでは、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪	でオコンピュー で	業時数 ・実業時数 ・実業時数) ・実性数) ・実性数) ・実性数) ・実体のの単位数) ・実体のの単位数)	nTime(株)メロンブック無無の授業時数 砂模業時数 設置基準第41条第1項	評価結果を掲載した ホームページURL (第1号) (第3号)	2, 040 ± 240 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ±	单单单单单单单单单 人 人人的位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	インピー・インティ(株)
第三者 学校 当本 URL ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(株)ジーリン ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	プスタジオ Zig Za Ga 字が Tig Za Ga 字が Tig Za Ga 字が Tig Za Ga 評価機関等について を	me(株)(株)CELLORBナトでは、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪	でオコンピュー で	************************************	nTime(株)メロンブック無無 砂提業時数 砂型基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	評価結果を掲載した ホームページURL	2, 040 ± 240 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ± 0 ±	単単単単単単単単単 人 人人一位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	インピー・インティ(株)
第三者 学校 当本 URL ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(株)ジーリン ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	プスタジオ Zig Za Ga 字が A Zig Za Ga	me(株)(株)CELLORBナトでは、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪	でオコンピュー で	************************************	nTime(株)メロンブック無無 無力を対して、	評価結果を掲載した ホームページURL	2, 040 1 240 1 1, 800 1 0 1 0 1 4 .	単単単単単単単単 人 人人人的人位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	インピー・インティ(株)
第三者 学校 当本 URL ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(株)ジーリン ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	プスタジオ Zig Za Ga 字が Tig Za Ga Pi Tig Za Ga Ca	me(株)(株)CELLORBナトでは、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪	でオコンピュー で	************************************	nTime(株)メロンブック無無 無力を対して、	評価結果を掲載した ホームページURL	2, 040 1 240 1 1, 800 1 0 1 0 1 4 .	単単単単単単単単 人 人人人的人位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	インピー・インティ(株)
第三者 学校 当本 URL ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(株)ジーリン ■ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・	プラスタンフィー (1) (2) (2) (3) (4) (5) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	me(株)(株)CELLORBナトでは、 (株)(株)(本)では、 では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	ごオコンピュー習業 たたー実数実数 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	************************************	nTime(株)メロンブック無無 沙授業時数 沙世位数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	デス 評価結果を掲載した ホームページURL 第2号) 第3号) 第3号) 第4号) 第5号)	2, 040 1 240 1 1, 800 1 0 1 0 1 4 .	単単単単単単単単 人 人人人的人位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	インピー・インディ(株)
第三者 学校 当市 以RL 当十 以RL 全との B に との B に もし状れ もし状れ もしいて でででした況か	(株)ジーリン ■ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・	プラスタンフィー (1) (2) (2) (3) (4) (5) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	me(株)(株)CELLORBナトでは、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪	ごオコンピュー習業 たたー実数実数 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	************************************	nTime(株)メロンブック無無 沙授業時数 沙世位数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	デス 評価結果を掲載した ホームページURL 第2号) 第3号) 第3号) 第4号) 第5号)	2, 040 1 240 1 1, 800 1 0 1 0 1 4 .	単単単単単単単単 人 人人人人 一時時時時時時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間	インピー・インティ(杯)

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

教育課程編成員会は、卒業生の就職先である、ゲーム・アニメーション等エンターテインメント業界において必要とされる、実践的かつ 専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成(授業科目の開設 や授業内容・方法の改善・工夫等を含む)に活かすことを目的として基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程の編成にあたっては、教育過程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意見を十分に活かし、 実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努めるものとし、その過程においては、以下に基づくものと する。

①学科教員による改善案の作成。②教育課程編成委員会にて専門的知見に基づく意見交換。③委員会での意見を踏まえ、学科長・教務関連委員を中心に修正案を作成し学校長の承認を得る。④最終決定した教育課程を各委員へ報告する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前		任期	種別
木下 亮輔	株式会社TechPlus代表取締役社長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
鈴木 克久	株式会社アンビション人事部/(社)コンピュータエンターティンメント協会	. 令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
高見 政良	日本美術解剖学会員	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	2
大津 健太郎	株式会社オクルトノボル クリエイティブディレク ター	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
工藤 憲子	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 学校長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
野中 智之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 副校長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
本木 能之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー ゲーム総合学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
真家 祐也	専門学校東京クールジャパン・アカデミー アニメ総合学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
西岡 創	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 声優学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
川上 美樹	専門学校東京クールジャパン・アカデミー グローバルキャリアデザインセンター長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
井上 正樹	専門学校東京クールジャパン・アカデミー ゲーム総合学科教諭	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
池田 貴之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 事務長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_
前手 俊和	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 事務	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月12日 14:00~16:00 第2回 令和7年3月15日 14:00~15:30

0

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

①Google Play等を使用した実配信を想定したゲーム制作

現状、主に学内イベントや東京ゲームショウなどで制作したゲームをアップしているが、より制作の精度や対外性を強化する為に、「Google Play」などを用いたゲームの配信なども考えている旨報告する。委員会からの回答としては、方策としては有効だが、アップ後のメンテナンスやスケジュール感なども必要であるため、実動の前に前情報や下準備をしっかりとすることが大事とのこと。そのため、カリキュラムへの直ぐの導入ではなく、学内でのゲームジャムや有志の学生を元にまずは実験的に行うことで現在検討中。

②複数専攻でのUnity授業の導入

元々はプログラム系のゲーム開発として「Unity」が導入されていたが、現在の業界の動向を見ると、プランナーやデザインの分野でも Unityが使われ出しており、学科としても他専攻での実施を検討している旨報告。実施について異論は無く、さっそくカリキュラムへの落 し込みを実施。講師の手数の問題もあり、まだ全専攻に一斉配置とはいかないが、先んじてプランナー、3DCG、サウンドの学生に対し て適用をし、Unityの特性を活かした授業を行う運びとなる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ゲーム業界で活躍できる人財を育成するため、多くのゲーム開発の経験を有する企業や有識者の目線で以て、スキルの学習はもちろんゲーム制作に必要な能力や資質を磨き、ゲームクリエイターとしての姿勢を確立させることを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

各専攻を混在させたチームをいくつか形成したオリジナルゲームの制作を行う。企業所属のクリエイターが中心となり、実際の制作の流れを想定した制作フローのチェックやアドバイスを行い、ゲームの完成までを導く。中間チェックの実施をし、最終的に各チームごとに発表(プレゼンテーション)を行い、ゲーム作品、各分担ごとの成果物、制作に取り組む姿勢などを以て評価を受ける。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
ゲーム制作		各専攻を混在させたチームをいくつか形成したオリジナルゲームの制作を行う。株式会社エッジワークスからのクリエイターが中心となり、制作の流れの監修や進捗確認、アドバイスを行う。中間チェックの実施をし、最終的に各チームごとに発表(プレゼンテーション)を行い、各分担ごとの成果物、制作に取り組む姿勢などを以って評価を受ける。	

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、学生に対する指導力の修得・向上のための研修に参加するものとす る。この研修は年に一度、原則として6月に実施する。

前項に加え、各学科の教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、専門分野における専門能力を修得することを目 的に別途研修を受講する。この研修は、業界団体等他の機関により実施されるものとし、校内、当該団体あるいはその他研修に適切 な場所で実施する。教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、勤務年数、業界経験年数の如何にかかわらず、特 段の事由のない限り、これらの研修に参加しなければならない。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

「生成AIで進化する"はたらく"のカタチ~AI活用の最適解とリ 連携企業等:リコージャパン株式会社

研修名: コーの取り組み~」

2024年7月8日16:00~ 対象:ゲーム総合学科教職員 期間:

ゲーム・アニメーション制作や周辺業務におけるAIの活用の余地を検討することを目的とした。 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

「なりたい自分」を考える理想設計ワークショップ 連携企業等: 株式会社B.Cmembers 研修名:

期間: 2025年3月11日17:00~ 対象: 本校全職員

クリエイティブシンキング、ロジカルシンキング、システムシンキングの思考法をベースしたワークショップを 通じ、目指す企業や業界へ学生の目標設定の立て方や、就職後のキャリア設計方法などの手段を学び、 内容

進路指導力の向上を図った。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: クリエイティブ業界最前線2025 連携企業等: 株式会社 ワコム

期間: 2025年6月11日17:00~ 対象:ゲーム総合学科教職員

内容 ゲーム・アニメ・CGなどのクリエイティブ市場の最新概況と制作環境・技術トレンドを知る

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「 教育相談の理論と実践 」 連携企業等: 公益財団法人才能開発教育研究財団

期間: 2025年8月初旬 対象: 本校全職員

学生理解や教育相談に役立つ基本的なカウンセリング理論や技法について、学校現場の現状と課題につ 内容

いての事例を共に学び、その考え方を伝える力を習得する。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己評価結果を客観的に検証する仕組みとして『学校関係者評価委員会』を設置する。

その目的としては、①自己評価結果の客観性・透明性をたかめること。

②委員の本校に対する理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることとする。

その活動としては、学校が策定した重点目標、計画の実施についての自己評価結果、評価結果に基づく今後の取り組み方針などについて、教育活動・学校運営に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言を行うものであり、

それを受けて、学校及び 教職員は、学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めなければならない。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	理念・目的・育成人材像、職業教育の特色、将来構想、保護者等に周知、業界のニーズとの適合性
(2)学校運営	運営方針、事業計画、運営組織・意志決定機能の明確化、人事規定、教務・財務等の組織整備、コンプライアンス体制、情報公開、業務の効率化
(3)教育活動	教育課程の編成・実施方針、教育レベルや学習時間の確保、カリキュラム、 キャリア教育・実践的授業、企業・業界団体等との連携、実践的な職業教育、授業評価・評価体制、適正な教員確保とマネジメント、研修や教員育成
(4)学修成果	就職率、資格取得率、退学率の低減、卒業生・在校生の活躍状況の把握と 教育活動の改善への活用
(5)学生支援	進路・就職支援体制、学生相談体制、経済的な支援体制、健康管理、学生の生活環境支援、保護者との連携、卒業生支援、教育環境が整備、高校との連携、キャリア教育・職業教育の取り組み
(6)教育環境	施設・設備の整備、インターンシップ・研修等の教育体制、防災に対する体制 整備
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動、教育効果の公表、学納金は妥当性
(8)財務	学校の財務基盤、予算・収支計画、会計監査、財務情報公開の体制整備
(9)法令等の遵守	法令遵守と適正な運営、個人情報保護、自己評価の実施と改善、自己評価 結果を公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献、学生ボランティア活動を奨励・支援、公開講座・教育訓練
(11)国際交流	留学生の受け入れ・派遣・在籍管理、留学生の学修・生活指導体制の整備、 学修成果の評価

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

本校は従来より立地・外観・雰囲気等の面より、外部からは学校としてのイメージが薄いようであった。前回の委員会において地域代表委員からの意見で地域の商店街や組合でも学校なのか企業なのか、何の勉強をしているのか理解されていないようだとの指摘を受けて、改めて認識を強くした。今回の報告を伴う情報公開を機に、より学校の教育活動や学生の作品発表・活動状況についてのホームページでの配信を修正し、また企業との提携や高校との連携など学校として施設面も含めてのオープン化し、東京クールジャパン・アカデミーの認知の拡大に取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所属	任期	種別
藤沢 理子	株式会社エッジワークス 取締役	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	企業等委 員
松本 翔吾	有限会社ゼクシズ	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	卒業生
	千駄ケ谷大通り商店街振興組合 千駄ケ谷グリーンモール理事長	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	近隣地域 住民
	全国私立通信制高等学校協会元事務局長 学校法人科学技術学園高等学校理事長·校長	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	学校運営 に関する 専門家

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://www.cooljapan.ac.jp/evaluation/R6tcj_school_official_evaluation_report.pdf

公表時期: 2025年10月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

))

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校案内書やホームページにて学校理念・育成すべき学生の人材像等教育目標の共有を前提に、学校施設の見学や学校行事への随時見学・参加を通じで学校の取り組みに理解を深めていただき、その方向性や整合性の判断し、連携や協力関係を続ける等積極的な情報交換・理解促進に努める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

(2) 寺门子校にありる情報徒法寺への城間に	
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・学校の概況・教育理念・法人名・所在地・代表者・沿革・教育目標
(2)各学科等の教育	・目標募集学科・専攻(コース)・定員・就職業界デビューへのSTEP・教育の流れ
(3)教職員	·組織図·本務者、兼務者、職員人数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・就職活動へのフォローアップ・企業、業界との連携
(5)様々な教育活動・教育環境	・AO2,5システム・教育サポート・業界EXPO
(6)学生の生活支援	・学生寮・学割制度・教室、備品貸し出し・図書室利用・部活動
(7)学生納付金・修学支援	•学費一覧•奨学金制度
(8)学校の財務	・財務諸表・貸借対照表・収支計算書・財産目録・事業報告書・監査報告書
(9)学校評価	•自己評価報告書•学校関係者評価報告書
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.cooljapan.ac.jp/information/

公表時期: 2025年10月1日

授業科目等の概要

	()	文化	教養	専門課程 ゲー	-ム総合学科サウンドデザイナー専攻)											
	:	分類	į						授	業業	方法	場	所	教	教員	
		選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演習	実習			専任		との
1	0			ゲーム制作 I	企画・シナリオ制作とチームの取りまとめ	1 通	120	8			0	0			0	0
2	0			ゲームサウン ドI	ゲームサウンド及び業界の基礎的な知識を 学ぶ基礎講座	1 通	120	8			0	0			0	
3	0			音楽理論 I	楽譜の基本知識と和音、Chord理論を学び、 考えている音を楽譜に表記できることを目 指す基礎講座	1 通	90	6			0	0			0	
4	0			聴音 I	聴音「ちょうおん」とは音を聴いて楽譜に 書き取ること。その聴音を鍛えるためのト レーニングをする基礎講座	1 通	60	4			0	0			0	
5	0			演奏Ⅰ	ProToolsの基本的な機能/各種プラグインに ついて学びながら、ProTools検定の取得を 目指す基礎講座		60	4			0	0			0	
6	0			作曲Ⅰ	ピアノ・ギター・ベース・ドラムから金 管・木管・弦楽器など各種楽器の基礎知識 とDTMにおける使用方法学ぶ基礎講座	1 通	120	8			0	0			0	
7	0				アナログ・デジタルの基礎、電気・電子の 基礎、音声編集を学ぶ基礎講座	1 前	120	8			0	0			0	
8	0			効果音 I	効果音収録や加工編集の基礎からレコー ディングスタジオでの業務を実践的に学ぶ 基礎講座	1 通	60	4			0	0			0	
9	0			録音Ⅰ	業界標準のDAWを用いて、ソフトの基本操作 から作曲・アレンジの方法までを学ぶ基礎 講座		60	4			0	0			0	
10	0			ホームルーム I	学生作品のチェックや個別面談、インフォ メーションなど	1 通	60	4	0			0		0		
11	0			就職セミナー I	ゲーム会社やOB・OGによる企業研究	1 後	30	2	0			0		0		
12			0	ゲームジャム	クラス縦断したチームを結成し、限られた 時間の中で協力し合いゲームを完成させる イベント		60	4			0	0			0	

14						1	ı							
F I	13	0		ゲーム制作Ⅱ			120	8		0	0			00
15 ○ 音楽理論	14	0					120	8		0	0			0
聴音	15	0		音楽理論Ⅱ	考えている音を楽譜に表記できることを目	2 通	60	4		0	0			0
17 ○ 演奏 I	16	0		聴音Ⅱ	書き取ること。その聴音を鍛えるためのト	ΙZ	60	4		0	0			0
作曲	17	0		演奏Ⅱ	ついて学びながら、ProTools検定の取得を	4	60	4		0	0			0
ディオ 基礎、音声編集を学ぶ実技講座	18	0		作曲Ⅱ	管・木管・弦楽器など各種楽器の基礎知識	Z	120	8		0	0			0
20 ○	19	0					120	8		0	0			0
21 〇 録音 II から作曲・アレンジの方法までを学ぶ実技 通 60 4 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	20	0		効果音Ⅱ	ディングスタジオでの業務を実践的に学ぶ	4	60	4		0	0			0
22 ○	21	0		録音Ⅱ	から作曲・アレンジの方法までを学ぶ実技	2 通	60	4		0	0			0
23 0 II 別職後に治確する為のセミナーや超強会 通 60 4 0 0 24 0 グラス縦断したチームを結成し、限られた 時間の中で協力し合いゲームを完成させる イベント 2 通 60 4 0 0 25 0 サウンド制作 ゲームサウンド及び業界の基礎的な知識を 学ぶ実技講座 2 通 120 8 0 0	22	0			学生作品のチェックや個別面談、インフォ メーションなど	2 通	60	4	0		0		0	
24 O ゲームジャム 時間の中で協力し合いゲームを完成させる 道 60 4 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	23	0			就職後に活躍する為のセミナーや勉強会	2 通	60	4	0		0		0	
26 P33×3×1×1×1×1×1×1×1×1×1×1×1×1×1×1×1×1×1×	24		0	ゲームジャム	時間の中で協力し合いゲームを完成させる		60	4		0	0			0
	25		0	サウンド制作	ゲームサウンド及び業界の基礎的な知識を 学ぶ実技講座	2 通	120	8		0	0			0
	26													
			 合	計	25	- 5	科目			2040	単位	立 (.	単位	時間)

卒業要件及び履修方法	授業期間等			
卒業要件: 基本科目・選択科目等を併せて108単位以上の習得及び修了制作の審査に	1 学年の学期区分	2 期		
履修方法: 入学・進級時のオリエンテーションにて配布・案内に沿って履修する	1 学期の授業期間	15 週		

- (留意事項)
 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可	可年月日	校長名			所在地			
専門学校東京クー		昭和58年	年7月1日	工藤憲子		151-0051 東京都渋谷区千駄ケ	r谷1-8-17			
ン・アカデミ						03-3401-9701				
設置者名		設立認可		代表者名	Ŧ	196-0001	所在地			
学校法人21世紀ア 	カデメイア 	昭和42年	F1月12日	田坂広志		東京都千代田区神日 03-5283-6288	田駿河台2-11			
分野		忍定課程名		認定学科名		門士認定年度	高度専門士認定	2年度	職業実践専	門課程認定年度
文化·教養	文化	教養専門課程		ゲーム総合学科 eスポーツ専攻	令和	口 2(2020)年度	-		令和 2	2(2020)年度
				07417						
学科の目的	ゲームに関]連する職業に必	要な専門技術な	らびに創造力、表現	見力を身につけた優	建全な職能人の育成を	目的とする。			
 学科の特徴(取得										
可能な資格、中退	ゲーム総合 のパフォー	↑学科ではゲーム マンスを実現する	ムの世界でプロを るための経験値で	目指すために、専攻 アップを身につける。	なごとに個々のスキ	・ルを磨くと共に授業全	体の90%以上の実習授	業でスキルブ	アップや制作	・鍛錬を行い、最高
— 率 等) ————										
修業年限	昼夜	全謀程の修了に	こ必要な総授業 単位数	可数又は総	講義	演習	実習	実懸	A	実技
2		※単位時間、単位い	ヽ _{ずれ} 1,800) 単位時間	210 単位時間	0 単位時間	1,710 単位時間	0 単	単位時間	0 単位時間
年		かに記入 		単位	単位	単位	単位	単	単位	単位
生徒総定員	生徒実	€員(A) 留	 学生数 (生徒実員)	の _{内数)} (B) 留学	学生割合(B/A)	中退率				
360 人	64	λ	2	: 人	0 %	3 %				
000 74	■卒業者		:	35	人					
	■就職希望	望者数(D)	:	34 33	<u> </u>					
	■地元就	職者数(F)		27	人 人					
	■就職率 ■就職者((E/D) に占める地元就耶	職者の割合(F/F	94 E)	%					
				100	%					
		こ占める就職者 <i>の</i>	v刮合 (E/C)	94	%					
就職等の状況	■進学者	数		1	人					
	'									
	│•留学生帰 │	围、自営業手の	云い							
	(令和	6 年度2	卒業者に関する令	和7年5月1日時点	点の情報)					
		敞先、業界等								
	(令和6年度: (株)eSP(株)T		(`ン(株)のFIS(株)カ ⁻	プコン(株)教師社(株)	研音は光ザイクスは	サイバーコネクトツ-	-(株)サウンド・シティサ	・クシード(株)・	サミーデジタ	リルセキュリティ(株)
	(株)ジーリン	/クスタジオZigZ	/aGame(株)(株)CE			ionTime(株)メロンブッ		J I (IN)		70 2 (2) 7 (())
<u> </u>		評価機関等から 、例えば以下につい				無				
第三者による 学校評価					<i>-</i>		評価結果を掲載した			
	i	評価団体:		受番	年月:		ホームページURL			
当該学科の ホームページ	https://wn	ww.cooljapan.ac	. in							
URL	Tittps.//ww	ww.coogapan.ac	,.Jb							
	(A:単位	時間による算定	!)							
		総授業時数						2, 700 単	単位時間	
		うちか	企業等と連携し	た実験・実習・実技	支の授業時数			240 単	単位時間	
		うちょ	企業等と連携し	た演習の授業時数				0 单	単位時間	
		うちょ	必修授業時数 						単位時間	
				等と連携した必修の 		の授業時数			单位時間	
				等と連携した必修の ・ / ・ / ・ / ・ · · · · · · · · · · · · ·					単位時間	
企業等と連携した実習等の実施状況		(5	り正耒寺と連携	したインターンシッ	ノの授美時数)			U 单	単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		数による算定)								
に記入)	· · · · ·	- 数による昇足/ 総単位数) ii	単位	
			企業等と連携し	 た実験・実習・実技	ちゅう もの単位数				<u> </u>	
			企業等と連携し						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
		うちょ	必修単位数					<u> </u>	単位	
			うち企業等	等と連携した必修 <i>の</i>)実験・実習・実技	の単位数			単位	
			うち企業等	等と連携した必修の	演習の単位数			Ĕ	単位	
	[(5	ち企業等と連携	したインターンシッ	ップの単位数)			Ĭ	単位	
	-									
		① 車枚学坛の	古田部印 た 枚 フ	した後 学技学にも	2117					
		その担当する教	育等に従事した	した後、学校等によ 者であって、当該専	ずれ とう かい	校設置基準第41条第1項	5 5 5 5 5 5 5 7 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8	4)	.	
		程の修業年限とは年以上となる者		した期間とを通算し	して六	NEET N N		. ,	`	
						14 =n -m · · · ·				
		②学士の学位				校設置基準第41条第1項		6)		
教員の属性(専任 教員について記		③ 高等学校教				校設置基準第41条第1項	領第3号)	0)	١	
教員について記入)		④ 修士の学位	又は専門職学位		(専修学	校設置基準第41条第1項	9第4号)	0)	١	
		⑤ その他			(専修学	校設置基準第41条第1項	頁第5号)	0)	١	
	[計						10)	\	
	Ι									
		上記①~⑤のう	ち、実務家教員	(分野におけるおお	おむね5年以上の写	ミ務の経験を有し、か [、]	つ、高度の	e i		
		上記①~⑤のう実務の能力を有る	ち、実務家教員する者を想定)	(分野におけるおお の数 	Sむね5年以上の9	ミ務の経験を有し、か	つ、高度の	6)		

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

教育課程編成員会は、卒業生の就職先である、ゲーム・アニメーション等エンターテインメント業界において必要とされる、実践的かつ 専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成(授業科目の開設 や授業内容・方法の改善・工夫等を含む)に活かすことを目的として基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程の編成にあたっては、教育過程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意見を十分に活かし、 実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努めるものとし、その過程においては、以下に基づくものと する。

①学科教員による改善案の作成。②教育課程編成委員会にて専門的知見に基づく意見交換。③委員会での意見を踏まえ、学科長・教務関連委員を中心に修正案を作成し学校長の承認を得る。④最終決定した教育課程を各委員へ報告する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

	名 前	所 属	任期	種別
木下	亮輔	株式会社TechPlus代表取締役社長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
鈴木	克久	株式会社アンビション人事部/(社)コンピュータエンターティンメント協会	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
高見	政良	日本美術解剖学会員	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	2
大津	健太郎	株式会社オクルトノボル クリエイティブディレク ター	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	3
工藤	憲子	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 学校長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	
野中	智之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 副校長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	
本木	能之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー ゲーム総合学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	
真家	祐也	専門学校東京クールジャパン・アカデミー アニメ総合学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	
西岡	創	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 声優学科長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	
川上	美樹	専門学校東京クールジャパン・アカデミー グローバルキャリアデザインセンター長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	
井上	正樹	専門学校東京クールジャパン・アカデミー ゲーム総合学科教諭	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	
池田	貴之	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 事務長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	
前手	俊和	専門学校東京クールジャパン・アカデミー 事務	令和7年4月1日~令和9年3月 31日	
00	00	00000	令和〇年〇月〇日~令和〇 年〇月〇日(2年)	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月12日 14:00~16:00 第2回 令和7年3月15日 14:00~15:30

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ①Google Play等を使用した実配信を想定したゲーム制作

現状、主に学内イベントや東京ゲームショウなどで制作したゲームをアップしているが、より制作の精度や対外性を強化する為に、「Google Play」などを用いたゲームの配信なども考えている旨報告する。委員会からの回答としては、方策としては有効だが、アップ後のメンテナンスやスケジュール感なども必要であるため、実動の前に前情報や下準備をしっかりとすることが大事とのこと。そのため、カリキュラムへの直ぐの導入ではなく、学内でのゲームジャムや有志の学生を元にまずは実験的に行うことで現在検討中。

②複数専攻でのUnity授業の導入

元々はプログラム系のゲーム開発として「Unity」が導入されていたが、現在の業界の動向を見ると、プランナーやデザインの分野でも Unityが使われ出しており、学科としても他専攻での実施を検討している旨報告。実施について異論は無く、さっそくカリキュラムへの落 し込みを実施。講師の手数の問題もあり、まだ全専攻に一斉配置とはいかないが、先んじてプランナー、3DCG、サウンドの学生に対し て適用をし、Unityの特性を活かした授業を行う運びとなる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ゲーム業界で活躍できる人財を育成するため、多くのゲーム開発の経験を有する企業や有識者の目線で以て、スキルの学習はもちるんゲーム制作に必要な能力や資質を磨き、ゲームクリエイターとしての姿勢を確立させることを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

各専攻を混在させたチームをいくつか形成したオリジナルゲームの制作を行う。企業所属のクリエイターが中心となり、実際の制作の流れを想定した制作フローのチェックやアドバイスを行い、ゲームの完成までを導く。中間チェックの実施をし、最終的に各チームごとに発表(プレゼンテーション)を行い、ゲーム作品、各分担ごとの成果物、制作に取り組む姿勢などを以て評価を受ける。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

-	(3) 会体的な建設の例次付日数については1次的な5付日について記載。										
	科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等							
	ゲーム制作	1.【校内】企業等から の講師が全ての授業 を主担当	各専攻を混在させたチームをいくつか形成したオリジナルゲームの制作を行う。株式会社エッジワークスからのクリエイターが中心となり、制作の流れの監修や進捗確認、アドバイスを行う。中間チェックの実施をし、最終的に各チームごとに発表(プレゼンテーション)を行い、各分担ごとの成果物、制作に取り組む姿勢などを以って評価を受ける。								
	000		00000	000							

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、学生に対する指導力の修得・向上のための研修に参加するものとする。この研修は年に一度、原則として6月に実施する。

前項に加え、各学科の教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、専門分野における専門能力を修得することを目的に別途研修を受講する。この研修は、業界団体等他の機関により実施されるものとし、校内、当該団体あるいはその他研修に適切な場所で実施する。教職員(学校が期間を定めて雇用する非常勤職員を除く)は、勤務年数、業界経験年数の如何にかかわらず、特段の事由のない限り、これらの研修に参加しなければならない。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

TIME A 「生成AIで進化する"はたらく"のカタチ~AI活用の最適解

研修名: とリコーの取り組み~」 連携企業等: リコージャパン株式会社

期間: 2024年7月8日16:00~ 対象: ラーム総合字科教職

内容 ゲーム・アニメーション制作や周辺業務におけるAIの活用の余地を検討することを目的とした。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「なりたい自分」を考える理想設計ワークショップ 連携企業等: 株式会社B.Cmembers

期間: 2025年3月11日17:00~ 対象: 本校全職員

クリエイティブシンキング、ロジカルシンキング、システムシンキングの思考法をベースしたワークショップを 内容 通じ、目指す企業や業界へ学生の目標設定の立て方や、就職後のキャリア設計方法などの手段を学び、

進路指導力の向上を図った。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: クリエイティブ業界最前線2025 連携企業等: 株式会社 ワコム

期間: 2025年6月11日17:00~ 対象: 員

月. 2020年07月11日17.00

内容ゲーム・アニメ・CGなどのクリエイティブ市場の最新概況と制作環境・技術トレンドを知る

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「教育相談の理論と実践」 連携企業等: 公益財団法人才能開発教育研究財団

期間: 2025年8月初旬 対象: 本校全職員

内容
学生理解や教育相談に役立つ基本的なカウンセリング理論や技法について、学校現場の現状と課題につ

いての事例を共に学び、その考え方を伝える力を習得する。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己評価結果を客観的に検証する仕組みとして『学校関係者評価委員会』を設置する。

その目的としては、①自己評価結果の客観性・透明性をたかめること。

②委員の本校に対する理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることとする。

その活動としては、学校が策定した重点目標、計画の実施についての自己評価結果、評価結果に基づく今後の取り組み方針などについて、教育活動・学校運営に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言を行うものであり、

それを受けて、学校及び 教職員は、学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めなければならない。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目							
(1)教育理念·目標	理念・目的・育成人材像、職業教育の特色、将来構想、保護者等に周知、業界のニーズとの適合性							
(2)学校運営	運営方針、事業計画、運営組織・意志決定機能の明確化、人事規定、教務・財務等の組織整備、コンプライアンス体制、情報公開、業務の効率化							
(3)教育活動	教育課程の編成・実施方針、教育レベルや学習時間の確保、カリキュラム、キャリア 教育・実践的授業、企業・業界団体等との連携、実践的な職業教育、授業評価・評価 体制、適正な教員確保とマネジメント、研修や教員育成							
(4)学修成果	就職率、資格取得率、退学率の低減、卒業生・在校生の活躍状況の把握と教育活動の改善への活用							
(5)学生支援	進路・就職支援体制、学生相談体制、経済的な支援体制、健康管理、学生の生活環境支援、保護者との連携、卒業生支援、教育環境が整備、高校との連携、キャリア教育・職業教育の取り組み							
(6)教育環境	施設・設備の整備、インターンシップ・研修等の教育体制、防災に対する体制 整備							
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動、教育効果の公表、学納金は妥当性							
(8)財務	学校の財務基盤、予算・収支計画、会計監査、財務情報公開の体制整備							
(9)法令等の遵守	法令遵守と適正な運営、個人情報保護、自己評価の実施と改善、自己評価 結果を公開							
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献、学生ボランティア活動を奨励・支援、公開講座・教育訓練							
(11)国際交流	留学生の受け入れ・派遣・在籍管理、留学生の学修・生活指導体制の整備、 学修成果の評価							

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

本校は従来より立地・外観・雰囲気等の面より、外部からは学校としてのイメージが薄いようであった。前回の委員会において地域代表委員からの意見で地域の商店街や組合でも学校なのか企業なのか、何の勉強をしているのか理解されていないようだとの指摘を受けて、改めて認識を強くした。今回の報告を伴う情報公開を機に、より学校の教育活動や学生の作品発表・活動状況についてのホームページでの配信を修正し、また企業との提携や高校との連携など学校として施設面も含めてのオープン化し、東京クールジャパン・アカデミーの認知の拡大に取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所属	任期	種別
藤沢 理子	株式会社エッジワークス 取締役	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	企業等委 員
松本 翔吾	有限会社ゼクシズ	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	卒業生
岡﨑 千治	千駄ケ谷大通り商店街振興組合 千駄ケ谷グリーンモール理事長	令和7年4月1日~令和9年4月 1日(2年)	近隣地域 住民
松田 敏博	全国私立通信制高等学校協会元事務局長 学校法人科学技術学園高等学校理事長·校長	1日(2年)	学校運営 に関する 専門家

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.cooljapan.ac.jp/evaluation/R6tcj_school_official_evaluation_report.pdf

公表時期: 2025年10月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校案内書やホームページにて学校理念・育成すべき学生の人材像等教育目標の共有を前提に、学校施設の見学や学校行事への 随時見学・参加を通じで学校の取り組みに理解を深めていただき、その方向性や整合性の判断し、連携や協力関係を続ける等積極 的な情報交換・理解促進に努める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目						
(1)学校の概要、目標及び計画	・学校の概況・教育理念・法人名・所在地・代表者・沿革・教育目標						
(2)各学科等の教育	・目標募集学科・専攻(コース)・定員・就職業界デビューへのSTEP・教育の流						
(3)教職員	•組織図•本務者、兼務者、職員人数						
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・就職活動へのフォローアップ・企業、業界との連携						
(5)様々な教育活動・教育環境	・AO2,5システム・教育サポート・業界EXPO						
(6)学生の生活支援	・学生寮・学割制度・教室、備品貸し出し・図書室利用・部活動						
(7)学生納付金・修学支援	·学費一覧·奨学金制度						
(8)学校の財務	・財務諸表・貸借対照表・収支計算書・財産目録・事業報告書・監査報告書						
(9)学校評価	·自己評価報告書·学校関係者評価報告書						
(10)国際連携の状況							
(11)その他							

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.cooljapan.ac.jp/information/

公表時期: 2025年10月1日

授業科目等の概要

	(文化教養専門課程 ゲーム総合学科 e スポーツ専攻)															
		分類							授業方法			場	教員			
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技		校外	専任		企業等との連携
1	0			英会話レッス ン	日常英会話レベルの習得を目指す	1 通	60	4	0			0			0	
2	0				長時間のプレイにも耐えれる体力を身につ ける	1 通	60	4			0	0			0	
3	0			ゲーム実技 I	個人技術向上を目的とした練習	1 通	240	14			0	0			0	
4	0			ゲーム実技Ⅱ	連携技術向上を目的とした練習	1 通	240	14			0	0			0	
5	0			ゲーム戦術概 論	戦術理解度向上を目的とした練習	1 通	180	12			0	0			0	0
6	0				業界人として活躍する為の知識の習得、意 識改革	1 前	30	2			0	0			0	
7	0			ライター実践	office系やデザインソフトの基礎を学ぶ	1 後	60	4			0	0			0	
8	0			動画編集基礎	ゲーム配信技術を学ぶ	1 後	30	2			0	0			0	

		合	<u>l</u> 計	30	<u>-</u>)	<u>L</u> 斗目			2700	単位	立(<u>. </u> 単位	時間	引)
31			000	00000	00	0	0							
30	0		ゲームビジネ スV	業界人として活躍する為の知識の習得、意 識改革	2 後	60	4		0	0			0	
29	0		ゲームビジネ スⅣ	業界人として活躍する為の知識の習得、意 識改革	2 後	60	4		0	0			0	0
28	0		e-Sports実習 (後期)	e-Sportsタイトルに触れ専門知識を高める	2 後	60	4		0	0			0	
27	0			日常英会話レベルの習得および長時間のブレイにも耐えれる体力を身につける	² 後	60	6		0	0			0	
26	0		キャリアアッ プ /web 演 習 (後期)	就職後の活躍の為のセミナーや勉強会および、ゲーム紹介HPの演習	2 後	90	6		0	0			0	
25	0		ゲーム戦術概論(後期)	戦術理解度向上を目的とした練習	2 後	90	8		0	0			0	
24	0		ライター実践 / ゲ ー ム PR (後期)	学内向け刊行物の発行による実制作および ゲームの紹介やレビュー記事の制作	2 後	120	8		0	0			0	
23	0		ゲーム実技 II (後期)	連携技術向上を目的とした練習	2 後	120	8		0	0			0	
22	0			業界就職に必要な企画・運営技術の習得および音響・配信技術の習得	2 後	120	8		0	0			0	
21	0		ゲーム実技 I (後期)	個人技術向上を目的とした練習	2 前	120	8		0	0			0	
20	0		ゲームビジネ ス田	業界人として活躍する為の知識の習得、意 識改革	2 前	60	4		0	0			0	0
19	0		ゲームビジネ スⅡ	e-Sportsタイトルに触れ専門知識を高める	2 前	60	4		0	0			0	
18	0		e-Sports実習 (前期)	office系やデザインソフトの応用	2 前	60	4		0	0			0	
17	0		PC 基 礎 (前 期)	チーム制作などのゲーム紹介IIPの演習	2 前	60	4		0	0			0	
16	0			日常英会話レベルの習得および長時間のプレイにも耐えれる体力を身につける	² 前	60	4		0	0			0	
15	0		英会話レッス ン/フィジカ ルトレーニン グ(前期)	ゲームの紹介やレビュー記事の制作	2 前	60	6		0	0			0	
14	0		就職セミナー / ゲ ー ム PR (前期)	戦術理解度向上を目的とした練習	2 前	90	6		0	0			0	
13	0		ゲーム戦術概論(前期)	学内向け刊行物の発行による実制作	2 前	90	6		0	0			0	
12	0		ライター実践 /音響・配信 技術(前期)	連携技術向上を目的とした練習	2 前	90	6		0	0			0	
11	0		ゲーム実技Ⅱ (前期)	業界就職に必要な企画・運営技術の習得	2 前	90	6		0	0			0	
10	0		イベント企 画・運営(前 期)	個人技術向上を目的とした練習	2 前	90	6		0	0			0	
9	0		ゲーム実技 I (前期)	業界人として活躍する為の知識の習得、意 識改革	2 前	90	4		0	0			0	

卒業要件及び履修方法	授業期間等
卒業要件: 基本科目・選択科目等を併せて108単位以上の習得及び修了制作の審査	1 学年の学期区分 2 期
履修方法: 入学・進級時のオリエンテーションにて配布・案内に沿って履修する	1学期の授業期間 15週

⁽留意事項)
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

² 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。